

can-am®

OUTLANDER X MRシリーズ

オペレーターズガイド

安全性、使用およびメンテナンスに関する情報が記載されています

NON

⚠ 警告

このオペレーターズガイドをよくお読みください。重要な安全情報が記載されています。

推奨されるオペレーターの最少年齢：18才（運転免許証を所有する者）

このオペレーターズガイドは、常に車両に保管してください。

このOHRVに搭載された蒸発ガス関連部品の取り外しまたは改造は、違法行為となります。

違反した場合、カリフォルニア州法または連邦法によって民事罰または刑罰が科せられる場合があります。

⚠ 警告

運転には危険が伴います。十分な注意を払わない場合、転回、傾斜地での運転、障害物上の走行などの日常的な操作であっても、衝突や横転を起こしやすくなります。
安全のため、このオペレーターズガイドおよび車両上のラベルに示されているすべての警告を読み、これらに従ってください。これらの警告に従わない場合、重傷や死亡事故を招くおそれがあります。
このオペレーターズガイドは、常に車両に保管してください。

⚠ 警告

本オペレーターズガイド、安全講習ビデオおよび製品に貼付されている警告ラベルに記載の安全注意事項や指示を無視すると、死亡事故や負傷の原因となる場合があります。

⚠ 警告

この車両は、運転経験のある他の車両の性能を超えている可能性があります。新しい車両に慣れるまで十分に時間をかけてください。

米国カリフォルニア州規制「PROPOSITION 65」に基づく警告

⚠ 警告

オフロード車両の操作や保守、メンテナンスは、エンジンの排気や一酸化炭素、フタラート、それに鉛などの化学物質の暴露を受ける可能性があります。これらはカリフォルニア州法で発がん性や催奇性、その他の生殖に関する危害の原因となることが知られています。そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。詳細は、
www.p65warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle

TM®で示される以下の商標は、BRPまたはその関連会社が所有しています。以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc. またはその子会社に帰属します：

Can-Am®

D.E.S.S.™

DPST™

Outlander™

ROTAX®

TTI™

XPST™

無断複写転載を禁じます。本書の内容の一部または全部を、Bombardier Recreational Products Inc. の許可なしに無断転載することは禁止されています。

©Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) 2021

BRP Inc.

Deutsch	Dieses Handbuch ist möglicherweise in Ihrer Landessprache verfügbar. Bitte wenden Sie sich an Ihren Händler oder besuchen Sie: www.operatorsguides.brp.com
English	This guide may be available in your language. Check with your dealer or go to: www.operatorsguides.brp.com
Español	Es posible que este manual esté disponible en su idioma. Consulte a su distribuidor o visite: www.operatorsguides.brp.com
Français	Ce guide peut être disponible dans votre langue. Vérifier avec votre concessionnaire ou aller à: www.operatorsguides.brp.com
Italiano	Questa guida potrebbe essere disponibile nella propria lingua. Contattare il concessionario o consultare: www.operatorsguides.brp.com
中文	本手册可能有您的语种的翻译版本。请向经销商询问，或者登录 www.operatorsguides.brp.com 查询。
日本語	このガイドは、言語によって翻訳版が用意されています。ディーラーに問い合わせるか、次のアドレスでご確認ください： www.operatorsguides.brp.com
Nederlands	Deze handleiding kan beschikbaar zijn in uw taal. Vraag het aan uw dealer of ga naar: www.operatorsguides.brp.com
Norsk	Denne boken kan finnes tilgjengelig på ditt eget språk. Kontakt din forhandler eller gå til: www.operatorsguides.brp.com
Português	Este manual pode estar disponível em seu idioma. Fale com sua concessionária ou visite o site: www.operatorsguides.brp.com
Русский	Воспользуйтесь руководством на вашем языке. Узнайте о его наличии у дилера или на странице по адресу www.operatorsguides.brp.com
Suomi	Käyttöohjekirja voi olla saatavissa omalla kielelläsi. Tarkista jälleenmyyjältä tai käy osoitteessa: www.operatorsguides.brp.com
Svenska	Denna bok kan finnas tillgänglig på ditt språk. Kontakta din återförsäljare eller gå till: www.operatorsguides.brp.com

対象モデル

Outlander MR 570

Outlander X mr 570

Outlander X mr 650

Outlander X mr 850

Outlander X mr 1000R

カナダの製品代理店は、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) です。

米国内では、製品の流通とサービスは BRP US Inc. が行います。

欧州経済圏（欧州連合加盟国プラス英国、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタイン）、独立国家共同体（ウクライナおよびトルクメニスタンを含む）、ならびにトルコでは、製品の流通とサービスは BRP European Distribution S.A. およびBRPのその他の関連会社または子会社が行います。

製品の流通とサービスは、Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) または提携機関が行います。

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。



指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

目次

一般的な情報

一般情報	8
乗車前に確認すべきこと	8
安全メッセージ	9
このオペレーターズガイドについて	9

安全情報

一般的な注意	12
一酸化炭素中毒の回避	12
ガソリンによる火事や他の危険の回避	12
高温部分による火傷の回避	12
アクセサリーと改造	12
安全上の特別な警告	14
運転に関する警告	17
同乗者を乗せた運転	18
水深が深いまたは水の流れが速い場合	30
走行前点検	34
走行前点検用チェックリスト	34
乗車	37
ライディングギア	38
同乗者の運搬禁止	39
レクリエーション走行	39
泥地での走行	40
環境	40
設計上の制限	41
オフロードでの運転	41
走行技術	41
荷物の運搬と作業の実施	50
車両を使用した作業	50
荷物の運搬	50
カーゴラックへの搭載	51
貨物のけん引	51
トレーラーの牽引	52
重要な製品ラベル (カナダ/米国)	53
セーフティハングタグ	53
安全ラベル	54
コンプライアンスハングタグ	67
適合ラベル	68
技術情報ラベル	70
重要な製品ラベル (カナダ/米国以外)	71
安全ラベル	71
適合ラベル	80
技術情報ラベル	81
安全面での欠陥の報告	82

車両についての情報

基本コントロール	84
ハンドルバー	85

スロットルレバー	85
ブレーキレバー	85
パーキングブレーキレバー	85
ブレーキペダル	86
エンジンストップスイッチ	86
イグニッションスイッチおよびキー	87
RF D.E.S.S.キーおよびポスト	87
二次コントロール	89
スロットルレバーコントロールハウジング	90
シフトレバー	91
多機能スイッチ	93
トリップ/メニュースイッチ	94
ウィンチコントロールスイッチ (装備されている場合)	94
クラクションボタン	94
装備	96
フットペグ	98
泥地走行用のフットレスト	98
グローブボックス	98
車載工具	99
トレーラーヒッチ	99
リアストレージコンパートメント	100
カーゴラック	101
シート	101
12Vの電源ソケット	101
ゲージサポート	102
ラジエーターカバー	102
ウィンチ (装備されている場合)	103
リカバリーフック	104
4.5 インチデジタルディスプレイ	105
多機能表示	105
インジケーターランプ	106
設定	107
7.6 インチデジタルディスプレイ	109
基本機能	109
設定	112
燃料	114
燃料に関する要件	114
車両への給油手順	115
慣らし運転期間	116
慣らし運転中の運転	116
基本手順	117
電子システムの起動	117
エンジンを始動させます	117
選択したギヤの変更	117
エンジンの停止と車両の駐車	118
特殊な手順	119
水を吸い込んだエンジン	119
CVTに浸入した水	119
エアフィルターハウジングへの浸水	119
車両が転覆した場合	120
車両が水没した場合の対処	121

走行に関する調整	122
サスペンションの調整	122
ばねプリロード調節	123
ダイナミックパワーステアリング (DPS) のアシストレベル調整	123
車両の移送	125
車両の力を利用して牽引装置に載せる	126
ウィンチを使用して車両を牽引装置上まで引く	126
移送時の車両の固定	127
トレーラーから車両を降ろす	128

メンテナンス

メンテナンスのスケジュール	130
EPA規制 - カナダおよび米国向け車両	130
極端な環境下で運転した後のお手入れ	130
過酷な粉塵環境	131
メンテナンススケジュールの例	131
メンテナンスのスケジュール	131
メンテナンスの手順	135
メッセージのリセット：メンテナンスが必要	135
エンジンエアフィルター	135
エンジンオイル	138
エンジンオイルフィルター	140
ラジエーター	141
エンジン・クーラント	142
マフラーおよびスパークアレスター	144
CVTエアフィルター	146
ギアボックス	147
スロットルケーブル	148
スパークプラグ	150
CVTカバー	151
駆動ベルト	153
バッテリー	154
ヒューズ	155
ライト - MR 570およびX mr 570	157
ライト - X mr 650、850および1000R	158
ドライブシャフトベローズおよびプロテクター	159
ホイールベアリング	160
車輪およびタイヤ	160
サスペンション	161
ステアリング	162
ブレーキ	163
車両のお手入れ	165
使用後のお手入れ	165
車両の清掃と保護	165
保管およびシーズン前の準備	167

技術情報

車両識別表示	170
車両識別番号	170

エンジン識別番号(EIN).....	170
適合ラベル.....	170
無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム (無線周波数D.E.S.S.キー).....	172
騒音放出制御システム規制 (カナダ/米国).....	173
騒音放出および振動値 (すべての国、ただしカナダ/米国を除く).....	174
EC適合宣言書.....	175
EAC適合宣言書.....	176

技術仕様

技術仕様.....	178
-----------	-----

トラブルシューティング

トラブルシューティングのガイドライン.....	188
エンジンが回らない.....	188
エンジンを回しても始動しない.....	188
エンジンの加速力やパワーが不足している.....	189
エンジンのオーバーヒート.....	190
エンジンバックファイア.....	190
エンジンの失火.....	190
車両が最高速度に達しない.....	191
シフトレバーが動きにくい.....	191
回転数は上昇するが、車両が動かない.....	191
パワーステアリングアシスト機能の低下.....	192
デジタルディスプレイメッセージ.....	193

保証

BRP限定保証 米国およびカナダ: 2022 CAN-AM® ATV.....	198
米国EPA排出ガス関連保証.....	201
カリフォルニア州蒸発ガス処理保証規定.....	203
BRP 国際限定保証: 2022 CAN-AM® ATV.....	205
欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルコ向けBRP限定保証: 2022 CAN-AM® ATV.....	209
メンテナンス記録.....	213

顧客情報

個人情報.....	224
お問い合わせ先.....	225
アジア.....	225
ヨーロッパ.....	225
北米.....	225
オセアニア.....	225
南米.....	225
住所と所有権の変更.....	226

一般的な情報

一般情報

新しいCan-Am® ATV車をご購入いただきありがとうございます。本製品は、BRPの限定保証および、お客様が必要とされる部品、アクセサリ、そしてサービスを用意している認定Can-Am Off-Roadディーラーのネットワークによって支えられています。

納入時に、お客様には保証範囲をお知らせし、新しい車両がご満足いただけるものであることを保証するために納入前チェックリスト(Predelivery Check List)にお客様からご署名を頂いております。

ディーラーはお客様の満足を提供いたします。一般的なサービス情報をご希望の場合は、最寄りのディーラーまでお問い合わせください。

乗車前に確認すべきこと

ご自身や同乗者の事故のリスクを減らすために、このオペレーターズガイドを読んでから車両を運転してください。

また、車両に貼付されているすべての警告ラベルを読み、以下のサイトにある安全講習ビデオをご覧ください。

<https://can-am.brp.com/off-road/safety>

または以下のQRコードを使用してください。



この車両はオフロード専用車です。主に一般的なレクリエーションでの使用を意図したものですが、多目的用としても利用できます。

オペレーターズガイドの警告に従わないと、重傷や死亡事故につながる恐れがあります。

推奨年齢

この車両のカテゴリーはGです。必ず推奨年齢に従ってください。

- 16才未満の人は、絶対にこの車両を運転しないでください。
- 2-UPモデルの同乗者は、車両のシートに座っているときに常に足をフットレストに置き、手はグラブハンドルを握ることができなければなりません。

トレーニングコース

適切な説明を受けることなく本車両を絶対に運転しないでください。トレーニングコースを受講してください。どの運転者もはじめは経験豊富な認定インストラクターからの指導を受ける必要があります。

ATVの安全性に関する詳細および受講可能なトレーニングについては、Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

米国内の場合は米国特殊車両協会 (SVIA) (電話: 1 800 887-2887)、カナダの場合はカナダ安全評議会 (CSC) (電話: 1 613 739-1535) にお問い合わせください。

安全メッセージ

本ガイドに記載されている安全に関するメッセージの種類、特長および本ガイドでどのように使用されているかは以下で説明されています。

安全警告記号 \triangle は、人が負傷する恐れがあることを示しています。

\triangle 警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

\triangle 注意

指示に従わなかった場合、中度または軽度の負傷を招く恐れがあることを示します。

注意

指示に従わなかった場合、車両の構成部品などに重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

このオペレーターズガイドについて

このオペレーターズガイドは、新しい車両の所有者・運転者に、あらゆる制御、メンテナンス、安全な操作に関する指示を的確に説明するようデザインされています。これは、製品を正しく使用するうえで欠かせないものです。

本オペレーターズガイドは車両内に保管し、メンテナンスやトラブルシューティングの際、また他の人に指導する際に参照してください。

また本ガイドは各種言語に翻訳されております。内容に不一致が生じた場合は、英語版の内容が正しいものと見なされます。

オペレーターズガイドの閲覧やコピーを希望する場合は、次のウェブサイトへアクセスしてください。

www.operatorsguides.brp.com

本書に記載されている情報は、発行時点で正しいものです。ただし、BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。その後の変更により、製造された製品と本ガイドにおける説明および / または仕様との間に差異が生じる場合もあります。BRPは何らの義務を負うことなく、製品の仕様、設計、機能、型式、装置などをいつでも変更し、あるいは製造を終了する権利を留保します。

車両を売却するときは、このオペレーターズガイドを必ず車両内に入れておいてください。

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。



指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

安全情報

一般的な注意

一酸化炭素中毒の回避

すべてのエンジン排気は、致命的なガスである一酸化炭素を含みます。一酸化炭素を吸うと頭痛、めまい、眠気、吐き気、錯乱や時には死亡に至ることがあります。

一酸化炭素は、全くエンジン排気を見たり、その匂いを感じないとしても存在する恐れがある、無色、無臭、無味のガスです。一酸化炭素は極めて早く致死濃度に高まることがあり、あっという間に悪影響を受けて、自身を守れなくなります。また、閉じた場所や換気が悪い場所では、一酸化炭素の致死濃度が数時間あるいは数日も長引くことがあります。一酸化炭素中毒の徴候を感じたら、すぐにその場所を離れ、新鮮な空気を得て、治療を求めてください。

一酸化炭素による重傷または死を防ぐには：

- ガレージ、カーポートや納屋などの換気が悪い、または部分的に閉じられたエリアで車両を絶対に運用しないでください。扇風機や窓およびドアを開けたりしてエンジン排気を通気しようとしても、一酸化炭素が危険なレベルに速く達する場合があります。
- 窓やドアなどの開口を通してエンジン排気が建物に吸い込まれる恐れがある場所では、決して屋外で車両を運転しないでください。

ガソリンによる火事や他の危険の回避

ガソリンは可燃性が高く、非常に爆発性があります。燃料の蒸気は拡散し、エンジンから遠く離れた火の粉や炎によって引火することもあります。火事や爆発の危険性を低減させるために、以下の指示に従ってください：

- 燃料の保存には、承認された赤いガソリン容器だけを使ってください。
- 容器をカーゴボックスに置き、転倒しても地面と接触しないようにしっかりと固定してください。BRP LinQ容器を強く推奨します。
- 絶対に車両上でガソリン容器にガソリンを補充しないでください。静電気の放電により燃料に着火する恐れがあります。
- 給油については燃料のセクションの指示に必ず従ってください。
- 決して、燃料キャップが正しく取り付けられていない状態で、エンジンを始動、運転しないでください。

ガソリンは有毒で、傷害や死亡を引き起こす場合があります。

- 決して、口によりガソリンをサイフォンしないでください。
- ガソリンを飲み込んだり、ガソリンが目に入ったり、ガソリンの蒸気を吸い込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

ガソリンが体にかかった場合は、石鹼と水で洗い、衣服を着替えてください。

高温部分による火傷の回避

ブレーキローターや排気用コンポーネントなど、特定のコンポーネントは運転中に高温になります。火傷を防止するために、運転中や運転直後はこれらにコンポーネントに触らないでください。

アクセサリーと改造

BRPが認定したアクセサリーの改造や追加は、車両のハンドリング性能に影響する場合があります。改造が行われた後は安全のため、車両に慣れる時間をとって、運転挙動に適應する方法を理解することが重要です。

BRPによって車両専用に認定されていない装置の取り付けや、許可されていない改造は行わないでください。これらの改造や装置はBRPによってテストされておらず、危険が生じる場合があります。たとえば、

- 操作不能になったり衝突したりするリスクが高まります
- オーバーヒートや短絡が生じ、火災ややけどのリスクが高まります。
- 車両の保護機能に影響します。

また、その車両の走行が違法になることもあります。

たとえば、GPSや携帯電話サポート部品の取り付けは、車両の走行能力の妨げとなり、操作不能になるリスクを高めます。

所有する車両に適したアクセサリーについては、最寄りのBRP認定ディーラーにお問い合わせください。

安全上の特別な警告

この車両は玩具のような車両ではなく、運転に危険を伴うものです。

- この車両は、他の車両と異なる動きをします。十分な注意を払わない場合、転回、傾斜地での運転、障害物上の走行などの日常的な操作であっても、衝突や横転を起こしやすくなります。

以下の指示に従わない場合、重傷または死亡事故につながる可能性があります。

- このオペレーターズガイドと製品に貼付されているすべての警告ラベルをよく読み、記載されている操作手順に従ってください。安全講習ビデオをよく見てから車両を運転してください。
- 必ず推奨年齢に従ってください。16才未満の人は、絶対にこの車両を運転しないでください。
- 使用が認められた適切なサイズのヘルメットや必要とされる他の保護具を着用せずにこの車両に絶対に乗らないでください。詳細は、車両の走行のセクションの保護具を参照してください。
- この車両で同乗者を運ばないでください。同乗者は車両バランスや操舵機能に影響を与え、操作不能になる恐れがあります。
- 同乗者を乗せるために改造したり、ラックを使用して同乗者を運んだりしないでください。
- 必ず車両の安全な動作状態を点検、確認してから走行してください。日常点検のセクションを参照してください。このオペレーターズガイドに記載のメンテナンススケジュールに必ず従ってください。メンテナンスのセクションを参照してください。
- この車両を歩道、車道、駐車場、通りなどの舗装面で運転しないでください。
- 土や砂利がある場合でも、この車両を公道、一般道または高速道路上で絶対に運転しないでください。
- 疲れている場合、病気の場合、または薬を服用したりアルコールを摂取している場合は絶対にこの車両を使用しないでください。そのような状態は、状況に対する反応時間や判断力に大きな影響を与え大変危険です。
- 過剰な速度で運転しないでください。必ず地形、視認性、運転条件、およびご自分の経験に適した速度で走行してください。
- 絶対にワイリーやジャンプなどのスタント操作を行わないでください。
- 自身の技量や状況にとって速すぎる速度で走行すると負傷する場合があります。安全に運転を継続できる程度のスロツトルを開けるようにしてください。統計から、事故や負傷は高速での転回時によく起きていることが示されています。この車両が重いことを忘れないでください。車両が転倒すると、車両重量が重く、運転者が脱出できず、負傷する場合があります。
- この車両はジャンプするために設計されたものではありません。ジャンプなどの動きの際に発生する大きな衝撃エネルギーを車両が十分に吸収できないため、そのエネルギーが運転者に伝わると危険なことになります。ワイリーを行うと、車両がひっくり返って自身が下敷きになる可能性があります。ジャンプおよびワイリーの両操作は危険であるため、どのようなときも避ける必要があります。
- 必ず車両の安全な動作状態を点検、確認してから走行してください。このオペレーターズガイドに記載の、点検およびメンテナンスの手順およびスケジュールに必ず従ってください。
- 運転中は、必ず両手でハンドルバーを握り、両足を車両のフットレストに置いてください。
- 必ずゆっくり走行し、不慣れな地形上を運転するときは十分注意してください。この車両を運転するときは、地形条件の変化を見逃さないように必ず注意してください。

- 極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ土地でこの車両を運転する場合、そのような土地での操作に必要なスキルを学び、練習するまでは絶対に運転しないでください。そのような類の土地では、特に注意を払ってください。
- このオペレーターズガイドに記載の転回手順に必ず従ってください。低速で転回の練習を行ってから高速で転回するようにしてください。過剰な速度で転回しないでください。
- 車両や運転者にとって勾配が急すぎる斜面では、絶対にこの車両を運転しないでください。軽微な斜面で練習しているから急な斜面で運転しないでください。
- 走行技術のセクションで説明されている登坂時の正しい手順に必ず従ってください。斜面を上る前に、地形をよく確認してください。表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は、絶対に上らないでください。表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は、絶対に上らないでください。体重を前方へ移動してください。スロットルを突然開いたり、突然ギヤチェンジを行わないでください。傾斜地の頂上を高速で走り抜けしないでください。
- 走行技術のセクションで説明されている斜面でのブレーキ操作および降坂時の正しい手順に必ず従ってください。斜面を下る前に、地形をよく確認してください。体重を後方へ移動してください。
- 走行技術のセクションで説明されている斜面を横切るときの正しい手順に必ず従ってください。表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は避けてください。体重を斜面の上方向に移動してください。
- 登坂時にエンストしたり後方に倒れた場合は、必ず正しい手順に従ってください。エンストを避けるには、登坂時に低速ギヤを使用して一定の速度を保つようにしてください。登坂時にエンストしたり後方に倒れた場合は、走行技術のセクションで説明されている走行技術に関する手順に従ってください。
- 新しい土地で運転する前に、障害物がないか必ず確認してください。大きな岩や倒木などの大きな障害物上を走行しようとししないでください。障害物上を運転するときは、走行技術のサブセクションで説明されている正しい手順に必ず従ってください。
- スリップまたは横滑りしているときは十分注意してください。水平で滑らかな場所で低速で練習し、スリップまたは横滑り時の安全操作を学ぶようにしてください。氷など極度に滑りやすい路面ではゆっくり進み、制御不能なスリップの発生を抑えるために十分に気を付けてください。
- 水深が深いまたは水の流れが速い場所では絶対に運転しないでください。水面がフットレストの高さを超えるような場所は避けてください。ブレーキが濡れている場合は制動能力が低下することを忘れないでください。水、沼地または雪から出た後はブレーキのテストを行ってください。必要に応じて、ブレーキを数回かけてパッドを乾燥させます。
- 制動距離は、天候や地形条件、ブレーキシステムやタイヤの条件、車両速度や姿勢、および牽引物を含む車両の負荷（ただしこれらに限定されません）の影響を受けやすいことを、必ず覚えておいてください。これらの条件に応じて走行を加減するようにしてください。
- 後進するときは、車両後ろ側に障害物や人がいないことを必ず確認してください。後進しても安全なときは、ゆっくり進んでください。
- 後進する場合、BRPはATVに座るよう推奨しています。立ち上がらないでください。体が前方に移動してスロットルレバーに体重がかかり、思わぬ加速が生じて制御不能になる場合があります。
- この車両のタイヤは、舗装された道路での使用に適してしていません。
- 必ず適切なタイヤ空気圧を維持してください。タイヤを交換するときは、推奨されているサイズとタイプのタイヤだけを使用してください。タイヤの情報については、技術仕様のセクションを参照してください。

- アクセサリーを不適切に取り付けたり使用することでこの車両を改造しないでください。BRPが使用を認めたアクセサリーのみを使用してください。
- 運転者、他のすべての貨物および追加されたアクセサリーを含めた状態で、この車両の規定積載量を絶対に超えないようにしてください。荷物は均等に載せてしっかり固定してください。速度を下げて、このガイドにある荷物の運搬やトレーラーの牽引に関する指示に従ってください。制動距離を長めに取ってください。
- 操作装置類が正常に機能しない場合は、絶対に車両を運転しないでください。

運転に関する警告

下記の警告と様式は米国消費者製品安全委員会によって要求されているものであり、すべてのATVのオペレーターズガイドに掲載する必要があります。

下記の図は参考用です。使用されているモデルは異なる場合があります。

正しい説明を受けずに車両を運転した場合

⚠ 警告



考えられる危険

適切な説明を受けることなくこの車両を運転する。

起こる事象

運転者が各種の状況や地形におけるこの車両の正しい運転方法を知らない場合、事故の危険が非常に高くなります。

危険の回避方法

初心者や経験の浅い運転者はトレーニングコースを受講する必要があります。その後、コースで学んだ技術やオペレーターズガイドに記載されている運転技術を定期的に練習する必要があります。

トレーニングコースに関する詳細は、認定Can-Amディーラーにお問い合わせください。

推奨年齢

⚠ 警告



考えられる危険

この車両の推奨年齢に従わない。

起こる事象

この推奨年齢に従わないと、未成年が重傷を負ったり死亡する可能性があります。

未成年がこの車両の推奨年齢範囲内であっても、この車両を安全に運転するのに必要な技量、能力、または判断力を有しておらず、重大な事故に巻き込まれる場合もあります。

危険の回避方法

16才未満の人はこの車両を運転しないでください。

同乗者を乗せた運転

⚠ 警告



V000020

考えられる危険

この車両で同乗者を運ぶ。

起こる事象

この車両のバランスを取って制御する運転者の能力が大幅に低下します。事故を起こし、自身や同乗者が負傷する可能性があります。

危険の回避方法

絶対に同乗者を運ばないでください。運転者の動きを制限することのない長いシートであっても、同乗者を運ぶために設計されたものではありません。

公道、一般道、または高速道路での走行

⚠ 警告



考えられる危険

公道、一般道、または高速道路を走行する。

起こる事象

他の車両と衝突する可能性があります。

危険の回避方法

土や砂利がある場合でも、この車両を公道、一般道または高速道路上で絶対に運転しないでください。この車両を公道、一般道、または高速道路で走行することは、多くの州で違法とされています。

保護具未着用での運転

⚠ 警告



考えられる危険

使用が認められたヘルメット、ゴーグルおよび保護具を着用することなくこの車を走行させる。2-UPモデルの場合、同乗者は、チンガードを持つ使用が認められたヘルメットを着用していなければなりません。

起こる事象

- 使用が認められたヘルメットを着用せずに走行すると、事故の際に頭部に重傷を負ったり死亡する可能性が高まります。
- ゴーグルを着用せずに走行すると事故を起こしたり、事故の際に重傷を負う可能性が高まります。
- 保護具を着用せずに走行すると、事故の際に重傷を負う可能性が高まります。

危険の回避方法

正しく装着できる認められたヘルメットを着用してください。また、次のものを着用してください：

- 目の保護具（ゴーグルやフェイスシールド）
- 硬質のチンガード
- グローブとブーツ
- 長袖シャツまたはジャケット
- ロングパンツ

薬物やアルコール

⚠ 警告



考えられる危険
薬を服用したりアルコールを摂取した状態でこの車両を使用する。

起こる事象

同乗者が落下する可能性があります（2-UPモデルの場合）。

判断力に深刻な影響を与える可能性があります。

状況に対する反応がより遅くなる可能性があります。

バランスと認識力に影響を与える可能性があります。

事故を起こしたり死亡する可能性があります。

危険の回避方法

運転者と同乗者（2-UPモデルの場合）は、薬を服用したりアルコールを摂取した状態でこの車両を絶対に使用しないでください。

スピードの出しすぎ

⚠ 警告



考えられる危険

過剰な速度でこの車両を運転する。

起こる事象

車両が制御不能になる可能性が高まり、事故を起こすことがあります。

危険の回避方法

必ず地形、視認性、運転条件、および自身の経験に適した速度で走行してください。

2-UPモデルでは、走行時に同乗者がいると車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響する場合があります。同乗者を乗せて走行しているときは、安全に速度を下げてください。制動距離を長めに取ってください。

ウイリーやジャンプなどのスタント操作

⚠ 警告



考えられる危険

ウイリーやジャンプなどのスタント操作を行う。

起こる事象

転覆などの事故を起こす可能性が高まります。

危険の回避方法

ウイリーやジャンプなどのスタント操作を絶対に行わないでください。目立とうとする行動はお止めください。

車両の点検

⚠ 警告

考えられる危険

車両の点検を行わずに運転する。

車両を正しく維持しない。

起こる事象

事故を起こしたり装置が損傷する可能性が高まります。

危険の回避方法

走行前に必ず車両を点検し、車両が安全な運転状態にあることを確認してください。

このオペレーターズガイドに記載のメンテナンススケジュールに必ず従ってください。

凍結した水路

⚠ 警告

考えられる危険

凍結した水路上で走行する。

起こる事象

氷の上でブレーキをかけると重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

車両とその荷重、および動く車両によって生じる力を支えるのに氷が十分厚く安定していることを確認するまでは、凍結面上でこの車両を走行させないでください。

車両での適切な姿勢

⚠ 警告



考えられる危険

運転中に、運転者用のハンドルバーや同乗者用のグラブハンドル（2-UPモデルの場合）から手を放す。またはフットレストから足を放す。

起こる事象

一方の手や足を放すだけでも、車両の制御能力が低下したり、バランスを崩して車両から落下する可能性があります。フットレストから足を放すと、足が後輪に当たり、負傷したり事故を起こす可能性があります。

危険の回避方法

オペレーターは常に両手でハンドルバーを、同乗者（2-UPモデル）はグラブハンドルをつかまなければなりません。車両の運転中は、両足（2-UPモデルでは運転者と同乗者の両足）をフットレストに乗せる必要があります。

不慣れな地形

⚠ 警告



考えられる危険

不慣れな地形で車両を運転するときに十分な注意を払わない。

起こる事象

反応するのに十分な時間がない状態で隠れた岩、隆起部、または穴に出くわすことがあります。

車両が転覆する、同乗者（2-UPモデルの場合）が投げ出される、または制御不能になる可能性があります。

危険の回避方法

ゆっくり走行し、不慣れな地形上を運転するときは十分注意してください。

車両を運転するときは、地形条件の変化を見逃さないように必ず注意してください。

2-UPモデルでは、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っていることを忘れないでください。同乗者を乗せて走行しているときは、安全に速度を下げてください。

極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ地形では十分に注意してください

⚠ 警告



考えられる危険

極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ土地で運転するときに十分な注意を払わない。

起こる事象

トラクションの喪失または車両が制御不能な状態を引き起こす可能性があります。これにより、転覆したり同乗者が投げ出される（2-UPモデルの場合）などの事故を起こす可能性があります。

危険の回避方法

極度に粗い、滑りやすい、または緩んだ土地でこの車両を運転する場合、そのような土地での操作に必要なスキルを学び、練習するまでは絶対に運転しないでください。

そのような類の土地では、特に注意を払ってください。

2-UPモデルでは、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っていることを忘れないでください。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてからこれらの地形で運転してください。

不適切な転回

⚠ 警告



考えられる危険

不適切な転回。

起こる事象

車両が制御不能になって衝突や転覆を引き起こしたり、同乗者が投げ出される（2-UPモデルの場合）可能性があります。

危険の回避方法

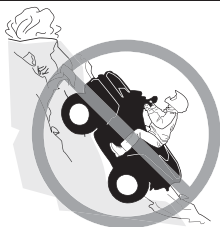
このオペレーターズガイドに記載の転回手順に必ず従ってください。低速で転回の練習を行ってから高速で転回するようにしてください。

2-UPモデルでは、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っていることを忘れないでください。同乗者がいる場合にこの操作を絶対に行わないでください。同乗者がいると、車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響する可能性があることを忘れないでください。

過剰な速度で転回しないでください。

勾配が急な斜面

⚠ 警告



考えられる危険

勾配が急な斜面での運転。

起こる事象

勾配が急な斜面では、水平面や軽微な斜面に比べて車両がより簡単に転覆する可能性があります。

危険の回避方法

車両や運転者にとって勾配が急すぎる斜面では、絶対にこの車両を運転しないでください。

同乗者を乗せていない状態および乗せた状態（2-UPモデルの場合）で、軽微な斜面で練習してから急な斜面で運転してください。

この車両が急な斜面を上ることができるとしても、2-UPモデルでは、同乗者がいるときにそのような斜面を上ることは推奨しません。必ず同乗者を降ろしてから斜面で運転してください。適切な判断を心掛けてください。

登坂走行

⚠ 警告



考えられる危険
不適切な登坂走行。

起こる事象

制御不能になったり、同乗者が投げ出されたり（2-UPモデルの場合）、車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

このオペレーターズガイドに記載の登坂手順に必ず従ってください。

斜面を上る前に、必ず地形をよく確認してください。2-UPモデルでは、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っていることを忘れないでください。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてから登坂走行を行ってください。同乗者がいると、車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響する場合があります。これを忘れないでください。

表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は、絶対に上らないでください。

（運転者および2-UPモデルの場合は同乗者も）体重を前方へ移動してください。

スロットルを突然開いたり、突然ギヤチェンジを行わないでください。車両が後方にひっくり返る可能性があります。

傾斜地の頂上を高速で走り抜けしないでください。斜面の向こう側に障害物や急な落ち込みがあったり、他の車両や人がいる可能性があります。

降坂走行

⚠ 警告



考えられる危険
不適切な降坂走行。

起こる事象

制御不能になったり、同乗者が投げ出されたり（2-UPモデルの場合）、車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

このオペレーターズガイドに記載の降坂手順に必ず従ってください。

注記：

降坂時のブレーキ操作には特殊な技術が必要です。

斜面を下る前に、必ず地形をよく確認してください。2-UPモデルでは、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っていることを忘れないでください。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてから降坂走行を行ってください。同乗者がいると、車両のハンドリング性能、安定性および制動距離に影響する場合がありますことを忘れないでください。

（運転者および2-UPモデルの場合は同乗者も）体重を後方へ移動してください。

絶対に高速で斜面を下らないでください。

車両が片側にきつく傾くような傾斜のある斜面を下るのは避けてください。できる限り斜面を真っ直ぐ降りてください。

斜面の横断または斜面での転回

**考えられる危険**

不適切な斜面の横断または斜面での転回。

起こる事象

制御不能になったり、同乗者が投げ出されたり（2-UPモデルの場合）、車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

2-UPモデルでは、同乗者がいる場合にこの操作を絶対に行わないでください。同乗者を降ろしてから操作してください。

オペレーターズガイドに記載されている転回技術を水平面で習得するまでは、斜面で車両の転回を絶対に行わないでください。斜面で転回するときは十分気をつけてください。

可能な場合は、勾配が急な斜面を横切るのは避けてください。

斜面を横切るときは：

このオペレーターズガイドに記載の正しい手順に必ず従ってください。

表面が極度に滑りやすいまたは緩んだ斜面は避けてください。

運転者および同乗者（2-UPモデルの場合）は、体重を斜面の上方向に移動してください。

登坂中のエンスト、後方への転倒、または降車

⚠ 警告



V00A1PQ

考えられる危険

登坂中のエンスト、後方への転倒、または不適切な降車。

起こる事象

車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

登坂時に低速ギヤを使用して一定の速度を保つようにしてください。

前進速度を失った場合：

運転者と同乗者（2-UPモデルの場合）は、体重を斜面の上方向に維持してください。スロットルを突然開いたり、突然ギヤチェンジを行わないでください。車両が後方にひっくり返る可能性があります。

ブレーキをかけます。

停止したらパーキングブレーキをロックします。

斜面の上側から降車するか、斜面上で車両が真っ直ぐ上を向いている場合は横側から降車します（2-UPモデルでは同乗者を先に降ろします）。

後方に倒れかけている場合：

運転者と同乗者（2-UPモデルの場合）は、体重を斜面の上方向に維持してください。スロットルを突然開いたり、突然ギヤチェンジを行わないでください。車両が後方にひっくり返る可能性があります。

後方にひっくり返ろうとしている間は、絶対にリアブレーキをかけないでください。

フロントブレーキを徐々にかけます。

完全に止まったらリアブレーキをかけてパーキングブレーキをロックします。

斜面の上側から降車するか、斜面上で車両が真っ直ぐ上を向いている場合は横側から降車します（2-UPモデルでは同乗者を先に降ろします）。

車両の周りを回って乗車し、このオペレーターズガイドに記載されている手順に従います。

障害物を乗り越えて走行する

⚠ 警告



考えられる危険

障害物の上を誤った方法で運転する。

起こる事象

制御不能になったり、同乗者が投げ出されたり（2-UPモデルの場合）、衝突する可能性があります。

車両が転覆する可能性があります。

危険の回避方法

新しい土地で運転する前に、障害物がないか確認してください。

大きな岩や倒木などの大きな障害物上を走行しようとししないでください。

2-UPモデルでは、運転者は同乗者の安全に関する責任を負っています。安全性が疑われる場合は、同乗者を降ろしてから障害物上を走行してください。走行時に同乗者がいると、車両のハンドリング性能および安定性に影響する場合がありますことを忘れないでください。

障害物上を走るときは、このオペレーターズガイドに記載の正しい手順に必ず従ってください。

横滑りやスライディング

⚠ 警告



考えられる危険

誤った方法でスリップや横滑りをする。

起こる事象

この車両の制御を失う場合があります。

また、突然トラクションが回復し、車両が転覆したり同乗者（2-UPモデルの場合）が投げ出されたりする場合があります。

危険の回避方法

水平で滑らかな場所で低速で練習し、スリップまたは横滑り時の安全操作を学ぶようにしてください。

2-UPモデルでは、同乗者がいるときにスリップや横滑りをしないでください。走行時に同乗者がいると、車両のハンドリング性能および安定性に影響する場合がありますことを忘れないでください。

氷など極度に滑りやすい路面ではゆっくり進み、制御不能なスリップや横滑りの発生を抑えるために十分に気を付けてください。

水深が深いまたは水の流りが速い場合

⚠ 警告



考えられる危険

水深が深いまたは水の流りが速い場所でこの車両を運転する。

起こる事象

タイヤが浮いてトラクションや制御を失い、事故を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

このオペレーターズガイドの規定よりも速く流れている水や水深が深い場所では、絶対にこの車両を運転しないでください。

水たまりを横切ろうとする前に、水深や流れを確認してください。水面はタイヤよりも下になければなりません。

ブレーキが濡れている場合は制動能力が低下することを忘れないでください。水から出た後はブレーキのテストを行ってください。必要に応じて、ブレーキを数回かけてパッドを乾燥させます。

リバースでの運転

⚠ 警告



考えられる危険

誤った方法で後進する。

起こる事象

車両後方の障害物や人にぶつかり、重傷を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

リバースギヤを選択したときに、車両後方の障害物や人がないことを確認してください。後進しても安全なときは、ゆっくり進んでください。2-UPモデルでは、同乗者によって視界が遮られる可能性があることを考慮してください。

タイヤ空気圧

⚠ 警告



考えられる危険

不適切なタイヤを使用して、またはタイヤ空気圧が不適切もしくは不均等な状態でこの車両を運転する。

起こる事象

この車両に不適切なタイヤを使用する、またはタイヤ空気圧が不適切もしくは不均等な状態でこの車両を運転すると、制御不能になったり、タイヤが破裂したり、タイヤガリムの周りを動いたり、事故の危険が高まる場合があります。

危険の回避方法

オペレーターズガイドの中でこの車両向けに規定されているサイズおよびタイプのタイヤを必ず使用してください。

このオペレーターズガイドに記載されている適切なタイヤ空気圧を必ず維持してください。

損傷しているホイールまたはタイヤは交換してください。

不適切な改造



考えられる危険

不適切な改造をした状態でこの車両を運転する。

起こる事象

この車両にアクセサリーを不適切に取り付けたり、不適切な改造を行うと、ハンドリング性能に変化が生じて場合によっては事故を引き起こすことがあります。

危険の回避方法

アクセサリーを不適切に取り付けたり使用することでこの車両を改造しないでください。この車両に加えられる部品やアクセサリーはすべて、BRPが認めたものでなくてはならず、指示に従って取り付けおよび使用されなければなりません。質問がある場合は、Can-Amディーラーにお問い合わせください。

(1-UPモデルに)同乗席を取り付けたり、ラックを使用して同乗者を運ばないでください。

速度や性能を向上するための車両の改造は、所有する車両の限定保証の条件に違反する場合があります。また、エンジンやエキゾーストコンポーネントの取り外しは、ほとんどの法律の下で違法となります。

荷物の搭載、運搬、牽引

⚠ 警告



考えられる危険

この車両への過積載、不適切な荷物の運搬または牽引。

起こる事象

車両のハンドリング性能に変化が生じて事故を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

運転者、同乗者（2-UPモデルの場合）、他のすべての貨物および追加されたアクセサリーを含めた状態で、この車両の規定積載量を絶対に超えないようにしてください。

荷物は均等に載せてしっかり固定してください。

荷物を運搬したりトレーラーを牽引するときは速度を下げてください。制動距離を長めに取ってください。

オペレーターズガイドに記載されている荷物の運搬またはトレーラーの牽引に関する指示に必ず従ってください。

可燃物または危険物の運搬

⚠ 警告



考えられる危険

可燃物または危険物の運搬で爆発を引き起こす可能性がある。

起こる事象

重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。

危険の回避方法

可燃物または危険物を運搬しないでください。

走行前点検

⚠ 警告

走行前に、必ず走行前点検を実施し、運転中に発生する恐れのある問題を発見します。乗車前の点検により、問題になる前にコンポーネントの摩耗や劣化を確認できます。発見した問題に対処して、故障または事故のリスクを低減してください。

この車両を使用する前に、オペレーターは下記の走行前点検用チェックリストを使用して必ず点検を行ってください。

走行前点検用チェックリスト

エンジン始動前にすべきこと（キーはオフの状態）

点検項目	実施する点検	✓
エンジンオイル	エンジンオイルのレベルを点検します。	
クーラント	クーラントレベルの点検	
ブレーキ液	ブレーキ液のレベルを点検。	
漏れ:	車両の下に漏れがないか点検します。	
スロットルレバー	スロットルレバーを数回作動させて自由に動くか点検します。レバーを放したときは、レバーがアイドルリング位置に復帰しなければなりません。	
パーキングブレーキ	パーキングブレーキをかけ、ブレーキが正常に動作しているか確認します。	
タイヤ	タイヤの空気圧と状態を確認します。技術仕様のセクションを参照して、荷重に応じて調整します。	
ホイール	損傷や異常な遊びがないかホイールを点検し、ラグナットが締め付けられていることを確認します。トルク仕様については、技術仕様のセクションを参照してください。	
ラジエーター	ラジエーターが汚れていないか点検します。	
ドライブシャフトベローズ	ドライブシャフトベローズとプロテクターの状態を点検します。	
シート	運転席が所定位置にあって正しく固定されているか点検します。	
カーゴ	荷物を運搬する場合は積載量を守ってください。カーゴラックへの搭載のセクションを参照してください。荷物がリアカーゴラックに適切に固定されていることを確認します。	

点検項目	実施する点検	✓
	トレーラーや他の装置を牽引する場合： <ul style="list-style-type: none"> - ヒッチおよびトレーラーボールの状態を点検します。 - ヒッチに貼付されているラベルに記載の（ヒッチにかかる）垂直荷重や牽引荷重を順守してください。技術仕様のセクションを参照してください。 - トレーラーがヒッチに正しく固定されていることを確認します。 	
グローブボックス	グローブボックスが所定位置にロックされていることを確認します。	
ストレージコンパートメント	リアストレージコンパートメントが正しく固定されているか点検します。	
シャーシおよびサスペンション	車両の下を確認してシャーシやサスペンションコンポーネントに異物の付着がないか点検し、異物を取り除きます。	
エンジンエアフィルター	エンジンエアフィルターを点検し、清掃します。	
CVTエアフィルター	CVTエアフィルターを点検し、清掃する。	

エンジン始動前にすべきこと（キーはオンの状態）

点検項目	実施する点検	✓
デジタル表示	（キーをオンにして最初の数秒の間に）デジタルディスプレイのインジケータランプの動作を点検します。	
	デジタルディスプレイ上にメッセージがないか点検します。	
ライト	ヘッドライトとテールライトの動作および汚れが付着していないか点検します。	
	ロービームとハイビームの動作を点検します。	
	ブレーキライトの動作を点検します。	
燃料レベル	燃料レベルを確認します。	
Horn（ホーン）	ホーンの機能を確認します（装備されている場合）。	

エンジン始動後にすべきこと

点検項目	実施する点検	✓
ステアリング	ステアリングホイールを左右にいっぱいまで回し、支障なく動作することを確認します。	
シフトレバー	シフトレバー（P、R、N、HおよびL）の動作を点検します。	
2WD/4WDセレクトター	2WD/4WDセレクトターの動作を点検します。	
ブレーキ	ゆっくりと数フィート前進し、ブレーキレバーおよびブレーキペダルを別々に作動します。ブレーキが十分にかかる必要があります。レバーとペダルを放すと、それらが完全に元の位置に戻らなければなりません。	
エンジンストップスイッチ	エンジンストップスイッチが正常に動作するか確認します。	
イグニッションスイッチ	エンジンの再始動および停止を行い、イグニッションスイッチが正常に動作することを確認します。	
RF D.E.S.S.ポスト	D.E.S.S.キーをD.E.S.S.ポストから引いてエンジンを停止することで、D.E.S.S.ポストが正常に動作しているか点検します。	

乗車

この車両を楽しく快適に乗るために、従うべきいくつかの基本的ルールとヒントがあります。これらのルールとヒントは、常識的なものであったりユーザーにとって初めての内容である場合があります。

時間を取って、このオペレーターズガイドおよび製品上のすべての警告ラベルを読み、この車両に付属の安全講習ビデオをご覧ください。乗る前にこの車両について知っておくべきことが十分に説明されています。

初心者または経験のある運転者がどうかに関わらず、個人の安全のために、この車両の操作装置と機能について知っておくことが重要です。また、正しい走行方法を知ることも同じように重要です。

本製品は、オフロード専用の高性能ATVです。経験の浅い運転者は危険を見落とし、さまざまな地形条件で見られるこのATV特有の動作に驚く可能性があります。

このオペレーターズガイドの情報がすべてではありません。地元の4輪バギークラブ、または公認のATVトレーニング機関でトレーニングを受けたり詳しい情報を得たり、認定Can-Am Off-Roadディーラーに相談したりすることを強く推奨します。

製品に貼付されている警告ラベルに記載の推奨年齢に従うことを推奨します。ユーザーがこの車両の推奨年齢範囲内であっても、この車両を安全に運転するのに必要な技量、能力、または判断力を有しておらず、重大な事故に巻き込まれる場合もあります。

認知機能障害や身体的障害を持つ方は、転覆や衝突の危険にさらされることが多く、負傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。

この車両は、運転者1人だけを乗せるように特別に設計されています。運転者の動きを制限することのない長いシートであっても、同乗者を運ぶために設計されたものではありません。

同乗者を乗せようとして同乗席を取り付けたりカーゴエリアを使用しないでください。同乗者を乗せると車両の安定性や操作に影響する場合があります。

どの車両も同じものではありません。各車両には固有の性能特性、操作装置および機能があり、それぞれ異なる走りや操作性を発揮します。

オフロード条件で走り出す前に、操作装置や車両の一般的な動きを十分熟知してください。危険がなく各操作の応答を感じることができると適切な場所で、運転の練習を行ってください。練習は低速で行います。高速での走行は、十分な経験、知識、および適した走行条件が必要となります。

走行条件は場所ごとに異なります。それぞれの場所は天候条件の影響を受け、時間や季節によって激しく変化する場合があります。

砂地での走行は、雪上や森林、沼地での走行とは異なります。それぞれの場合では、非常に高い認識力とスキルが必要な場合があります。適切な判断を心掛けてください。常に注意を払いながら走行してください。立ち往生したり負傷する可能性のある危険を不用意に負わないようにしてください。

車両はどこでも安全に走行すると思込まないでください。穴、くぼみ、バンク、柔らかいまたは硬い「地面」などの不規則性による突然の地形の変化によって、車両が転倒したり不安定になる場合があります。このような状況を避けるために、速度を下げて必ず前方の地形を確認してください。車両が転倒や

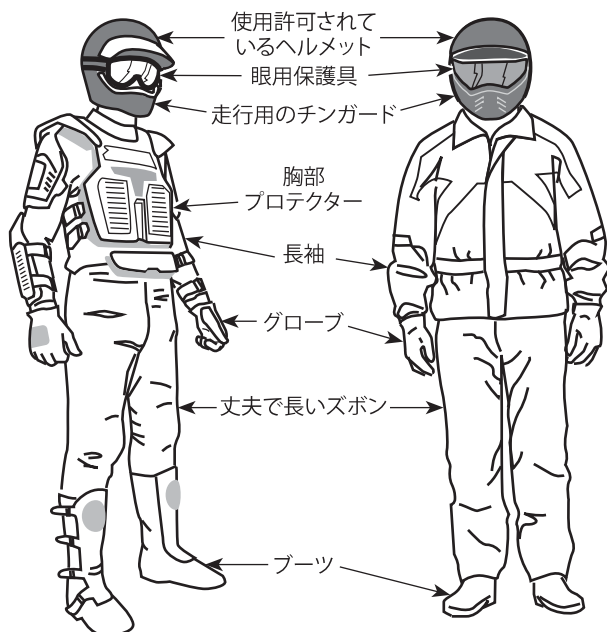
横転を始めた場合、倒れる方向とは反対の方向に直ちに車両から降りるのが最善の方法です。

車両の「12ヶ月安全点検」を受けていただくことをお勧めします。詳細については、認定Can-Am Off-Roadディーラーにご相談ください。可能な限り、認定Can-Am Off-Roadディーラーでシーズン前点検を受けていただくようお願いいたします。認定Can-Am Off-Roadディーラーを訪ねると、ご自身の車両が安全キャンペーンの対象になっているかどうかを確認できます。安全に関するサービスキャンペーンのお知らせが届いた場合は、できるだけ早く認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせいただくようお願いいたします。

必要とするアクセサリーが入手できるかどうかについては、正規Can-Am Off-Roadディーラーにご相談ください。

ライディングギア

実際の天候条件を確かめて、適切な服装を決めてください。予想される最も寒い天候に適した衣服を着用してください。肌の上に防寒用下着を着用すると、断熱性が高くなります。運転者は、使用が認められたヘルメット、ゴーグル、ブーツ、グローブ、長袖のシャツおよび長ズボンなど、適切な保護具と衣服を常に着用することが重要です。このような衣服によって、走行中に遭遇する軽微な危険から保護されます。運転者は、車両に巻き込まれたり、木の枝や背の低い木々に引っ掛かる恐れのある、スカーフなどのだぶついた衣類を着用しないでください。条件によっては、曇り止めゴーグルやサングラスが必要になる場合があります。ゴーグルやサングラスで利用できるさまざまな色のレンズは、地形の違いを見分けるのに役立ちます。サングラスは日中だけ着用してください。



適切な走行用保護具を着用した運転者

同乗者の運搬禁止

この車両は、運転者1人だけを乗せるように特別に設計されています。長いシートが取り付けられていても、車両は同乗者を運ぶために設計されたものではなく、また同乗者の運搬を意図したものではありません。同乗者を乗せようとして同乗席を取り付けたりカーゴエリアを使用しないでください。同乗者を乗せると車両の安定性や操作に影響する場合があります。

レクリエーション走行

この車両は泥地での走行専用設計されているため、そのような走行条件下では地上高が高くなります。トレイルでの走行条件によっては、地上高やタイヤのタイプが車両のハンドリング特性、トラクション、および安定性に大きく影響する場合があります。そのような条件では速度を下げてください。

他の人の権利や限度を考慮してください。他の種類のオフロード用途のために指定されている場所からは離れてください。これには、スノーモービルのトレイル、乗馬コース、スキーのクロスカントリーのコース、マウンテンバイクのトレイルなどがあります。トレイル上に誰もいないと想定しないでください。常にトレイルの右側をしっかりと維持し、トレイルの片方からもう片方へとジグザグに進まないでください。他のトレイル使用者が前方に現れた場合は、停止するか脇へ寄せる準備をしてください。

地域の4輪バギークラブにご参加ください。このようなクラブでは、地図やアドバイスが提供され、走行できる場所の情報を入手することができます。近隣

にクラブがない場合は、クラブの立ち上げにご協力ください。グループでの走行やクラブの活動は楽しいものであり、社会経験が得られます。

他のライダーからの安全離隔距離を保ってください。速度、地形条件、天候、車両の機械的状態の判断、および自分自身が周りの人に対して持っている「判断の信用」は、適切な安全離隔距離をより良く判断するための助けとなります。他の原動機付き車両のように、この車両は「急には」止まれません。

走行する前に、どこに行くか、帰る予定時間を誰かに伝えましょう。

走行時間の長さに応じて、補助用のツール、飲食品、および非常用装置を搭載してください。ガソリンやオイルを補給できる場所も確認してください。遭遇しうる状況に対処するための準備を行ってください。

救急箱	モンキーレンチ
携帯電話	ナイフ
摩擦テープ	懐中電灯
ロープ	色付きレンズのゴーグル
予備の照明用バルブ	トレールマップ
付属の車載工具	軽食

泥地での走行

この車両は泥地での走行専用設計されています。ATVをトレイルで走行している場合を除き、低速ギヤを使用する必要があります。

この車両は、粗い地形や極度の条件に対応するように製造されていますが、誤って使用すると、特定のコンポーネントの回復不能な摩耗や故障を引き起こす場合があります。スロットルを大きく開けて非常に深い泥地を走行しているときに、急にハンドルを切ったりいっばいまでハンドルを切ったりしないでください。

点検およびメンテナンススケジュールを厳守する必要があります。

環境

この車両の長所の1つは、ほとんどの地域から距離のある、人里離れた場所へと向かえることです。しかし、自然そして他の人の楽しむ権利を常に大切する必要があります。環境保護指定区域には乗り入れないでください。森林でできる作物や低木の上での走行、木の伐採、フェンスの取り壊し、ホイールのスパイン、地形の破壊はしないでください。「そっと」走るようにしてください。

ごみや異物などがこの車両のエキゾーストやエンジンの他の高温箇所の近くに堆積して着火し、それが乾燥した草に落下した場合、火事が発生する可能性があります。ごみや異物が堆積するような湿地帯、湿原、背の高い草がある所での走行は避けてください。これらの場所で走行する場合は、エンジンおよび高温箇所を点検し、ごみや異物を取り除いてください。詳細は、車両のお手入れを参照してください。

野生動物を追いかけることは、多くの地域で違法とされています。野生動物は、原動機付き車両に追いかけられた後に、極度の疲労で命を落とすこともあります。トレイル上で動物に出くわした場合は、車両を停止して、注意しながら静かに見守ってください。これは、人生の中の良い思い出の1つとなるでしょう。

「持ち込んだ物は持ち帰る」というルールを守ってください。ごみを散らかさないでください。許可を得ていない限り、キャンプファイヤーは行わないでください。行う場合は、乾燥した地域から離れた場所でのみ行ってください。トレイル上で自身が生み出す危険が、後日であっても他人や自分自身を負傷させる場合があります。

農地を大切にしてください。私有地を走る前に、土地の所有者の許可を必ず得てください。穀物、家畜、土地の境界線を大切にしてください。

最後に、小川や湖、川を汚さないでください。車両の排気ガス量が変わるため、エンジンやエキゾーストシステムを改造したり、それらのコンポーネントを取り外したりしないでください。

設計上の制限

車両は同クラスの中でも非常に丈夫なものですが、軽量の車両として定義されており、その運転も特定の目的に制限されています。

車両の一部に荷重を追加すると、重力的安定性や性能に変化が生じます。

オフロードでの運転

オフロードでの運転特性は危険なものです。車両走行のために特に整備されていない地形には、地面を構成する物質、形状、険しさが予測できない内在的な危険が存在します。地形自体が連続する危険な要素を呈しており、この地形を走破しようとするオペレーターは、このことを承知の上で受け入れなければなりません。

車両をオフロードで走らせるオペレーターは、最も安全な経路を選択し目の前の地形から目を離さないよう、常に最大限の注意を払う必要があります。この車両に適用される走行時の指示に十分慣れていない人にこの車両を運転させたり、険しく不安定な地形で運転するのは絶対に止めてください。

走行技術

このガイドの情報がすべてではありません。認定されたトレーニングコースの指示に従い、知識やスキルを向上させてください。

配慮、注意、経験および運転技術は、車両を運転する際の危険に対する最も良い予防策となります。

トレイル上のすべての標識を厳守してください。標識は、自身や他の人を手助けするために設置されています。

オフロード運転では、速度ではなく、パワーとトラクションが重要になります。視認性や自身の能力に見合わない速い速度での運転はせず、取り得る安全なルートを選択してください。

傾斜、そして岩や切り株などの障害物に突然の変化がないか、目の前の地形を常に確認してください。これらのものにより安定性を損ない、転倒や横転を引き起こす可能性があります。

また、傾斜やバンクの反対側の地形条件を知っておくことも、賢明な考えです。対応や降下が不可能な急激な落ち込みもよくあります。

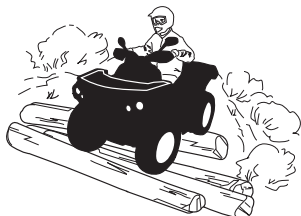
障害物や一部の地形に車両が安全に対処できることにわずかでも疑いがあるときは、必ず別のルートを選択してください。

必ず正しい運転を心掛けて、曲がり道や坂道、粗い地形を走行しているときに車両が転覆しないようにしてください。

乗車姿勢

正常操作を維持するため、両手をハンドルバーに置き、すべての操作装置類に簡単に手が届くようにすることを強く推奨します。これは、フットペグ上の足についても言えることです。足が負傷する可能性を最小限に抑えるため、足は常にフットペグ上に置いてください。つま先を外側に向けたり転回時の補助として足を伸ばしたりしないでください。そのようにすると、足が障害物に当たったりからんだりして、足がホイールに当たる場合があります。

この車両にはサスペンションがあるものの、不快に感じる「連続した凹凸」のような粗い地形条件があって、背中に振動が伝わり背中を痛める可能性もあります。かがんだ姿勢で「構えたり」走行することも頻繁に求められます。速度を下げ、足を固定して衝撃エネルギーの一部を吸収できるようにしてください。



道路の横断

道路を横断しなければならない場合は、両側をよく見て接近して来る人や車などがいないか確認し、道路の向こう側にある到達位置を決めます。その位置に向かって真っ直ぐ走行してください。急な針路の変更や急加速はしないでください。横転する状況を引き起こす場合があります。歩道や自転車用レーンには人や自転車用に特別に指定されたものであるため、それらの上を走行しないでください。

旋回

低速で転回の練習を行ってから高速で転回するようにしてください。

両手をハンドルバーに、足をフットペグに置いてください。

転回中は、一定の速度を維持するか若干加速してください。

横転のリスクを減らすために：

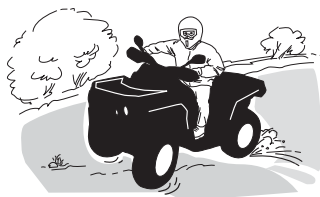
- 転回時には注意してください。

- 速度や環境に対してハンドルバーを大きく回しすぎたり、速く回しすぎたりしないでください。状況に応じて操舵操作を調整してください。
- カーブにさしかかったら速度を下げてください。曲がっているときは、急ブレーキをかけないでください。
- 曲がっているときは、たとえ停止した状態からであっても急加速しないでください。
- ドーナツターン、スリップ、横滑り、フィッシュテール、ジャンプなどのスタント操作を行わないでください。車両がスリップまたは横滑りし始めた場合は、スリップまたは横滑りの方向に操舵してください。ブレーキを強くかけないでください。ホイールがロックします。
- 舗装面は避けてください。この車両は舗装面を走行するように設計されていないため、舗装面では横転する恐れがあります。舗装面で走行しなければならない場合は、ゆっくり曲がり、低速で進み、急加速や急ブレーキを避けてください。

転回中にステアリング、スロットル、またはブレーキを急に操作しないでください。

⚠ 警告

過剰な速度で転回しようとししないでください。



横滑りやスリップが発生した場合は、再度コントロールが得られるまでハンドルバーを滑っている方向に回すと役に立つ場合があります。急ブレーキをかけてホイールをロックさせないでください。

⚠ 警告

この車両のタイヤは、舗装された道路での使用に適してしていません。また、この車両にはリアディファレンシャルが装備されていません（リアホイールは常時同じスピードで回っています）。そのため、舗装された道は車両のハンドリング性能や制御に大きな影響を与えます。

ブレーキ

ブレーキをかけるときは、必ず両手をハンドルバーに、足をフットペグに置いてください。

ブレーキの練習を行って、ブレーキの応答に慣れるようにします。

- 最初は低速で練習してから、速度を上げていきます。
- 直線のコースでさまざまな速度で走り、さまざまな制動力をかけることで、ブレーキの練習を行います。
- 非常ブレーキの練習を行います。最適なブレーキは、直線コースにおいて、高い力をかけてホイールがロックしない状態のときに得られます。

制動距離は車両速度、負荷、および路面のタイプによって異なることを忘れないでください。また、タイヤおよびブレーキの状態は重要な役割を果たします。

注記：

前進の場合、ブレーキをかけると車重がフロントホイールに移動します。より高い停止効率を得るために、ブレーキシステムはより多くの制動力をフロントホイールに分配します。これは、強くブレーキをかけたときの車両のハンドリング性能や操舵制御に影響します。ブレーキをかけるときはこのことを考慮してください。

後進走行

後進走行の際は、車両後ろ側の経路に人や障害物がないことを確認してください。ゆっくりと進み、急旋回は避けてください。

後進する場合、当社はATVに座るよう推奨しています。立ち上がらないでください。運転者の体重が前方に移動してスロットルレバーにかかると、不意に加速するおそれがあります。

⚠ 警告

ATVを後退させているときに突然加速すると、操作不能になる恐れがあります。

障害物

「トレイル」上の障害物は、注意して乗り越える必要があります。障害物には、ぐらついた岩、倒木、滑りやすい路面、フェンス、ポスト、盛り土、およびくぼみなどがあります。可能なかぎり、これらを避けるようにしてください。障害物には、乗り越えるのに大きすぎるまたは危険すぎるため、避けなければならない場合があることを覚えておいてください。小さな岩や倒木は、それらに対して直角の方向から近づくことで安全に乗り越えることができます。ひざを曲げた状態でフットレストの上に立つようにしてください。勢いを失わないように速度を調整して、急に加速しないでください。ハンドルバーをしっかり握ってください。体重を後方に移動して進んでください。車両のフロントホイールを地面から浮かせようとしないでください。障害物は滑りやすく、乗り越えているときに移動する可能性があることに気を付けてください。

登坂走行

登坂走行の前に、下記の内容を念頭に置いてください。登坂走行は、経験のある運転者だけが行ってください。傾斜の緩やかな場所から発進します。上り坂に対して真っ直ぐ進み、体重は坂の頂上側に維持します。足はフットレストの上に置き、ATVを低速ギヤに入れてから加速して、登坂を始めます。一定の速度を保つよう心掛け、スロットルは控えめにして加速は避けます。急な傾斜や地形の変化、または1つのホイールが障害物に乗った状態は、車両前方が浮いた状態になるため安定性に大きな影響を与え、転倒する危険が高まります。また、斜面が急すぎて安全に停止できない、または上るのに失敗した後で回復できない場合もあります。急な傾斜は避けるようにしてください。注意しないと、登坂時に転倒する可能性があります。斜面が急すぎて進めないまたは車両が後退し始めた場合は、横滑りしないよう注意しながらブレーキをかけ、パークブレーキをかけます。左側に降車して「K」ターンを行います（ブレーキレバーに手をかけた状態で車両の横（車両よりも頂上側）に立ち、後進方向

にゆっくり歩きながらハンドルを切って、車両後方が頂上側を向いてから降坂します)。必ず車両よりも頂上側に降りて、車両に近づきすぎないようにしてハンドルバーを回しながら歩いてください。転倒し始めた場合は、車両をつかもうとせず離れてください。高速で頂上を走り抜けないでください。急な落ち込みや障害物などがある場合があります。



車両の挙動

構成によって、この車両は非常に優れた登坂能力を備えているために、トラクションを失う前に転倒する可能性があります。例えば、坂道の頂上がある程度侵食されて、先端が急激に盛り上がっているという地形状況に遭遇するのはよくあることです。車両はそのような状況にすばやく対応できるものの、動作している間に車両前部が車両のバランスが後方に移るポイントまで達すると、転倒する可能性があります。

搭載している物が原因で車両前部が想定よりも高い位置になると、同じような状況が発生する場合があります。転倒の可能性が発生した場合は、別のルートを通ってください。斜面を横方向に走行する際の危険に注意してください。後述の斜面の横断のセクションを参照してください。



降坂走行

体重を後方に保ち、座った状態を維持します。スリップしないようにブレーキを徐々にかけます。エンジン圧縮の状態またはニュートラルに入れた状態で、斜面を「惰性」で下らないでください。

滑りやすい下り坂に対処しながら下ると、車両が滑り下りるようになります。着実な速度を維持して、若干加速するなどして、コントロールを得るようにしてください。急な傾斜は避けるようにしてください。注意しないと、降坂時に転倒する可能性があります。



車両の挙動

この車両は、安全に下ることができる斜面よりも急な斜面を上ることができません。そのため、上る前に、斜面を下るための安全な経路があることを確認するのが重要です。

斜面の横断

斜面の横断は、車両バランスが大きく変化することがあるため、最も危険な走行の1つとされています。可能な場合は避けるようにしてください。しかし、斜面を横断する必要がある場合は、必ず体重を斜面の上側に維持し、車両が転倒し始めた場合に降車する体制を整えておくことが重要です。

車両の片側が反対側よりも高い状態で、片側がさらに高くなって横転を引き越すような障害物やくぼみはすべて避けてください。

⚠ 警告

止まろうとしたり、立ち往生している車両を救出しようとししないでください。

⚠ 警告

液体リザーバーを載せて運搬するときは注意してください。リザーバーによって下方向に引かれて横転のリスクが高まり、斜面を横断しているときの車両の安定性に影響を及ぼします。



急な落ち込み

通常は、フロントまたはリアホイールのいずれかが急な落ち込みの上に差しかって車両の「底」が当たると、車両は停止します。落ち込みが急で深い場合は、車両が先端から落下したり転倒したりします。

⚠ 警告

急な落ち込みの上での走行は避けて後退し、回避ルートを選択してください。

水たまりの横断

水たまりは独特の危険物となり得ます。水たまりが深すぎると、車両が「浮いて」転覆する場合があります。水たまりを横切ろうとする前に、水深や流れを確認してください。水面はタイヤよりも下になければなりません。水たまりおよび水たまりのバンクの双方において、岩、草、丸太などの滑りやすい面に気を付けてください。トラクションを喪失する場合があります。高速の状態でも

たまりに入らないでください。水は制動力の役割を果たすため、自身が車両から投げ出されて地面に落下する可能性があります。



水による制動は、車両の制動能力に影響します。車両が水たまり、泥または雪から離れた後は、ブレーキを数回かけて乾燥させてください。制動距離を長めに取ってください。

水たまりの近くでは、泥や沼地に遭遇する場合があります。突然の「穴」や深さの変化に備えてください。同様に、特に植物などに覆われた岩や丸太などの危険物に注意してください。

氷の上での走行

経路に凍結した水路がある場合、自身、車両およびその荷重を含む総重量を支えるのに氷が十分厚く安定していることを確認してください。水がないか特に注意して見張ってください。水は氷の厚さが変化している確かな証拠です。

氷は車両の制御にも影響します。速度を下げ、スロットルを「ふかしたり」しないでください。アクセルをふかしてもタイヤがスピンするだけであり、車両が転倒する可能性があります。急ブレーキは避けてください。急ブレーキは、制御不能な横滑りや車両の転倒を引き起こす可能性があります。泥は車両の運転や制御を妨げる可能性があるため、どのようなときでも避けてください。

雪で覆われた路面での走行

日常点検を行うときは、雪や氷の場所に特に注意してください。雪や氷が溜まっていると、テールランプやリフレクターの視認性が阻害され、通気口が詰まり、ラジエーターやファンを妨げ、コントロールレバー、スイッチおよびブレーキペダルの動きと干渉する場合があります。ATVを始動する前に、ステアリング、スロットル、ブレーキレバーおよびペダルコントロールの自由な動きが干渉されていないか確認してください。

雪で覆われた走行路上をATVが走るとき、通常はタイヤのグリップが下がり、運転者からの入力操作に対する車両の応答が異なってきます。グリップが低い面では、ステアリングの応答に切れがなく不正確で、制動距離が長くなり加速性も鈍くなります。速度を下げ、スロットルを「ふかしたり」しないでください。アクセルをふかしてもタイヤがスピンするだけであり、オーバーステアリングにより車両の横滑りが発生する可能性があります。強いブレーキは避けてください。ブレーキが強いと、車両が真っ直ぐ滑る可能性があります。もう一度言いますが、操作を予測して安全に速度を下げ、スピンして制御を失う前に、時間と距離に余裕を持って車両全体のコントロールを維持するのが最善の方法です。

ATVを緩い雪で覆われた面の上で走行させると、動いている車両の後方乱気流に雪塵が巻き込まれ、むき出しになっているコンポーネント（ブレーキディスク

クのような可動部品など)に雪が接触、堆積し、溶けるようになります。水、雪、または氷は、ATVのブレーキシステムの応答時間に影響を与える場合があります。車速を下げる必要がないときであっても、ブレーキを頻繁にかけて氷や雪の堆積を防止し、ブレーキパッドやディスクを乾燥させてください。そのようにする一方で、リスクが低い走行状態においてグリップレベルのテストを行い、入力操作に対する車両の応答の仕方を理解するようにしてください。ブレーキペダル、フットレスト、フロアボード、ブレーキおよびスロットルレバーに雪や氷が付着していない状態を維持してください。シート、ハンドグリップ、ヘッドライト、テールライトおよびリフレクターの雪を頻繁に拭き落としてください。

積雪によって、岩や木の株などの障害物が隠れることがあります。それらが濡れた状態であれば、車両の身動きが取れなくなったり、ぬかるんだ雪の中で完全にトラクションを失ったりして、走行性能が完全に阻害される場合があります。遠い先を見て、そのような障害物の存在を示している場合がある目視可能な手がかりに、常に注意してください。疑わしい場合は避けるようにしてください。氷がATV、乗員、および積載された荷物を安全に支えられることが確認されるまでは、凍った水路上を走行しないでください。氷がスノーモービルを支えるのに十分な厚さであっても、同じ重量のATVを支えることができない場合がありますので注意してください。これは、スノーモービルのトラックやスキーに比べて、4つのタイヤの場合は荷重がかかる接触面積が小さくなるためです。

快適性を最大限して霜焼けにならないようにするには、走行時の天候に適した衣服やATV乗車時の保護具を必ず着用してください。

運転が終わるたびに車体およびすべての可動部品(ブレーキ、ステアリングコンポーネント、ドライブライン、操作装置類、ラジエーターファンなど)に堆積している雪や氷を除去するのは良い習慣です。水気のある雪は停止している間に氷に戻るため、次の走行前点検のときに取り除くのがより困難になります。

雪の中で走行しているときは、ブレーキによる停止能力が低下する場合があります。安全に速度を下げ、制動距離を長く取ってください。雪が付着していると、ブレーキコンポーネントや操作装置類の上に氷ができたり雪が堆積する場合があります。ブレーキを頻繁にかけて氷や雪の堆積を防いでください。

砂地での走行

砂地および砂丘での走行は、独特の走りを味わえるものですが、守るべき基本的な注意事項があります。濡れた深いまたは細かな砂は、トラクションを喪失させ、車両が横滑りしたり、落ちたり、「身動きがとれない」状態になる恐れがあります。こうした状況が発生した場合は、硬い土台となるものを探してください。もう一度言いますが、速度を下げて状況に注意を払うことが最善の方法です。

砂丘を走行する際は、車両にアンテナタイプの安全フラグを装備しておくことによいでしょう。これにより、付近の砂丘にいる他の人から自身の位置がより見えやすくなります。別の人の安全フラグが目に見える場合は、慎重に走行を続けてください。アンテナタイプの安全フラグは、自身の体に引っ掛かったり跳ね返ることがあるため、突き出た低い枝や障害物がある場所では使用しないでください。

緩い石地での走行

緩い石地や砂利上での走行は、氷の上での走行と非常によく似ています。緩い石地や砂利は車両の操舵に影響し、特に高速時に横滑りや転倒を引き起こす（その結果、運転者が投げ出される）可能性があります。

もう一度言いますが、速度を下げて状況に注意を払うことが最善の方法です。

また、制動距離に影響する場合があります。アクセルを「ふかしたり」横滑りを起こしたりすると、緩んだ石を、後方にある他の人の走路に向けて飛ばしてしまうこととなりますので、覚えておいてください。こうしたことを意図的に行わないでください。

荷物の運搬と作業の実施

車両を使用した作業

車両は、除雪や木材の牽引、荷物の運搬に至るさまざまな軽作業を行うのに役立ちます。認定Can-Am Off-roadディーラーでさまざまなアクセサリを入手することが出来ます。考えられる負傷を防止するため、アクセサリに付属の説明書や警告に従ってください。車両の最大積載重を必ず守ってください。過積載は車両のコンポーネントに過剰な応力をかけるため、故障を引き起こす可能性があります。重い荷物を引いたり持ち上げたり、または車両を手で押す際、無理をしないようにしてください。

⚠ 警告

トラクターから離れる前に、取り付けた機器類を必ず地面に下ろしてください。

荷物の運搬

車両に積まれた荷物は、車両のハンドリング性能、安定性、および制動距離に影響します。運転者、同乗者、荷物およびアクセサリの重量、ならびにトレーラー垂直荷重を含む車両の許容積載量を超えないでください。技術仕様を参照してください。貨物が固定され、適切に搭載され、操作やライトの邪魔になっていないことを必ず確認してください。荷物が滑ったり落下して事故を起こす可能性があることに注意してください。荷物を横に突き出して載せるのは避けてください。茂みやその他の障害物に引っ掛かったり挟まれたりする恐れがあります。

貨物を運搬したりトレーラーを牽引しているときは、地形に合わせて安全に速度を下げます。制動距離を長めに取ってください。できるだけ積荷を低くしてリヤラックに固定し、重心が高くなることによる影響を抑えます。

最大荷重表

許容総積載量	189 kg (417 lb)		運転者、その他すべての貨物、ヒッチ荷重、および追加されたアクセサリを含む
リアカーゴエリア	MR 570 Xmr 570	109 kg (240 lb)	(均等に搭載された状態) リアラック、リアストレージボックス、リアストレージコンパートメントおよびヒッチ荷重を含む
	Xmr 650 Xmr 850 Xmr 1000R	90 kg (200 lb)	

下記に示すのは、適切な貨物の搭載例です。

荷重の配分例

車両総重量	オペレータ	荷物の積載量	アクセサリ	ヒッチ荷重
189 kg (417 lb)	86 kg (190 lb)	70 kg (154 lb)	10 kg (22 lb)	23 kg (51 lb)

カーゴラックへの搭載

荷物はできるだけ低く積んでください。荷物が高いと車両の重心が高くなり、安定性が低下します。荷物はできるだけラック上に均等に置いてください。

カーゴラックでは荷物を固定してください。車両の他の部分に荷物を固定しないでください。正しく固定されていないと、荷物が滑ったり落下したりして乗員や居合わせた人に当たる可能性があります。また、走行中にずれて、車両のハンドリング性能に影響することもあります。

高い位置にある物はオペレーターの視認性に影響し、事故の際に発射物のような動きをする場合があります。横に突き出した荷物は、茂みや木の枝などの障害物に引っ掛かったり挟まれたりする恐れがあります。荷物がブレーキライトを覆ったり邪魔したりしないようにしてください。荷物がカーゴラックから突き出ていないこと、および荷物が視界を遮っておらず、車両の操作装置と干渉していないことを確認してください。

注意

カーゴラックの容量を超えないでください。技術仕様を参照してください。

ガソリン容器や危険な液体をカーゴラックで運搬しないでください。

貨物のけん引

貨物をバンパーに取り付けて牽引しないでください。車両の転倒を引き起こす可能性があります。貨物をけん引するには、トレーラーヒッチ（取り付けられている場合）のみを使用してください。

緊急事態の場合、リカバリーフックを使用して立ち往生した車両を正常な状態に戻してください。リカバリーフックのセクションを参照してください。

チェーンやケーブルを使用して貨物をけん引するときは、発進する前にたるみがなく、けん引中は張力を保つようにしてください。

チェーンやケーブルを使用して貨物をけん引するときは、ブレーキを徐々にかけるようにしてください。貨物の慣性によって衝撃が発生することがあります。

貨物をけん引するときは、最大けん引荷重を守ってください。トレーラーの牽引のセクションを参照してください。

警告

たるみにより、チェーンやケーブルが破断したり反発したりすることがあります。

別の車両をけん引するときは、別のの人に被けん引車を運転してもらうようにしてください。被けん引車に乗っている人は、車両のブレーキをかけたり、制御不能にならないようにステアリングホイールを操作する必要があります。

貨物をけん引しているときは速度を下げ、徐々に曲がってください。斜面や粗い地形を避けてください。険しい傾斜は避けてください。特に、傾斜面上で

あったり同乗者（2-UPモデルの場合）がいるときは、制動距離を長めにとってください。スリップや横滑りが発生しないよう注意してください。

トレーラーの牽引

注意

トレーラーをけん引するにあたり、BRP 認定のリアヒッチが車両に正しく取り付けられている必要があります。

トレーラーを装備した車両の運転は、特に傾斜のあるスロープにおいて転倒するリスクが非常に高くなります。車両の後ろでトレーラーを使用する場合は、そのヒッチが車両側のヒッチに対応していることを確認してください。トレーラーが車両とともに水平になっていることを確認します。（一部の場合、車両側ヒッチに専用のエクステンションの取り付けが必要になる場合があります。）セキユリティーチェーンやケーブルを使用して、トレーラーを車両に固定します。

トレーラーをけん引しているときは速度を下げ、徐々に曲がってください。斜面や粗い地形を避けてください。険しい傾斜は避けてください。特に、傾斜面上であったり同乗者（2-UPモデルの場合）がいるときは、制動距離を長めにとってください。スリップや横滑りが発生しないよう注意してください。

トレーラーに対して貨物を不適切に搭載すると、制御不能になる可能性があります。

牽引荷重や（ヒッチにかかる）垂直荷重を超えないでください。技術仕様を参照してください。

タンクにいくらかの重量がかかっていることを確認してください。

貨物がトレーラーに安全に固定され、荷重が均等に分散された状態であることを必ず確認してください。均等に分散されてバランスの取れたトレーラーであれば、運転も楽になります。

トレーラーのけん引時は、シフトレバーを必ずL（ローレンジ）にしてください。さらに、トルクを高めにする事で、ローレンジでの運転がリアタイヤへの荷重の増加を補助することになります。

停止または駐車するときは、車両およびトレーラーのホイールをブロックして動かないようにします。

貨物を積載したトレーラーを切り離すときは注意してください。貨物が自分自身や他の人の上に倒れる場合があります。

トレーラーけん引するときは、ヒッチ上のラベルに示されている最大けん引荷重を順守してください。

重要な製品ラベル (カナダ/米国)

セーフティハングタグ

この車両には、重要な安全情報が記載されている下げ札およびラベルが付いています。

この車両に乗る人は、必ずこの情報をよく読み理解した上で乗車してください。

S スポーツモデル

このATVは
十分な経験を持つ運転者が使用する
レクリエーション用車両です。

運転者のみ使用可 - 同乗禁止

16才未満運転禁止

このカテゴリS(スポーツ)のATVは、オフロード専用の高性能ATVです。この車両は、高い技量と十分な経験を持つ運転者がスポーツタイプのレクリエーションおよび競技で使用するためのものです。

ATVの運転技術を学べるトレーニングコースをご利用いただけます。詳細は最寄りのディーラーにお問い合わせください。

ATVの運転に関する地域の法規制については、最寄りのディーラーにご確認ください。

この品質表示票は、販売前に取り外すことはできません。

704903318

警告

ATVを正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。



使用が認められたヘルメットと保護具を必ず着用してください。



絶対に公道で使用しないでください。



絶対に同乗者を運ばないでください。



薬を服用したりアルコールを摂取した状態では絶対に使用しないでください。

下記の場合は絶対に運転しないでください。

- ATVに関する適切なトレーニングや説明を受けていない。
- 自身の技量や状況にとって速すぎる速度。
- 公道上 - 他の車両と衝突する可能性があります。
- 同乗者を乗せた状態 - 同乗者はバランスや操舵機能に影響を与え、操作不能になる危険が高まります。

必ず下記のことを行ってください。

- 正しい運転を心掛けて、曲がっているときや坂道や粗い地形を走行しているときに車両が転覆しないようにしてください。
- 舗装面は避けてください - 舗装面はハンドリングや制御機能に大きな影響を与えることがあります。

オペレーターズガイドを読み、所定位置に保管してください。
すべての指示および警告に従ってください。

安全ラベル

車両にあるすべての警告ラベルを読んで理解してください。

これらのラベルは、オペレーターまたはその場に居合わせる人の安全のために、車両に貼ってあります。

車両に貼付されている警告ラベルは、車両に常設されるべきものと考えてください。

ラベルが剥がれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに交換してください。認定 Can-Am Off-Road ディーラーまでお問い合わせください。

注記：

このガイドおよび車体にいかなる不一致がある場合、車体の安全性ラベルはこのガイドのラベルより優先されます。

全般的警告ラベル

警告

ATV を正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。



使用が認められたヘルメットと保護具を必ず着用してください。



絶対に公道で使用しないでください。



絶対に同乗者を運ばないでください。



薬を服用したりアルコールを摂取した状態では絶対に使用しないでください。

下記の場合は **絶対に運転しないで** ください。

- ATV に関する適切なトレーニングや説明を受けていない。
- 自身の技量や状況にとって速すぎる速度。
- 公道上 - 他の車両との衝突を引き起こす可能性があります。
- 同乗者を乗せた状態 - 同乗者はバランスや操舵機能に影響を与え、操作不能になる危険が高まります。

次のことを **必ず** 確認してください。

- 必ず正しい運転を心掛けて、曲がり道や坂道、粗い地形を走行しているときに車両が転覆しないようにしてください。
- 舗装面は避けてください - 舗装面はハンドリングや制御機能に大きな影響を与えることがあります。

運転する前にすべての警告ラベルを読んで理解し、オペレーターズガイドを読んで所定位置に保管し、QR コードリンクを使用するか Can-am ウェブサイトにアクセスして安全講習ビデオをご覧ください。

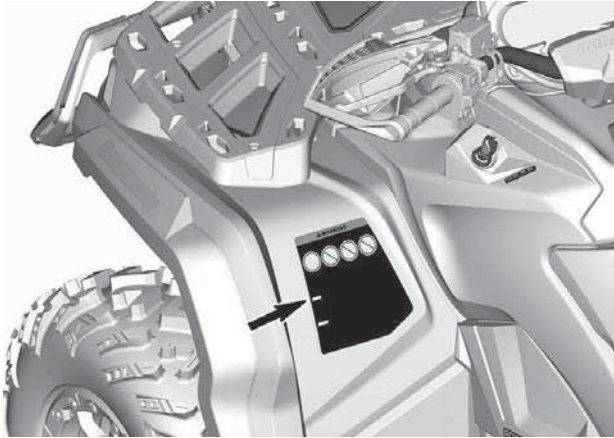
オペレーターズガイドの場所を確認し、読みます。

すべての指示および警告に従ってください。

特許情報: www.brp.com/en/about-brp/patents.html




8010_JA



タイヤ圧力と最大荷重 - 警告ラベル

⚠ 警告

不適切なタイヤ圧や過積載は制御不能の原因となり、重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。

表示されている適切なタイヤ圧を維持してください。貨物を積載するときは最大圧まで膨張させてください。

タイヤ空気圧を最低圧力未満にしないでください。タイヤがリムから外れる原因となります。

運転者、貨物、アクセサリ、およびトレーラーの垂直荷重を含む車両の積載量(189 kg)を超えないでください。

ATVへの積載およびトレーラーのけん引

- 貨物の積載やトレーラーのけん引は安定性やハンドリングに影響します。貨物はラックに均等に載せてください。
- 貨物を載せたリトレーラーをけん引するときは
 - 速度を下げてください。
 - 十分な停止距離を確保してください。

積載量	冷間時のタイヤ空気圧
最大 189 kg	フロント
	最大: 48.3 kPa
	最小: 41.4 kPa
	リア
	最大: 48.3 kPa
	最小: 41.4 kPa



704906848



同乗者警告ラベル



同乗者を乗せ **ないで**
ください。

同乗者を乗せると制御不能
となり、重傷や死亡事故を
引き起こす恐れがあります。



704906851_JA



グローブボックスの取り付け - 警告ラベル

⚠ 警告

重傷を負う危険を減らすため、車両を使用する前に必ず

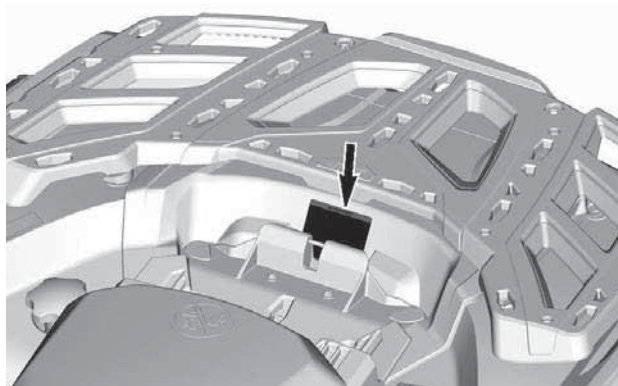
- ・この位置にグローブボックスを取り付けてください。
- ・グローブボックスがこの位置にロックされていることを確認してください。

グローブボックスの取り付け方法

- ・グローブボックスカバーを開き、ハンドルをロック解除位置に回します。
- ・グローブボックスのラッチングシステムをこの車両の「LINQ」開口部にそろえて挿入します。
- ・ハンドルをロック位置に回します。
- ・カバーを閉じてグローブボックスが所定位置にロックされていることを確認します。



704906855



最大ラック荷重 - 警告ラベル

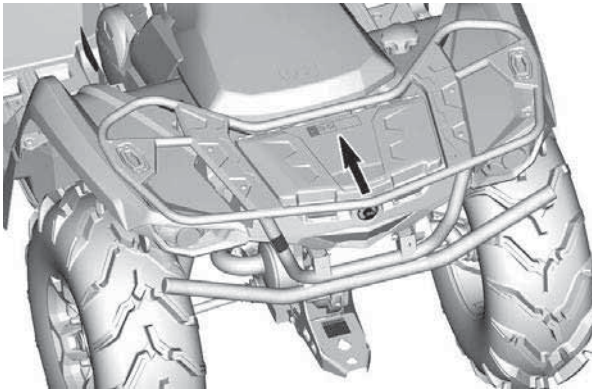
MR 570およびX mr 570



警告

- 絶対にこのキャリアで同乗者を運ばないでください。
- リア側最大積載量：均等に載せた状態で109 kg
トレーラーの垂直荷重（該当する場合）を含む

704905704_JA



その他すべてのX mr

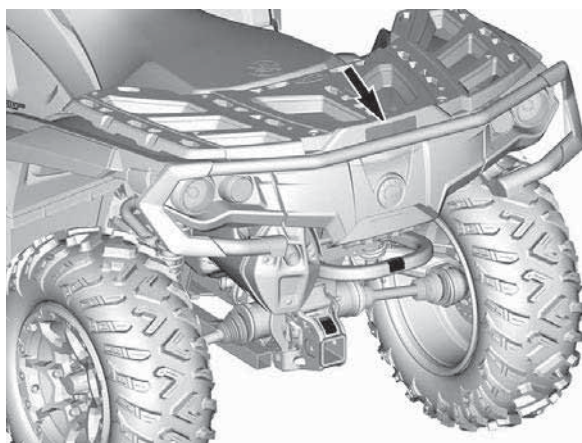


警告

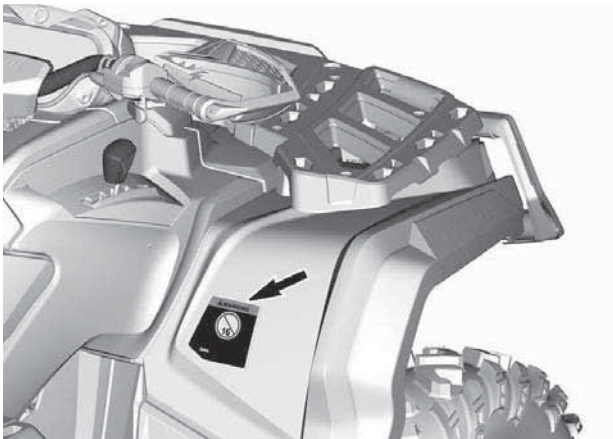
- ・絶対にこのキャリアで同乗者を運ばないでください。
- ・リア側最大積載量：均等に載せた状態で90 kg。
(トレーラーの垂直荷重 (該当する場合) を含む)



704906857



推奨年齢 - 警告ラベル



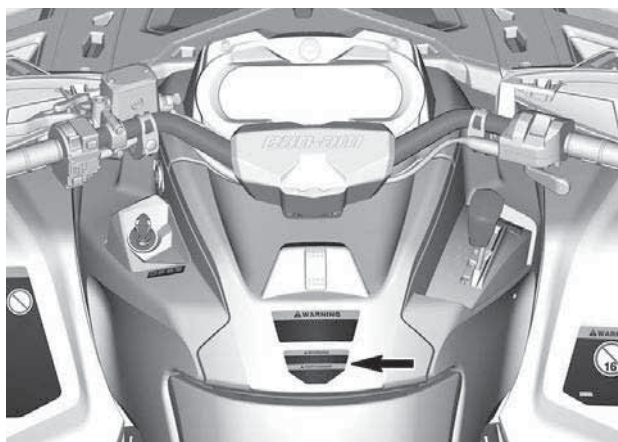
公道での使用禁止 - 警告ラベル

⚠ 警告

この車両は全地形対応車であり、公道での使用を意図したものではありません。 704905680_JA

⚠ WARNING

This vehicle is an all terrain vehicle and is not intended for use on public roads.



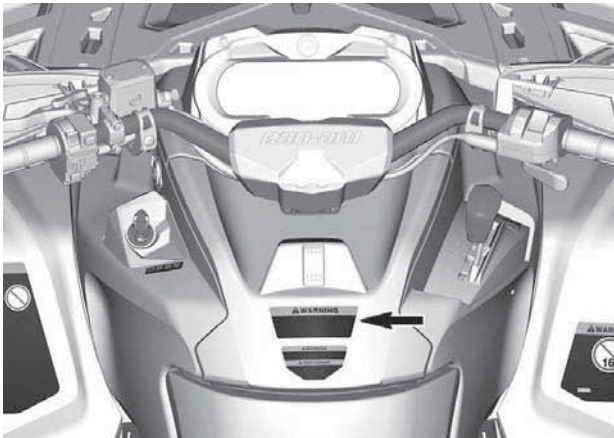
車両性能 - 警告ラベル

 **警告**

このATVについてよく理解してください。この車両は、これまで運転経験がある他のATVの性能を上回っている場合があります。

本製品は、オフロード専用の高性能ATVです。経験の浅い運転者は危険を見落とし、さまざまな地形条件で見られるこのATV特有の動作に驚く可能性があります。

704905707_JA



シフト手順 - 注意ラベル

通知

- 必ず車両を停止してからレバーをシフトしてください。
- 必ずフットブレーキをかけてからパーキング (P) またはニュートラル (N) からシフトしてください。

704905695_JA



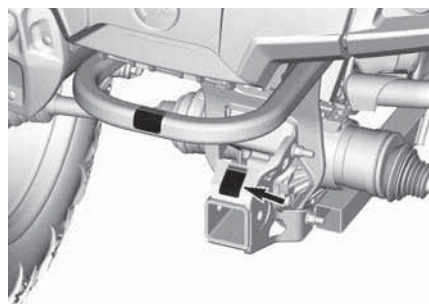
牽引およびヒッチ荷重 - 警告ラベル

警告

トレーラーに対して貨物を適切に搭載しないと制御不能となり、重傷や死亡事故を引き起こす恐れがあります。

- 最大けん引荷重 (ブレーキ未作動時または慣性ブレーキ作動時) :
750 kg
- 最大垂直荷重 (ブレーキ未作動時または慣性ブレーキ作動時) :
75 kg

7406_JA



ラックを利用した貨物の牽引 - 警告ラベル

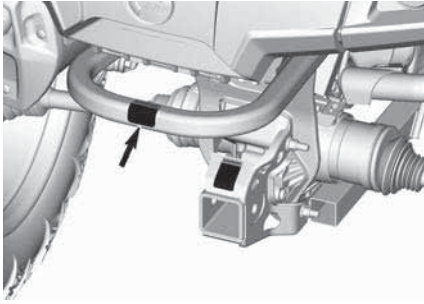
警告

この位置やラゲージラックに取り付けて貨物をけん引しようとししないでください。

車両が転倒する恐れがあります。

貨物を牽引するには、必ずトレーラーヒッチまたはリカバリーフックを使用してください。

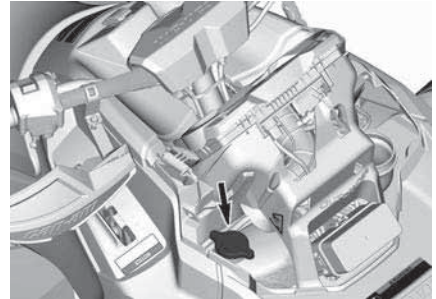
704905698_JA



クーラント高温 - 警告ラベル

警告

高温時は開けないでください。



やけど注意 - 警告ラベル



コンプライアンスハンゲタグ

米国カリフォルニア州規制 「PROPOSITION 65」に基づく警告

⚠ 警告: オフロード車両の操作や保守、メンテナンスは、エンジンの排気や一酸化炭素、フタラート、それに鉛などの化学物質の暴露を受ける可能性があり、これらはカリフォルニア州法で発がん性や催奇性、その他の生殖に関する危害の原因となることが知られています。

そのような可能性を最小限に抑えるために、必要時以外はエンジンのアイドリングをせず、通気性のよい場所で整備を行い、整備時はグローブを着用するか頻繁に手を洗うようにしてください。

詳しい情報は
[www.P65Warnings.ca.gov/
 products/passenger-vehicle](http://www.P65Warnings.ca.gov/products/passenger-vehicle)
 を参照してください。



704906872_JA

EPA認証

8816_JA

車両エンジンの説明:

米国環境保護庁認証

NER (正規化排出率) =

0 ~ 10の段階の中で最もきれいなのは0です

*販売前に取り外さないでください



VEHICLE ENGINE DESCRIPTION:

EPA CERTIFIED

NER (NORMALIZED EMISSION RATE) =

ON A 0 TO 10 SCALE, 0 BEING THE CLEANEST

*NOT TO BE REMOVED PRIOR TO SALE



適合ラベル

これらのラベルは、車両の適合状態を示しています。

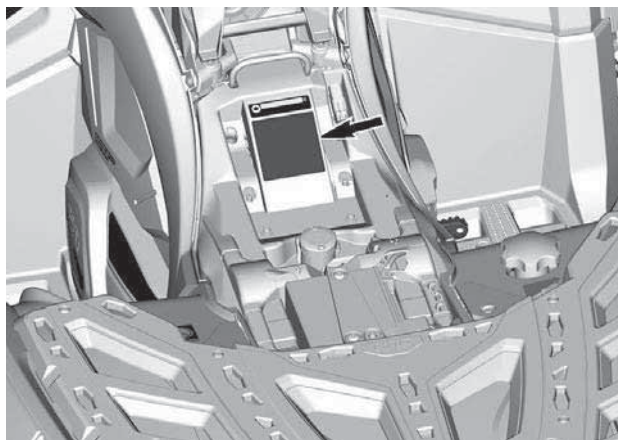
排出ガス制御に関する情報 (代表例)

CARBおよびEPAモデル

VEHICLE EMISSIONS CONTROL INFORMATION		EC 121
BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. THIS VEHICLE IS CERTIFIED TO OPERATE ON UNLEADED GASOLINE AND CONFORMS TO U.S. EPA & CALIFORNIA EMISSIONS REGULATIONS FOR ALL TERRAIN VEHICLE. RENSEIGNEMENTS SUR LE DISPOSITIF ANTIPOLLUTION DE VEHICULE EST CERTIFIE POUR FONCTIONNER A L'ESSENCE SANS PLOMB ET EST CONFORME AUX NORMES DE L'EPA POUR LES VTT.		
ENGINE FAMILY / FAMILLE DE MOTEUR	PERMATION FAMILY / FAMILLE DE PERMATION	
CERTIFICATION STANDARDS (FEL) / NORMES DE CERTIFICATION (LEP)		
DISPLACEMENT / CYLINDREE		
EMISSION CONTROL SYSTEM / SYSTEME DE CONTROLE DES EMISSIONS		
THIS VEHICLE CONFORMS TO CALIFORNIA EVAPORATIVE EMISSIONS REGULATIONS APPLICABLE TO NEW ALL TERRAIN VEHICLE AND IS CERTIFIED TO 1.0 TQG GRAM PER DAY EVAPORATIVE. EVAP FAMILY MODEL		
SEE OPERATOR'S GUIDE FOR MAINTENANCE SCHEDULE AND FUEL OIL AND SPARK PLUG SPECIFICATIONS. VOIR LE CALENDRIER D'ENTRETIEN ET LES SPECIFICATIONS D'ESSENCE, D'HAILE ET DE BOUGE D'ALLUMAGE DANS LE GUIDE DE L'OPERATEUR.		

EPAのみのモデル

EMISSION CONTROL INFORMATION		EC 121
BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC. THIS VEHICLE IS CERTIFIED TO OPERATE ON UNLEADED GASOLINE AND CONFORMS TO U.S. EPA EMISSIONS /EPA REGULATIONS FOR VEHICLES CERTIFIED FOR SALE IN ALL U.S. STATES EXCEPT CALIFORNIA.		
ENGINE FAMILY	FAMILLE DE MOTEUR	
PERMATION FAMILY	FAMILLE DE PERMATION	
CERTIFICATION STANDARD (FEL)	LIMITES DES EMISSIONS DE LA FAMILLE	
ENGINE DISPLACEMENT	CYLINDREE	
EXHAUST EMISSION CONTROL SYSTEM	SYSTEME DE CONTROLE DES EMISSIONS	
RENSEIGNEMENTS SUR LE DISPOSITIF ANTIPOLLUTION		
CE VEHICULE EST CERTIFIE POUR FONCTIONNER A L'ESSENCE SANS PLOMB ET IL EST CONFORME AUX NORMES DE L'EPA AU NIVEAU DES REGLEMENTATIONS DE L'ECHEAPPISMENT ET DE L'EVAPORATION POUR LES VTT. SEE OPERATOR'S GUIDE FOR MAINTENANCE SCHEDULE VOIR LE PROGRAMME D'ENTRETIEN DANS LE GUIDE DU CONDUCTEUR		
BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.		



ANSI/SVIA適合情報

Bombardier Recreational Products Inc. は、この ATV が ANSI/SVIA-1-2017 規格に準拠しており、BRP が提出した ATV アクションプラン、および米国消費者製品安全委員会に申請したファイルに基づくものであることを証明します。

9074_JJA



技術情報ラベル

エアフィルターのメンテナンス

エアフィルターのメンテナンス

オペレータースガイドで規定されているようにメンテナンスを行う必要があります。より過酷な (粉塵の多い) 条件であれば、フィルターメンテナンスの回数を増やす必要があります。

AIR FILTER MAINTENANCE

MAINTENANCE MUST BE PERFORMED AS SPECIFIED IN THE OPERATOR'S GUIDE. AIR FILTER MAINTENANCE SHOULD INCREASE IN FREQUENCY IN MORE SEVERE (DUSTY) CONDITIONS.

シート下に配置

推奨燃料



1000Rエンジン - フュエルタンクキャップ付近

重要な製品ラベル (カナダ/米国以外)

この車両には、重要な安全情報が記載されているラベルが付いています。

この車両に乗る人は、必ずこの情報をよく読み理解した上で乗車してください。

安全ラベル

車両にあるすべての警告ラベルを読んで理解してください。

これらのラベルは、オペレーター、同乗者(2UP)または周囲の人々の安全のために車両に貼付されています。

車両に貼付されている警告ラベルは、車両に常設されるべきものと考えてください。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。認定 Can-Am Off-Road ディーラーまでお問い合わせください。


注記：

このガイドおよび車体にいかなる不一致がある場合、車体の安全性ラベルはこのガイドのラベルより優先されます。


一般警告ラベル

⚠ 警告

- ATVを正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こすおそれがあります。すべての指示および警告に従ってください。
- 必ず認定されたヘルメットおよび保護具を着用してください。
- 必ずゴーグルを着用してください。
- オペレーターズガイドを読み、所定位置に保管してください。ATVを正しく使用しないと重傷や死亡事故を引き起こすおそれがあります。すべての指示および警告に従ってください。
- 絶対に公道で使用しないでください。
- 絶対に同乗者を運ばないでください。
- 薬物やアルコールを採取した場合は、決して乗船しないでください。












安全講習ビデオ



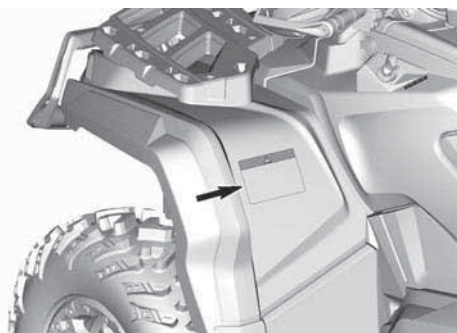
[https://
can-am.brp.com/
off-road/safety](https://can-am.brp.com/off-road/safety)







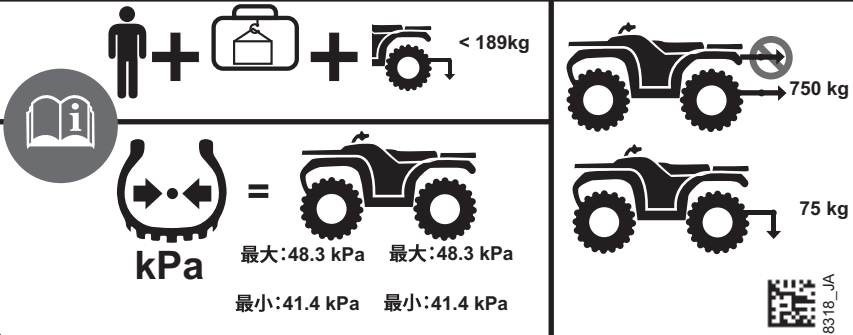
特許情報: www.brp.com/en/about-brp/patents.html 8012_JA



タイヤ圧力と最大荷重 - 警告ラベル

⚠ 警告

- オペレーターズガイドを読み、所定位置に保管してください。不適切なタイヤ空気圧や過積載は制御不能の原因となり、重傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。
- 表示されている適切なタイヤ空気圧を維持してください。
- 運転者、荷物、アクセサリ、およびトレーラーのヒッチ荷重を含め、積載量が189 kg (417 lb) を超えないようにしてください。
- 必ずトレーラーヒッチまたはリカバリーフックを使用して貨物を牽引してください。
- 絶対に最大牽引重量750 kg (1,654 lb) を超えないでください。
- 絶対に最大ヒッチ荷重75 kg (165 lb) を超えないでください。



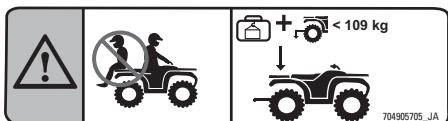
最大ラック荷重 – 警告ラベル

⚠ 警告

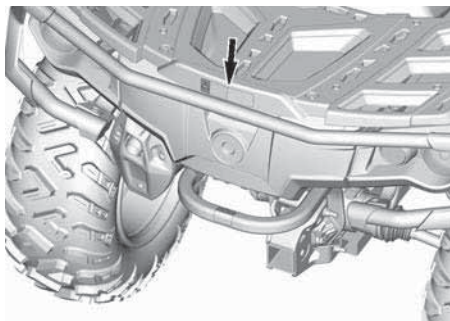
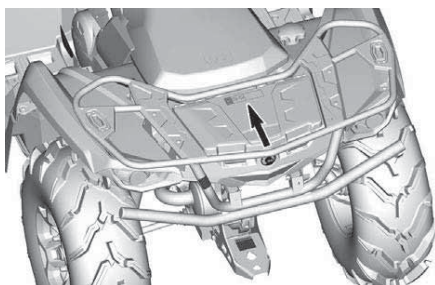
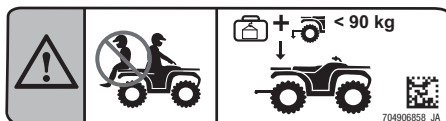
絶対にこのキャリアで同乗者を運ばないでください。
後部最大積載量 (均等に搭載された状態、該当する場合はヒッチ荷重を含む)

- Outlander MR 570およびX mr 570 : 109 kg (240 lb)
- その他すべてのX mr : 90 kg (200 lb)

MR 570およびX mr 570



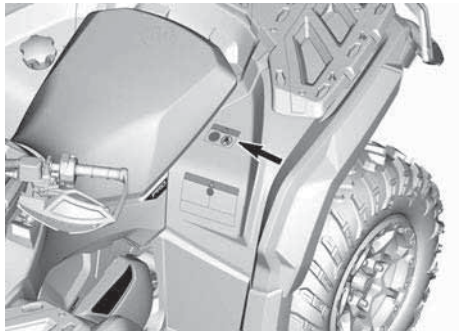
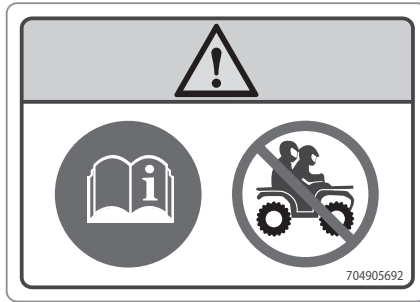
その他すべてのX mr



同乗者警告ラベル

⚠ 警告

- オペレーターズガイドを読み、所定位置に保管してください。
- 絶対に同乗者を運ばないでください。

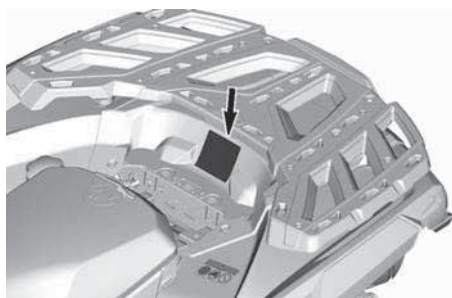
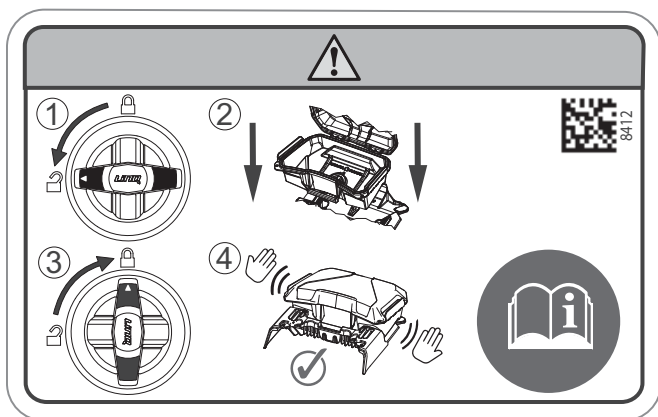


グローブボックスの取り付け - 警告ラベル

1000Rモデルのみ

⚠ 警告

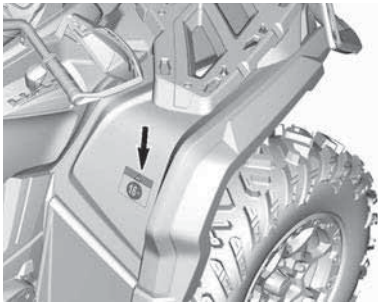
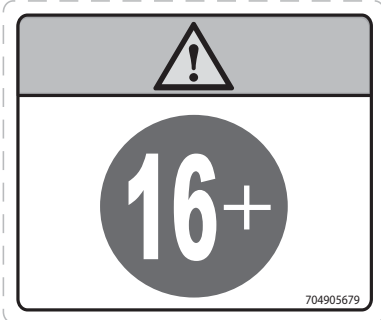
1. グローブボックスカバーを開き、ラッチをロック解除位置に回します。
 2. グローブボックスのラッチングシステムを車両の「LINQ」開口部にそろえて挿入します。
 3. ラッチをロック位置に回します。
 4. カバーを閉じてグローブボックスが所定位置にロックされていることを確認します。
- 詳細は、『オペレータズガイド』を参照してください。



推奨年齢 - 警告ラベル

警告

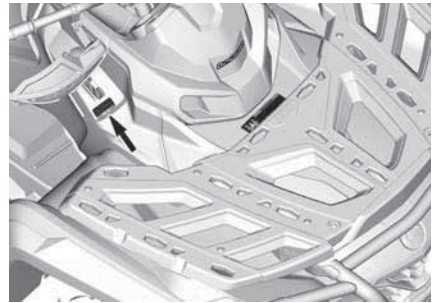
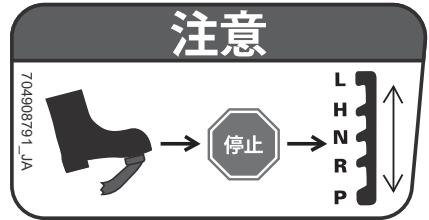
16才未満の人がこのATVを運転すると、運転者 (2-UPモデルの場合は運転者および同乗者の双方) が重傷を負ったり死亡する可能性が高まります。
16才未満の場合は絶対にこのATVを運転しないでください。



シフト手順 - 注意ラベル

注意

必ず車両を停止してからレバーをシフトしてください。必ずフットブレーキをかけてからパーキング (P) またはニュートラル (N) からシフトしてください。



ラックまたはバンパーを利用した貨物の牽引 - 警告ラベル

⚠ 警告

バンパーやラゲージラックに取り付けて貨物を牽引しようとしてはいけません。車両が転倒する可能性があります。貨物を牽引するには、必ずトレーラーヒッチまたはリカバリーフックを使用してください。

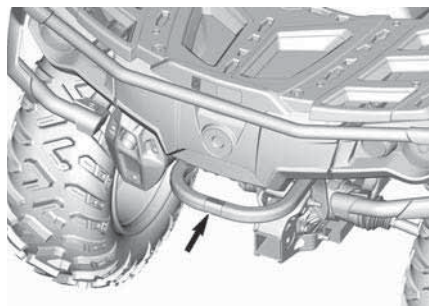
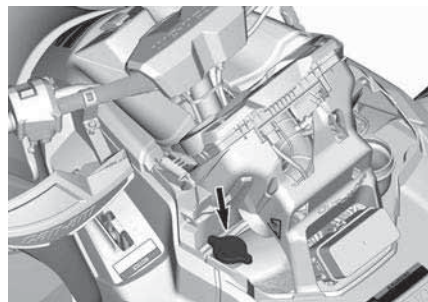


704905699

クーラント高温 - 警告ラベル

⚠ 警告

高温時は開けないでください。

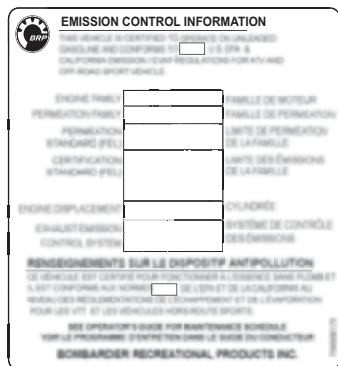


やけど注意 - 警告ラベル



適合ラベル

これらのラベルは、車両の適合状態を示しています。



代表例 - シート下(該当の場合)



燃料キャップ付近のラベル

技術情報ラベル

エアフィルターのメンテナンス

エアフィルターのメンテナンス

オペレータースガイドで規定されているようにメンテナンスを行う必要があります。より過酷な(粉塵の多い)条件であれば、フィルターメンテナンスの回数を増やす必要があります。

AIR FILTER MAINTENANCE

MAINTENANCE MUST BE PERFORMED AS SPECIFIED IN THE OPERATOR'S GUIDE. AIR FILTER MAINTENANCE SHOULD INCREASE IN FREQUENCY IN MORE SEVERE (DUSTY) CONDITIONS.

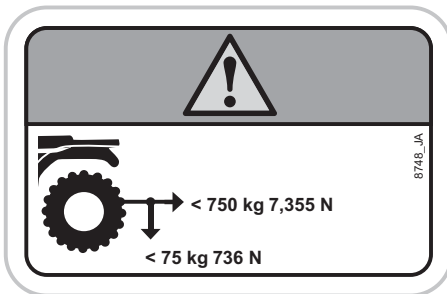
シート下に配置

推奨燃料



1000Rエンジン - フュエルタンクキャップ付近

トレーラーヒッチの情報



トレーラーヒッチ上に配置 (装備されている場合)

安全面での欠陥の報告

カナダでは、衝突、傷害または死亡を招きかねない車両の欠陥を発見した場合は、直ちにカナダ運輸省 (Transport Canada) およびBombardier Recreational Products Inc.にご連絡ください。

カナダ運輸省は他のドライバーから似たような苦情を受け取った場合、調査を開始する場合があります。特定の車両に安全面における欠陥を見つけた場合は、製品回収と是正キャンペーンを実施する場合があります。ただし、カナダ運輸省はあなたと、あなたのディーラーまたはBombardier Recreational Products Inc.の間に生じた個人的な問題に関わることはできません。

カナダ運輸省窓口：



819-994-3328 (ガティノー-オタワ地域または国際電話)
無料電話：1 800-333-0510 (カナダ)



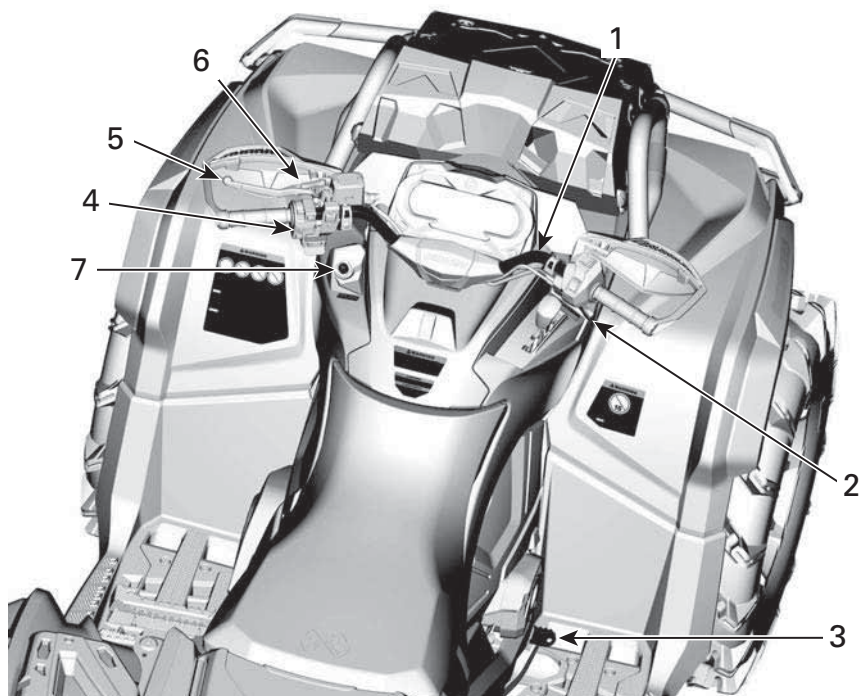
Transport Canada - ASFAD
330 Sparks Street
Ottawa, ON
K1A 0N5



<https://www.tc.gc.ca/recalls>

車両についての情報

基本コントロール



代表例 - OUTLANDER X MR 1000R

1. ハンドルバー
2. スロットルレバー
3. ブレーキペダル
4. エンジンストップスイッチ
5. ブレーキレバー
6. パーキングブレーキレバー
7. イグニッションスイッチ/エンジンカットオフスイッチ

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

ハンドルバー

ハンドルバーは車両の操舵を制御します。

ハンドルバーが右または左に回転するとき、フロントホイールがその方向を向いて車両を操舵します。

⚠ 警告

高速で後退しながら旋回すると、安全と制御の喪失につながる恐れがあります。

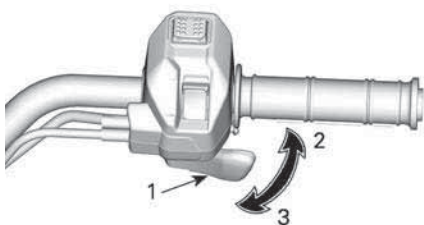
スロットルレバー

スロットルレバーはハンドルバーの右側に設けられています。

スロットルレバーはエンジン回転数を制御します。

車両速度を上げるか維持するには、右親指でスロットルレバーを押します。

車両速度を下げるにはスロットルレバーを放します。

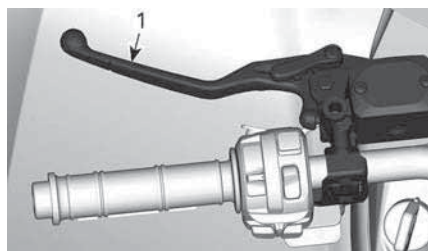


代表的な例

1. スロットルレバー
2. 加速時
3. 減速時

ブレーキレバー

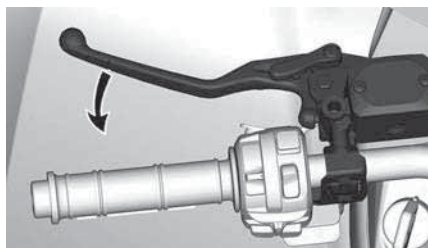
ブレーキレバーはハンドルバーの左側に設けられています。



1. ブレーキレバー

ブレーキレバーの機能は、速度を下げたり車両を停止することです。

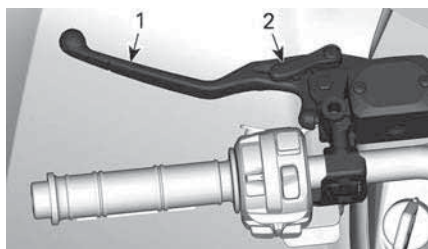
ブレーキレバーを握ると、フロントおよびリアブレーキがかかります。



ブレーキの効果はレバーを握る力に比例します。

パーキングブレーキレバー

パーキングブレーキレバーはハンドルバーの左側にあります。



代表的な例

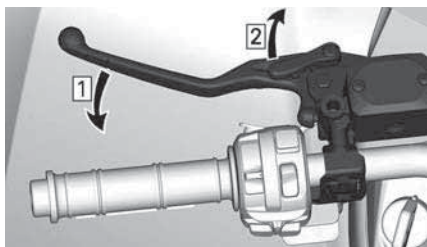
1. ブレーキレバー
2. パーキングブレーキレバー

パーキングブレーキの機能は、駐車時に車両が動かないようにすべてのホイールに対してブレーキをかけておくことです。

⚠ 警告

車両を運転していないときは、必ずパーキングブレーキをかけてシフトレバーを「パーキング」位置にしてください。

パーキングブレーキをかけるには下記の手順に従います：



1. ブレーキをかける
2. ブレーキをロックする

注記：
パーキングブレーキレバーはいくつかの位置にセットできます。

注意

パーキングブレーキがかかっているときは、車両が所定位置に確実に静止していることを確認してください。

パーキングブレーキは、ブレーキレバーを握るだけで解除できます。ブレーキレバーは静止位置に戻らなければなりません。

⚠ 警告

パーキングブレーキが解除されていることを確認してから車両を運転してください。走行中にパーキングブレーキがかかったままだと、ブレーキシステムが損傷して制動能力の喪失や火災を引き起こす場合があります。

ブレーキペダル

ブレーキペダルは右側フットレストにあります。



1. ブレーキペダル

ブレーキペダルを踏むとリアブレーキがかかります。

放すと、ブレーキペダルは元の位置にもどらなくてはなりません。

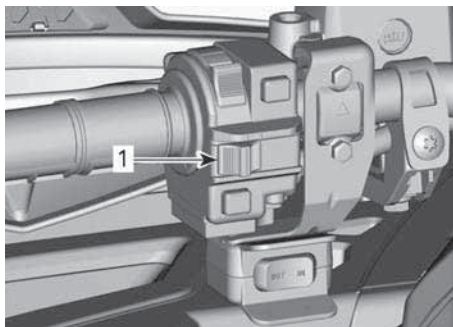
ブレーキの効果はペダルに加える力に比例します。

注記：
4WDになっているときは、ブレーキもドライブトレインを通じてフロントホイールに影響を与えます。

ブレーキレバーシステムが故障した場合は、ブレーキペダルを踏むことでリアブレーキを使用できます。

エンジンストップスイッチ

エンジンストップスイッチは、多機能スイッチの中央にあります。



1. エンジンストップスイッチ

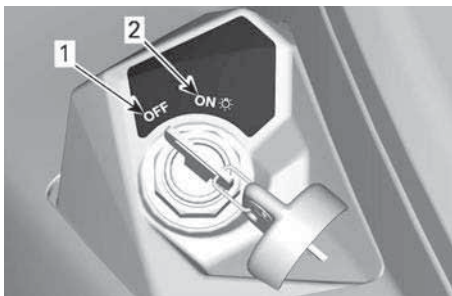
このスイッチは、エンジン停止用および非常操作用として使用できます。

エンジンを停止するには、スロットルレバーを完全に放し、エンジンストップスイッチを停止位置にします。

イグニッションキーをOFF位置に回す、またはD.E.S.S.キーを取り外すことでエンジンを停止することもできますが、エンジンストップスイッチを停止位置にすることでエンジンを停止するよう推奨します。

イグニッションスイッチおよびキー

イグニッションスイッチは、センターパネル左側、ハンドルバーの下にあります。



イグニッションスイッチの位置

1. OFF
2. ON (ライト点灯)

OFF

キーはこの位置でしか挿入または引き抜くことができません。

OFFに回すと車両の電装システムはオフになります。

エンジンはイグニッションスイッチをOFFに回すことで停止することができます。

イグニッションキーをOFF位置に回すことでエンジンを停止することもできますが、エンジンストップス

イッチを停止位置にすることでエンジンを停止するよう推奨します。

キーをOFF位置に回すと、車両の電装システムは数秒経ってから停止します。

ON (ライト点灯)

キーをこの位置に回すと、車両の電装システムが起動します。

ゲージが起動されるはずですが。

車両のライトがONになります。

これでエンジンを起動することができます。

ベーシックイグニッションキー

車両には、ベーシックイグニッションキーが2本付属しています。

RF D.E.S.S.キーおよびポスト

D.E.S.S.キー

これらのキーには、固有の電子シリアルナンバーを発信する電子回路が組み込まれています。

D.E.S.S. システムは、キーコードを読み取り、キーを認識できる場合だけエンジンの始動を許可します。

この車両は、2種類のキープログラムを使って操作できます。

- ノーマル
- パフォーマンス

概要については、認定 Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

車両には、パフォーマンスキーが1本付属しています。

注記：

必要に応じて、予備のキーをディーラーからご購入いただけます。

⚠ 警告

パフォーマンスキーまたはノーマルキーを使用すると、重傷や死亡事故につながる横転、転倒、衝突、および制御不能な状態を引き起こす可能性があります。通常のキーの使用が、オペレーターの準備や要件の満足、慎重な運転の代わりになることはありません。

パフォーマンスキー

パフォーマンスキーにより、ユーザーはエンジンの最大トルクや車両の最高速度を発揮できるようになります。

このキーは、きびきびしたスロットルレスポンスを好む運転者にとって、または高速や急加速が適した環境において役立つ場合があります。

例えば、広く開かれた直線のトレイルでは、運転者がパフォーマンスキーを好む場合があります。

ノーマルキー

ノーマルキーの場合は車両の加速度が制限され、車両速度は70 km/h (43 MPH) に制限されます。

⚠ 警告

急な下り坂では、エンジン回転数リミッターがあっても、この速度の超過を防止できない場合があります。

このキーは、徐々に加速することを好むオペレーターや、最高速度や急加速が望まれない環境にいるオペレーターにとって有用となる場合があります。

たとえば、細くてカーブの多いトレイルでは、オペレーターがノーマルキーを好む場合があります。

D.E.S.S.柔軟性

認定 Can-Am Off-Road デイラーは、車両のD.E.S.S.を、最多8個の異なるキーを受け付けるように設定できます。

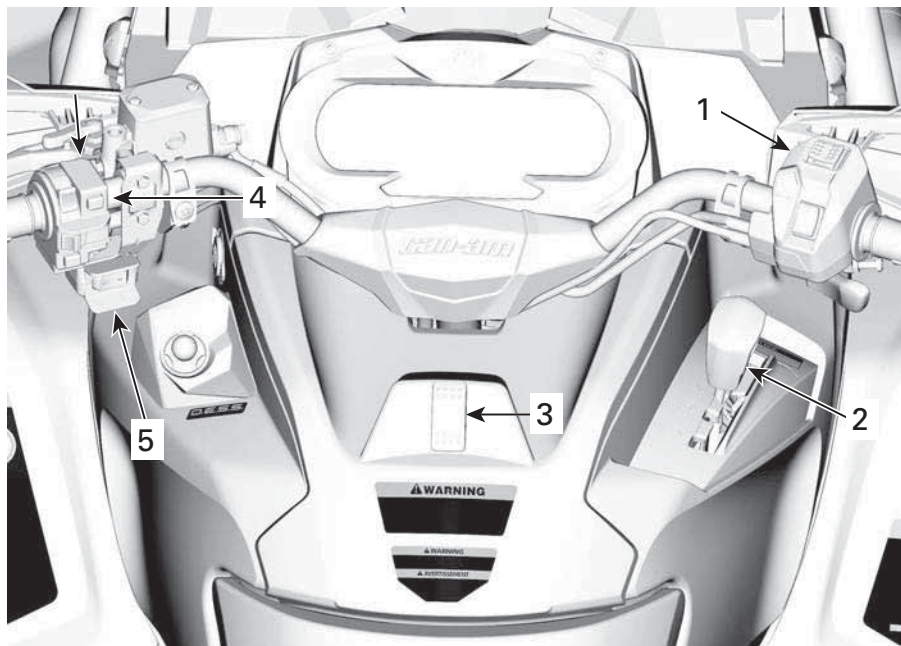
なるキーを受け付けるように設定できます。

2個以上のD.E.S.S.を装備するCan-Am車両を所有している場合、認定Can-Amデイラーは、そのそれぞれが他の車両のD.E.S.S.キーを受け付けるように設定できます。

二次コントロール

注記：

コントロールの一部は、ご使用のモデルに該当しない、またはオプションである可能性があります。



1. スロットルレバーコントロールハウジング
2. シフターレバー
3. トリップ/メニュースイッチ
4. 多機能スイッチ
5. ウィンチスイッチ

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

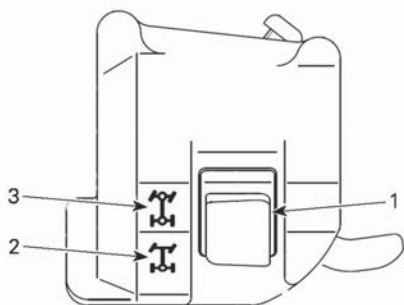
警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

スロットルレバーコントロールハウジング

メカニカル式スロットル制御 (MTC)

2WD/4WDセクター



1. 2WD/4WDセクター
2. 2WD位置
3. 4WD位置

トラクションモードの変更

2WDまたは4WDモードにする前に

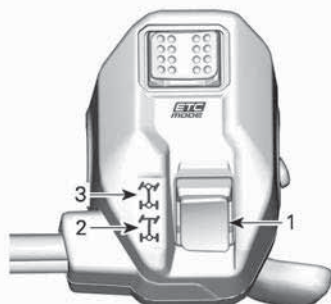
1. 車両を完全に停止します。
2. エンジンをアイドリングさせます。
3. 希望するモードを選択してください。

注意

車両が動いているときに2WD/4WDセクターを使用すると、フロントディファレンシャルが損傷する場合があります。

電子スロットル制御 (ETC)

Visco-Lokフロントディファレンシャル装備モデル



1. 2WD/4WDセクター
2. 2WD位置
3. 4WD位置

トラクションモードの変更

2WDまたは4WDモードにする前に

1. 車両を完全に停止します。
2. エンジンをアイドリングさせます。
3. 希望するモードを選択してください。

注意

車両が動いているときに2WD/4WDセクターを使用すると、フロントディファレンシャルが損傷する場合があります。

2WDモード

このモードでは、エンジンの出力がリアホイールのみに伝達されます。

2WDモードにするには、セクターを押し下げます。



2WDモード - 代表例

4WDモード

エンジンの出力は、フロントおよびリア両方のホイールに均等に配分されます。

4WDモードにするには、セレクターを押し上げます。



4WDモード - 代表例

ドライビングモードセレクター**1. ドライビングモードセレクター**

ドライビングモードセレクターは、スロットルレバーコントロールハウジング上部にあります。

次の2つのモードを選択できます。

- ECOまたはワーク
- スポーツ

選択されたモードは、ゲージのモード表示部に表示されます。

走行モード	作動時のメッセージ	解除時のメッセージ
ECO	ECO	ECO オフ
仕事で使う	仕事で使う	ワークオフ
スポーツ	スポーツ	スポーツオフ

また、スポーツモードが作動したときはブザーが鳴ります。

ECOまたはワークモード

ECOまたはワークモードでは、スムーズなスロットルレスポンスが得られ、最高速度が70 km/h (43 MPH) に制限されます。

ECOまたはワークモードにするには、セレクターを左に動かします。

右側に動かすと機能が停止します。

スポーツモード

スポーツモードでは、きびきびとしたスロットルレスポンスが得られます。

このモードはどの種類のキーでも作動させることができ、使用されたキーで最大のパワーを発揮します。

スポーツモードにするには、セレクターを右に動かします。

左側に動かすと機能が停止します。

シフトレバー

シフトレバーは、車両右側のステアリングコラム付近にあります。



シフトレバー位置

シフトレバーは、ギアを変更するのに使います。

シフトレバーには5つの位置があります：

シフトレバー位置	
位置	ギヤ
P	パーキング
R	リバース
N	ニュートラル
H	ハイレンジ (前進)
L	ローレンジ (前進)



シフトパターン

車両にブレーキをかけて停止してから、ギアを選択する必要があります。

注意

このギアボックスは、車両が動いている間にシフトするように設計されていません。

パーキング

パーキング位置はギアボックスをロックして、車両の動作防止を補助します。

⚠ 警告

車両が動作していないときは、必ずパーキング (P) 位置にしてください。シフトレバーがP (パーキング) になっていない場合、車両が進む場合があります。

リバース

リバース位置にすると、車両を後進させることができます。

注記：後進時はエンジン回転数が制限されるため、車両の後進速度も制限されます。

⚠ 警告

下り坂を後進するときは、重力により、設定されている後進速度よりも車両速度が上昇します。

ニュートラル

ニュートラル位置にすると、ギアボックスが切り離されます。

⚠ 警告

車両が動作していないときは、必ずパーキング (P) 位置にしてください。シフトレバーがN (ニュートラル) になっている場合、車両が進む場合があります。

ハイレンジ (前進)

この位置にすると、ギアボックスの高速レンジが選択されます。これ

は、通常の走行速度レンジです。車両は、最高速度に到達できます。

ローレンジ (前進)

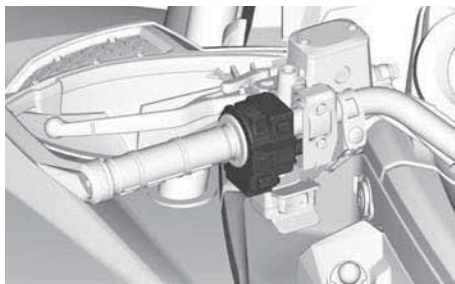
この位置にすると、ギアボックスの低速レンジが選択されます。車両は低速で動き、ホイールは最大のトルクを発揮します。

注意

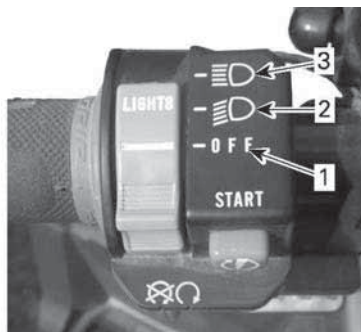
トレーラーを牽引するとき、重い荷物を運搬するとき、障害物を横切るとき、ぬかるみを走行するとき、または傾斜を上ったり下ったりするとき、ローレンジを使用してください。

多機能スイッチ

多機能スイッチはハンドルバーの左側にあります。



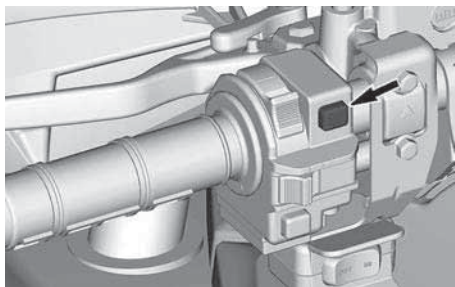
ヘッドライトスイッチ



1. ライトオフ
2. ロービームとテールライト
3. ハイビームとテールライト

エンジンスタートボタン

エンジンスタートボタンは、多機能スイッチの上側にあります。

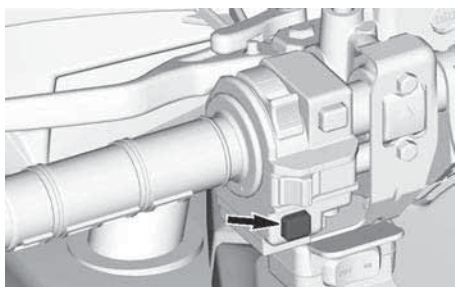


これを押し続けてエンジンを起動させます。

始動手順全体については、基本手順のセクションのエンジンの始動を参照してください。

オーバーライド/DPSボタン

このボタンは、多機能スイッチの下側にあります。



これには次の2つの機能があります。

- オーバーライド機能の作動
- DPSモードの変更

オーバーライド機能

この機能により、車両がリバースモードまたは4WDLockモードで使用されているときに、エンジンスピードリミッターを無視することが可能になります。

4WDLockでは、オーバーライドモードにより、以下に示す別の速度制限への到達が可能となります。

- ハイまたはローギヤのときに60 km/h (37 MPH)
- リバースのときに25 km/h (16 MPH)

警告

車両周辺に障害物がないことを確認してから「オーバーライド」モードを使用してください。オーバーライドモードは、泥や柔らかい土壌で車両の身動きが取れなくなったときに、低速のみで使用してください。通常の後進時に「オーバーライド」モードを使用しないでください。過剰に速い速度になることがあります。4WDLockのときに「オーバーライド」モードを使用しないでください。操作不能になるおそれがあります。

オーバーライド機能の起動は、次のように行います。

1. 車両が完全に停止していることを確認します。
2. オーバーライド/DPSボタンを押したままにして、スロットルレバーを徐々に踏み込みます。

注記：

オーバーライド機能を使用している間、ゲージは**OVERRIDE** (オーバーライド) のメッセージをスクロール表示して、機能が起動していることを知らせます。

3. オーバーライド機能は、オーバーライド/DPSボタンを放すだけ解除されます。

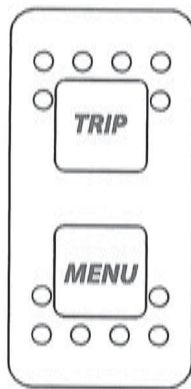
DPS 機能

このボタンは、ダイナミックパワーステアリング (DPF) モードを変更するのにも使用します。

DPSモードの概要については走行に関する調整のセクションを参照してください。

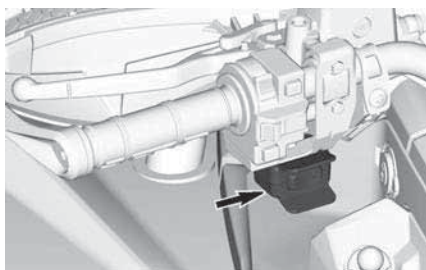
トリップ/メニュースイッチ

このスイッチを使用して、7.6インチデジタルディスプレイを操作します。



ウィンチコントロールスイッチ (装備されている場合)

このスイッチは多機能スイッチの下にあります。



このスイッチを使用して、ウィンチケーブルの巻き出しまたは巻き取りを行います。

- 左を押すと、ケーブルを巻き出します。
- 右を押すと、ケーブルを巻き取ります。

クラクションボタン

フィンランドで販売される車両のみ

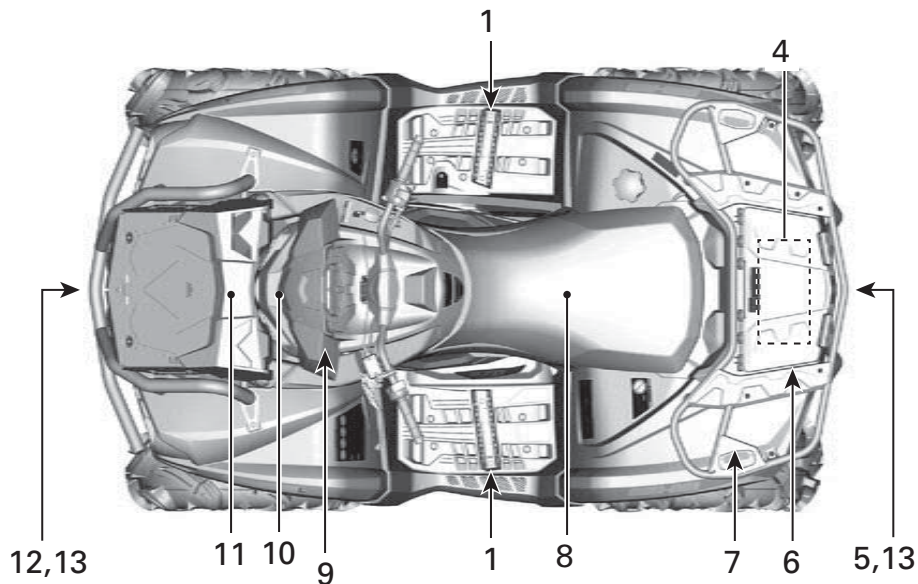
ホーンボタンは、左多機能スイッチの下にあります。

ホーンを鳴らすには、ホーンボタンを押します。

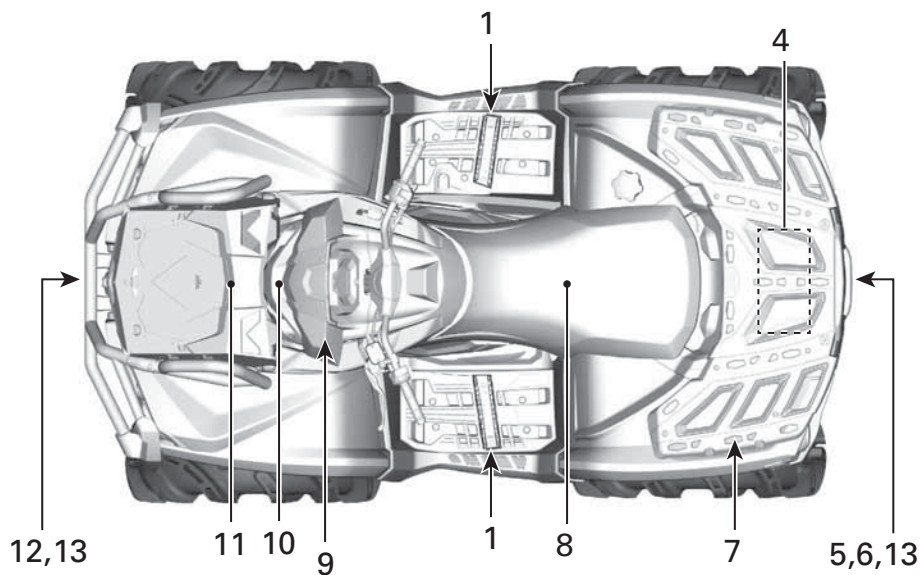


装備

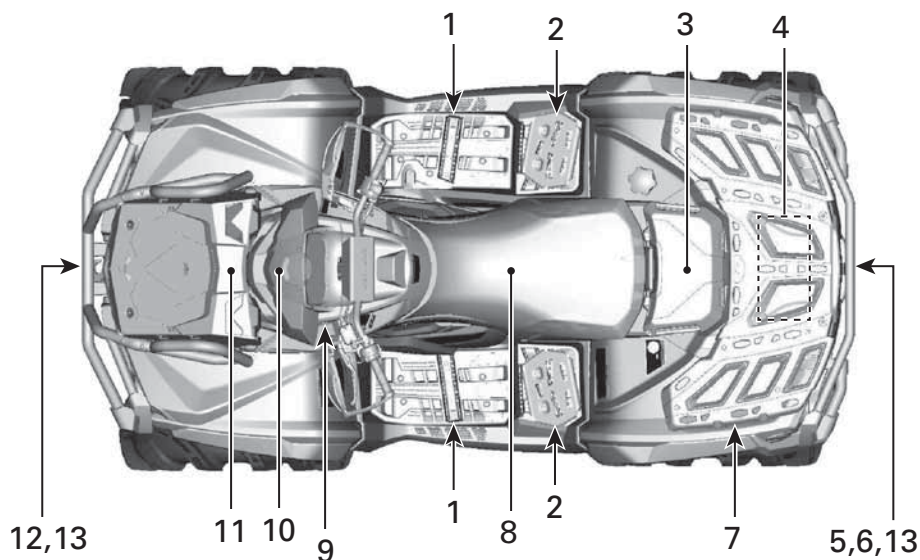
注記：
装置の一部は、ご使用のモデルに該当しない、またはオプションである可能性があります。



OUTLANDER MR 570およびX MR 570



OUTLANDER X MR 650および850モデル



OUTLANDER X MR 1000Rモデル

1. フットレスト
2. 泥地走行用のフットレスト (1000Rのみ)
3. グローブボックス (1000Rのみ)
4. 車載工具
5. トレーラーヒッチ
6. リアストレージコンパートメント
7. カーゴラック
8. シート
9. 12Vの電源ソケット
10. ゲージサポート
11. ラジエーターカバー
12. ウィンチ
13. リカバリーフック

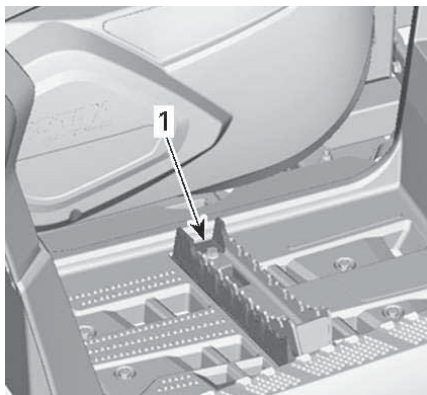
操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

フットペグ

フットペグは右および左側のフットレスト上にあります。



1. フットペグ

⚠ 警告

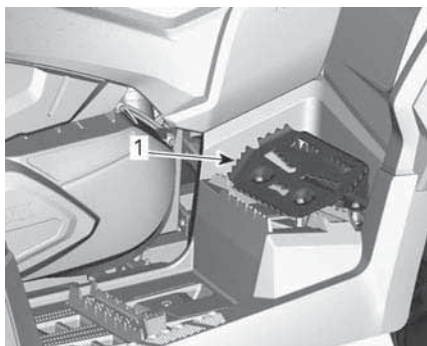
車両運転中、運転者は常に両足をフットペグに置く必要があります。

泥地走行用のフットレスト

1000Rモデルのみ

泥地走行用のフットレストは、フットペグの後方にあります。

これらのフットレストは、泥地走行時に運転者のアシストを行います。



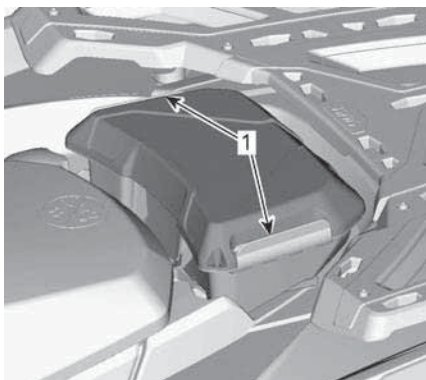
1. 泥地走行用のフットレスト

グローブボックス

1000Rモデルのみ

グローブボックスの開き方

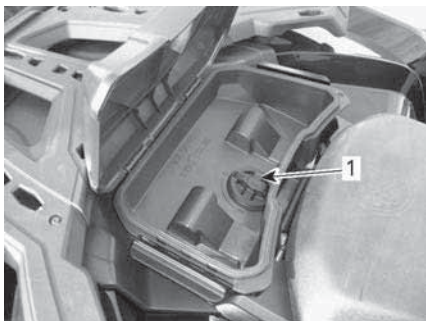
グローブボックスを開けるには、グローブボックス両側のラッチを解除してリッドを開けます。



1. ラッチ

グローブボックスの取り外し

1. グローブボックスの両側のラッチを解除してリッドを開けます。
2. ラッチを反時計方向に回して解除します。



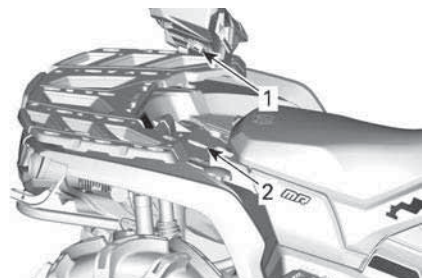
1. ラッチ
3. グローブボックスを取り外します。

⚠ 警告

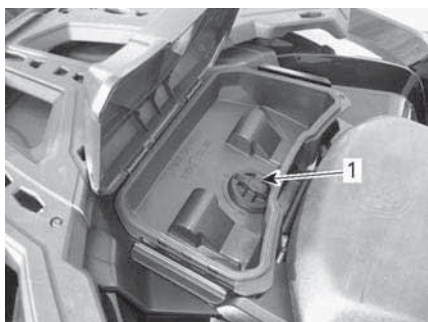
この車両で同乗者を運ばないでください。

グローブボックスの取り付け

1. グローブボックスカバーを開き、ラッチをロック解除位置に回します。
2. グローブボックスのラッチングシステムを車両の「LINQ」開口部にそろえて挿入します。



1. グローブボックスのラッチ
2. 「LINQ」開口部
3. ラッチを時計方向に回してロック位置にします。



1. ラッチ
4. カバーを閉じてグローブボックスが所定位置にロックされていることを確認します。



1. グローブボックス
- ### 車載工具

ツールキットはリアストレージコンパートメントにあります。このキットには基本的なメンテナンス用の工具が付属しています。

トレーラーヒッチ

トレーラーなどの装置の牽引用ボールを取り付けるのに便利なヒッチです。トレーラーメーカーの推奨事項に従って適切なサイズのボールを取り付けてください。積載重量や牽引時の推奨事項については、技術仕様書のセクションを参照してください。



代表例 - 1000Rモデル

1. トレーラーヒッチ

⚠ 警告

牽引しようとする装置に合う適切なサイズのボールを取り付けてください。

注記：

正しい取り付け方法については、メーカーの説明に従ってください。

リアストレージコンパートメント

所持品を運ぶための便利なコンパートメントです。



OUTLANDER MR 570およびX MR 570

1. リアストレージコンパートメントカバー



その他すべてのX MR

1. リアストレージコンパートメントカバー

⚠ 警告

必ずシフトレバーをパーキング位置にしてからカバーを開けてください。
重いものや壊れものを固定せずにストレージコンパートメントに入れないでください。
必ずカバーを固定してから走行してください。

リアストレージコンパートメントを開けるには

Outlander MR 570およびX mr 570

カバーのラッチを外して、カバーをゆっくり上げます。



1. リアストレージコンパートメントのラッチ

その他すべてのX mr

カバーのラッチを外して、カバーをゆっくり降ろします。



1. リアストレージコンパートメントのラッチ

リアストレージコンパートメントを閉じるには

Outlander MR 570およびX mr 570

カバーをゆっくり降ろして固定します。

その他すべてのXmr

カバーをゆっくり上げて、ラッチから「カチッ」という音が2回鳴るまで押して、シールが圧縮されたことを確認します。

カーゴラック

カーゴラックは、装備品やさまざまな荷物を運搬するのに便利です。絶対に人を運ぶためには使用しないでください。

⚠ 警告

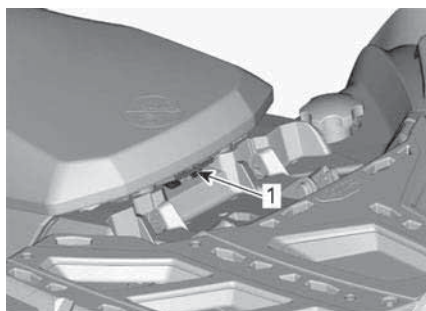
- 絶対にカーゴラックで人を運搬しないでください。
- 荷物がオペレーターの視線を妨げたり、車両の正常な操舵能力に影響を与えないようにしてください。
- 車両に過剰の荷物を積みすぎないでください。
- すべての荷物が正しく固定され、ラックの外に出ていないことを必ず確認してください。

荷物の推奨荷重については、技術仕様のセクションを参照してください。

シート

シートの取り外し

シートを取り外すには、ラッチを上方に引きます。このラッチは、シート後部の下にあります。



代表的な例

1. シートラッチ

シートを上から引いてから後方に引きます。前側の固定デバイスを解除できるまで持ち上げ続け、その後シートを完全に取り外します。

シートの取り付け

シートの前側タブをフレームのスチールフックに挿入します。シートがその所定位置に置かれたら、シートをしっかり押し固定します。

注記：

このとき、カチッという感覚がはっきりと感じられます。強く引いてラッチがかかっていることを確かめて、シートが固定されていることを再度確認してください。

⚠ 警告

後方および上方に数回引いて、運転席が所定位置に正しく固定されたことを確認します。

12Vの電源ソケット

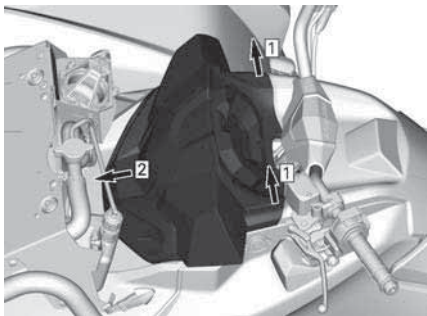
懐中電灯などの携帯機器の使用に便利です。

保護キャップを取り外して使用します。環境から保護するために、使用後は必ず保護キャップを再度取り付けてください。

ゲージサポート

ゲートサポートの取り外し

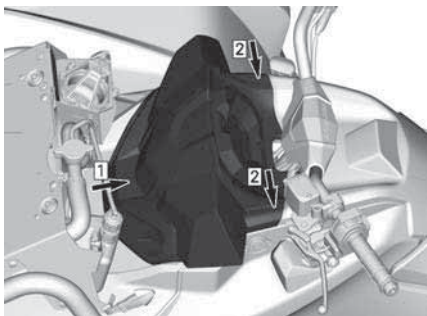
ゲージサポート後部を持ち上げて、前方へ押しします。



ゲートサポートの取り付け

ゲージサポートを後方にスライドさせてフロントタブを掛けます。

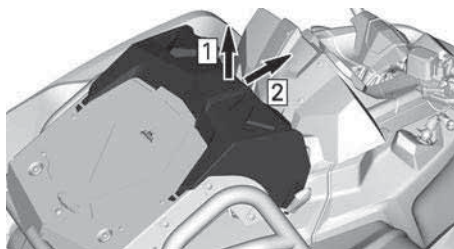
ゲージサポート後部を押しして固定します。



ラジエーターカバー

ラジエーターカバーの取り外し

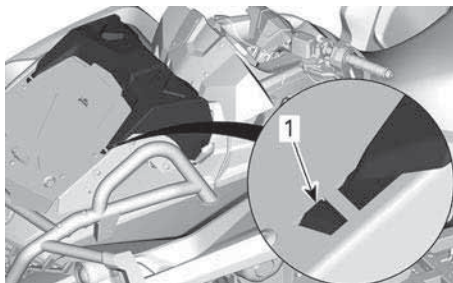
1. 両側のラバーラッチを外します。
2. リアカバー後部を持ち上げて、後方へ引きます。



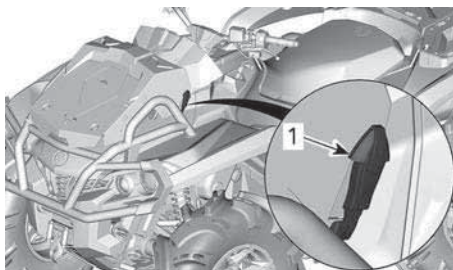
1. 持ち上げる
2. 後方へ引く

ラジエーターカバーの取り付け

1. カバーのタブをプロテクターのスロット穴に挿入します。



1. カバータブ
2. 両側のラバーラッチを取り付けます。



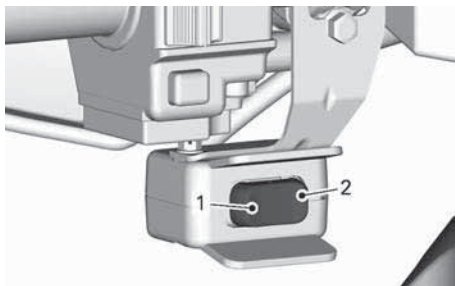
ウィンチ（装備されている場合）

警告

重傷や死亡事故、重要部品の損傷を防止するために

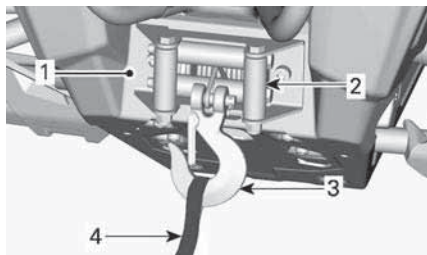
- 牽引時は、絶対にウィンチケーブル/ロープを使用して車両を固定しないでください。
- ウィンチケーブル/ロープを貨物や他の車両に固定した状態では、絶対に走行しないでください。
- （雪や泥で）身動きが取れなくなった車両を救出するためだけにウィンチを使用してください。
- 貨物を引く前に、必ずウィンチメーカーのインストラクションを参照してください。

ウィンチは、ウィンチコントロールスイッチまたはリモートコントロール（別売）を使用して操作できません。



1. OUT
2. IN

車両への損傷を防止してワイヤロープをウィンチへ誘導するために、ローラーフェアリードが使用されています。



1. ウィンチ
2. ローラーフェアリード
3. ウィンチフック
4. フックストラップ

注記：
ウィンチを長時間にわたり何度も使用すると、バッテリーを消耗する場合があります。

下記のヒントは、バッテリーが消耗するリスクを抑えるのに役立ちます。

手動でのウィンチの巻き出し：ハンドルを使用してケーブルのロックを解除し、フックストラップを引いて巻き出します。

巻き上げまたは巻き取り中は、エンジンを作動させたままにするよう推奨します。バッテリーを充電するため、巻き上げ直後はエンジンを停止しないでください。

また、30秒以上巻き上げを行うときは、エンジン回転数を3000 rpmの範囲まで上げてバッテリーの充電電圧を高めるよう推奨します。

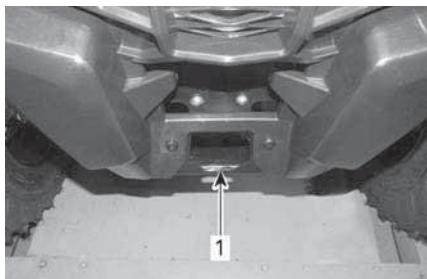
注意

車両をニュートラル（N）にしてからエンジン回転数を上げてください。

ウィンチの詳細については、車両に付属しているウィンチメーカーの説明書を参照してください。

リカバリーフック

身動きの取れなくなったATVを救出することができる便利なフックです。



フロント - OUTLANDER MR 570およびX MR 570

1. フロントリカバリーフック



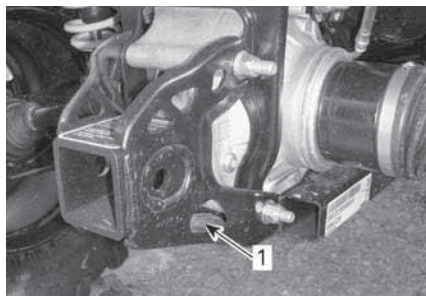
フロント - その他すべてX MR

1. フロントリカバリーフック



リア - OUTLANDER MR 570およびX MR 570

1. リアリカバリーフック



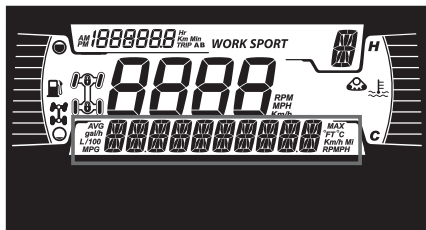
リア - その他すべてX MR

1. リアリカバリーフック

4.5インチデジタルディスプレイ

多機能表示

下側の表示



下記の項目を表示させることができます。

- RPM
- SPEED(速度)
- エンジン温度
- バッテリー電圧
- 設定
- メッセージ

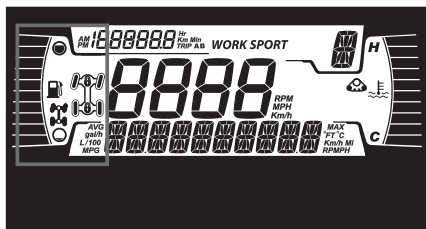
下側の (メニュー) ボタンを使用して、表示される情報を変更します。

速度表示では、最高および平均速度が表示されます。



1. 上ボタン
2. 下ボタン

左側の表示

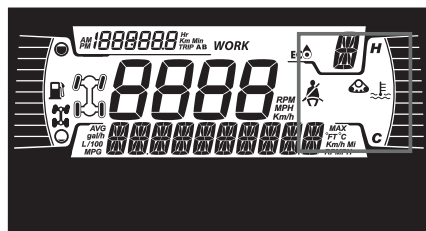


左側の表示には以下のものが含まれます：

- 燃料レベルインジケーター
- 2X4 / 4X4表示
- フロントデフアレンシシャルロック - Visco-4Lokアイコン

アイコン	説明
	2x4アイコン
	4X4のアイコン (EC諸国以外向け)
	EC諸国向けの 4X4のアイコン
	フロントデフアレンシシャルロック - Visco-4Lokアイコン

右側の表示

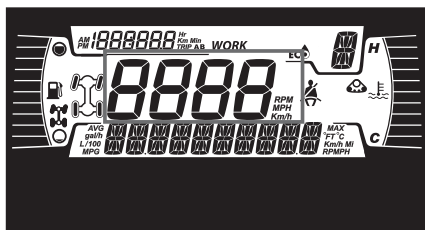


右側の表示には以下のものが含まれます：

- エンジン温度
- トラックキット作動

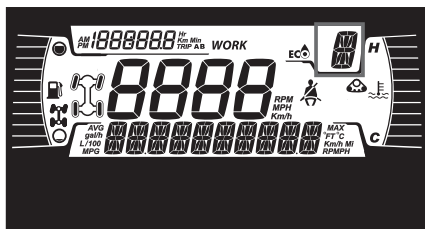
トラックキットが取り付けられている場合は、下側表示部にメッセージがスクロール表示されます。

中央の表示



車両速度をkm/hまたはMPH単位で表示します。

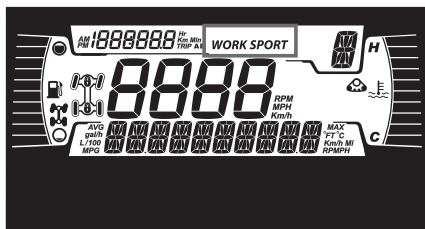
トランスミッション位置表示



この表示はギヤボックスのギヤポジションを示します。

- P (パーキング)
- R (後進)
- N (ニュートラル)
- H (ハイレンジ)
- L (ローレンジ)
- - (無効なレンジ)

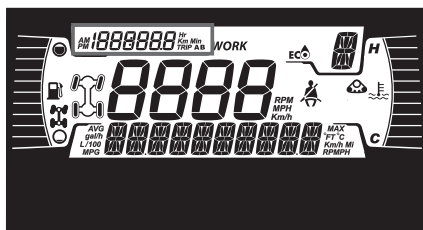
モード表示



モード表示は選択された動作モードが示されます。

- スポーツ
- ECOまたはワーク

トリップ表示



この表示はトリップ情報を示します。

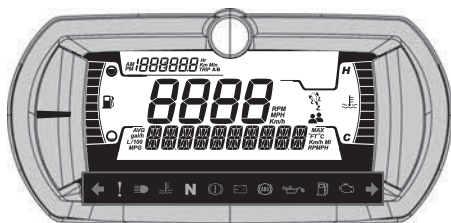
- 積算距離計オドメーター
- トリップA
- トリップB
- 車両アワーメーター
- 時計

上側ボタンを使用して、表示される情報を変更します。

上側のボタンを押したままにすると、トリップA/Bメーターがリセットされます。










インジケータランプ

警告および表示ライト







警告および表示ライト

↔	緑色 - フラッシャー (Tカテゴリーモデルのみ))
↔	ハザード警告点滅灯 (装備されている場合) - 前後のすべての方向指示灯が点滅。
!	オレンジ色 - 車両機能異常

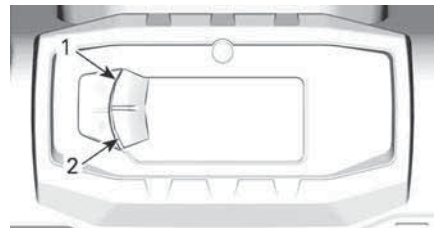
警告および表示ライト	
	青色 - ハイビーム
	赤色 - エンジン温度が高過ぎる。
	緑色 - ニュートラル
	赤 - パーキングブレーキがかかっている、またはブレーキシステムの不具合。
	RED - バッテリー電圧が低すぎる、または電気系統の問題。
	オレンジ色 - ABSシステムの不具合 (Tカテゴリーモデルのみ)
	赤色 - オイル圧力低下 エンジンがオフのときは常時オン
	オレンジ色 - 低燃料レベル。
	オレンジ色 点灯：車両排出ガス制御システムの不具合。 点滅：エンジンの不具合。 応急帰還モードになります。直ちに車両の整備を行ってください。

アイコンおよびインジケータ

アイコンおよびインジケータ	
	- スポーツモードが選択されていることを示します。
	- ECOモードが選択されていることを示します。
	- 点灯しているときは、メンテナンスが必要であることを示しています。 - メンテナンスについては、認定 Can-Am Off-Roadディーラーまたは整備担当者にご相談ください。
	- トラックキット作動（装備されている場合）。 - Tカテゴリーのモデルを除くすべてのモデルで利用可能。

設定

メニュー内を移動するためのボタンは、LCDディスプレイの左側にあります。



代表的な例

1. 上ボタン
2. 下ボタン

セットアップ

下側ボタンを使用して**SETTINGS**を選択し、ボタンを押したままにして設定メニューに入ります。

メンテナンスのリセット

メンテナンスメッセージをリセットするには、メンテナンスの手順のセクションの「メンテナンスが必要」メッセージのリセットを参照してください。

注記： メンテナンスのときにのみ（エンジンを100時間運転することにより）実行可能です。

故障コード(FAULT CODES)

故障コードが1つ以上発生しているときに利用可能です。

下側ボタンを使用して**CODES**を選択し、ボタンを押したままにして発生しているアクティブな故障コードを確認します。

故障コードは下側表示部にスクロール表示されます。

統計情報のリセット

下側ボタンを使用して**RESET STAT**を選択し、ボタンを押したままにしてリセットします。

単位の選択

この多機能ゲージは工場ではヤードポンド単位に設定されていますが、メートル単位に変更することができます。

下側ボタンを使用して**UNITS**を選択し、ボタンを押したままにして単位を変更します。

時計の設定

下側ボタンを使用して、以下のすべての手順を行う必要があります。

1. **CLOCK**を選択して、時刻を調整します。

2. ボタンを押して時計表示を選択します。
3. ボタンを1秒間押したままにします。
4. ボタンを押して、12時間表示または24時間表示を選択します。
5. ボタンを押したままにして選択内容を確定します。
6. ボタンを押して時の桁を変更します（時の桁が点滅します）。
7. ボタンを押したままにして時の桁の選択内容を確定します。
8. ボタンを押して分の桁に切り替えます（分の桁が点滅します）。
9. ボタンを押したままにして分の桁の選択内容を確定します。

言語の設定

ゲージ表示の言語は変更することができます。

利用できる言語とゲージの設定については、認定 Can-Am Off-Road ディーラーにお問い合わせください。

輝度の設定

LCDディスプレイの輝度を調整できます。

下側のボタンを使用して**BRIGHTNESS**（輝度）を選択し、ボタンを押したままにして輝度を変更します。

下側ボタンを使用して輝度を調整した後、ボタンを押したままにして選択内容を確定します。

7.6インチデジタルディスプレイ

基本機能

多機能ゲージの説明

警告

運転中は、制御できなくなる場合がありますので、表示を調整しないでください。

概観



下側の表示



下記の項目を表示させることができません。

- RPM
- 速度統計情報
- エンジン温度
- バッテリー電圧
- 設定
- メッセージ

速度統計情報表示では、最高および平均速度が表示されます。

左側の表示



左側の表示には以下のものが含まれます：

- 燃料レベルインジケーター

- トリップメーター (A-B)
- オドメーター
- 車両アワーメーター
- DPSインジケーター

右側の表示



右側の表示には以下のものが含まれます：

- エンジン温度
- 時計
- 速度インジケーター

この表示内の速度インジケーターは、中央の表示が速度以外の情報を示しているときに作動します。それ以外の場合は表示されません。

中央の表示



下記の項目を表示させることができません。

- RPM
- 車両速度

トランスミッション位置表示



この表示はギヤボックスのギヤポジションを示します。

- P (パーキング)
- R (後進)

- N (ニュートラル)
- H (ハイレンジ)
- L (ローレンジ)
- - (無効なレンジ)

モード表示



モード表示は選択された動作モードが示されます。

- スポーツ
- ECO

モードを変更するには、左または右のセレクターを押します。



ハンドルバー右側

1. ドライビングモードセレクター

作動時および解除時に、選択されたモードのメッセージが下部表示部に下記のように表示されます。

走行モード	作動時のメッセージ	解除時のメッセージ
スポーツ	スポーツ	スポーツオフ
ECO	ECO	ECO オフ

中央右側の表示

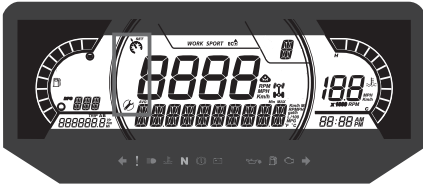


中央右側の表示には、選択された動作モードが示されます。

- 2X4
- 4X4
- トラックキット作動
- フロントデフアレンシャルロック (Visco-4Lok)

アイコン	説明
	2x4アイコン
	4X4のアイコン (EC諸国以外向け)
	EC諸国向けの 4X4のアイコン
	トラックキット アイコン
	フロントデフアレンシャル ロック (Visco-4Lok) アイコン

中央左側の表示

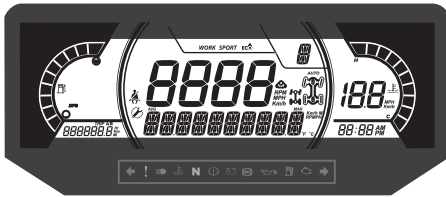


中央左側の表示には以下のものが含まれます。







- メンテナンス時期の到来
- スピードリミッター

インジケータランプ

警告および表示ライト




警告および表示ライト

	緑色 - フラッシャー (Tカテゴリーモデルのみ)
	ハザード警告点滅灯 (装備されている場合) - 前後のすべての方向指示灯が点滅。
	オレンジ色 - 車両機能異常
	青色 - ハイビーム
	赤色 - エンジン温度が高過ぎる。
	緑色 - ニュートラル
	赤 - パーキングブレーキがかかっている、またはブレーキシステムの不具合。

警告および表示ライト

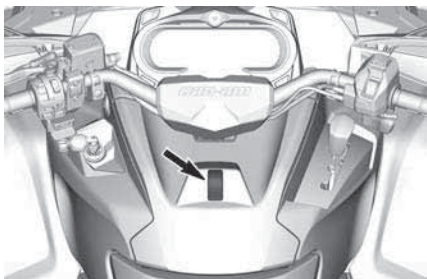
	RED - バッテリー電圧が低すぎる、または電気系統の問題。
	オレンジ色 - ABSシステムの不具合 (Tカテゴリーモデルのみ)
	赤色 - オイル圧力低下 エンジンがオフのときは常時オン
	オレンジ色 - 低燃料レベル。
	オレンジ色 点灯：車両排出ガス制御システムの不具合。 点滅：エンジンの不具合。 応急帰還モードになります。直ちに車両の整備を行ってください。

アイコンおよびインジケータ

アイコンおよびインジケータ	
SPORT	- スポーツモードが選択されていることを示します。
	- ECOモードが選択されていることを示します。
	- 点灯しているときは、メンテナンスが必要であることを示しています。 - メンテナンスについては、認定Can-Am Off-Roadディーラーまたは整備担当者にご相談ください。
	- トラックキット作動（装備されている場合）。 - Tカテゴリーのモデルを除くすべてのモデルで利用可能。

設定

メニュー内を移動するためのボタンは、ハンドルバー下側のコンソール上にあります。



セットアップ

メニューボタンを使用して**SETTINGS**を選択し、ボタンを押したままにして設定メニューに入ります。

メンテナンスのリセット

メンテナンスメッセージをリセットするには、メンテナンスの手順のセクションの「メンテナンスが必要」メッセージのリセットを参照してください。

注記： メンテナンスのときにのみ（エンジンを100時間運転するごとに）実行可能です。

故障コード(FAULT CODES)

故障コードが1つ以上発生しているときに利用可能です。

メニューボタンを使用して**CODES**を選択し、ボタンを押したままにして発生しているアクティブな故障コードを確認します。

故障コードは下側表示部にスクロール表示されます。

速度/回転数

速度と回転数の表示を切り替えることができます。

メニューボタンを使用して**SPEED/RPM**を選択し、ボタンを押したままにして速度と回転数の表示を切り替えます。

単位の選択

この多機能ゲージは工場ではヤードポンド単位に設定されていますが、メートル単位に変更することができます。

メニューボタンを使用して**UNITS**を選択し、ボタンを押したままにして単位を変更します。

統計情報のリセット

メニューボタンを使用して**RESET STAT**を選択し、ボタンを押したままにしてリセットします。

時計の設定

メニューボタンを使用して、以下のすべての手順を行う必要があります。

1. **CLOCK**を選択して、時刻を変更します。
2. ボタンを押して時計表示を選択します。
3. ボタンを1秒間押したままにします。
4. ボタンを押して、12時間表示または24時間表示を選択します。
5. ボタンまたはOKボタンを押したままにして、選択内容を確定します。
6. ボタンを押して時の桁を変更します(時の桁が点滅します)。
7. ボタンまたはOKボタンを押したままにして、選択した時間を確定します。
8. ボタンを押して分の桁に切り替えます(分の桁が点滅します)。
9. ボタンを押したままにして分の桁の選択内容を確定します。

輝度の設定

LCDディスプレイの輝度を調整できます。

メニューボタンを使用して**BRIGHTNESS**を選択し、メニューボタンを押したままにして輝度設定を選択します。

メニューボタンを使用して輝度を調整した後、メニューボタンを押したままにして選択内容を確定します。

言語の設定

ゲージ表示の言語は変更することができます。

利用できる言語とゲージの設定については、認定 Can-Am Off-Road

ディーラーにお問い合わせください。

DPSモード

下側の表示には、どのDPSモードが作動しているかを示すことができます。

走行に関する調整を参照してください。

燃料

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

燃料に関する要件

注意

新しいガソリンを必ず使用します。ガソリンは放っておくと酸化します。酸化すると、オクタン、揮発性化合物の損失、およびガムおよびワニスの蓄積が起り、燃料システムを損傷しかねません。

アルコールとの燃料の混合は国および地域によって異なります。ご使用されている車両は推奨される燃料を使用するために設計されていますが、次のことに注意してください。

- 政府の規制によって定められているアルコール割合を超えるアルコールを含む燃料を使用することは推奨されておらず、もし使用した場合、次のような燃料システムコンポーネントの問題が発生しかねません。
 - 始動および操作時の困難。
 - ゴムまたはプラスチック部品の老化。
 - 金属部品の腐食。
 - 内部エンジン部品への損傷。
- ガソリンのアルコール度が政府の現在の規制を超えていると疑った場合、燃料漏れまたはその他の燃料システムの異常がないか常に点検してください。
- アルコールが混合された燃料は水分を多く含む車があり、燃料の相分離につながる恐れがあり、エンジンの性能上の問題またはエンジンの損傷を引き起こす可能性があります。

推奨燃料

ガソリンは、次の最低オクタン価が必要となります。

1000Rエンジン

オクタン価 91の AKI (R+M)/2、またはオクタン価 95の RON を含んだプレミアム無鉛ガソリン

その他のすべてのエンジン

オクタン価87のAKI (R+M)/2またはRONオクタン価92の通常の無鉛ガソリン

10%以下のエタノールを含む無鉛ガソリンを使用してください。

E10

注意

他の燃料を試したりしないこと。不適当な燃料を使用すると、エンジンまたは燃料システムの損傷を招きかねません。

注意

E85のラベルの燃料ポンプからの燃料は絶対に使用しないでください。

E15のラベルの燃料の使用は、U.S. EPA (米国環境保護庁)の規制により禁止されています。

車両への給油手順

⚠ 警告

- 燃料は、一定の条件下で可燃性および爆発性を持ちます。
- 裸火を明かりにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。
- 絶対に近くでタバコを吸ったり、炎や火花を発生させたりしないでください。
- 換気のよい場所で作業してください。
- 給油時は、車両を水平面に駐車してください。

1. エンジンを止めます。

⚠ 警告

給油前に必ずエンジンを停止してください。

2. オペレーターと同乗者を車両から降ろしてください。

⚠ 警告

給油中、誰も車両に乗せないでください。給油中に火災や爆発が起きた場合、車両に乗っていると、その場所から直ちに逃げることができない可能性があります。

3. 燃料リザーバーキャップを反時計回りにゆっくり回して、キャップを外します。



1. 燃料タンクキャップ

⚠ 警告

差圧が感じられた（燃料タンクキャップを緩めるときに笛のような音が聞こえた）場合、作業を続ける前に車両を点検または修理してください。

4. 給油ノズルをフィルターネックに差し込んでください。
5. タンクから空気を逃がして燃料が逆流しないように、燃料をゆっくり注ぎます。燃料をこぼさないように注意してください。
6. 燃料がフィルターネックの根元のところまで達したら、給油を止めます。燃料を入れすぎはいけません。

⚠ 警告

車両を温かい場所に停車する前に、絶対に燃料タンクに補充しないでください。温度上昇につれて、燃料が膨張し流出する可能性があります。

7. フューエルリザーバーキャップを時計回りに回して、完全に締め付けます。

⚠ 警告

車両からこぼれた燃料は必ず拭き取ってください。

慣らし運転期間

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

慣らし運転中の運転

この車両には、10 時間または300 km (200 mi) の慣らし期間が必要です。

エンジン

慣らし期間中は：

- アクセル全開での運転は避けてください。
- アクセルペダルをストロークの 3/4 以上踏み込むのは避けてください。
- 加速を維持し続けるのは避けてください。
- 巡航速度での長時間の運転は避けてください。
- エンジンのオーバーヒートを避けてください。

ただし、短い加速や速度の変動は、慣らし運転の質を向上させます。

ブレーキ

警告

新しいブレーキは、慣らし運転が完了しないと最大効率で作動しません。ブレーキの効率が最適でない場合があるため、注意を余分に払ってください。

ベルト

新品のベルトは、50 km (30 mi) の慣らし運転を必要とします。

慣らし期間中は：

- 激しい加速や減速は避けてください。
- 貨物のけん引は避けてください。
- 高速での巡航は避けてください。

基本手順

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。

警告

指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

電子システムの起動

スタートボタンを1秒弱押し放すと、

- 下記の場合は、いずれの装置にも電源を供給せずに電装システムが30秒間オンになります。
 - D.E.S.S.キーが取り付けられていない、またはイグニッションキーがOFF位置になっている、または
 - エンジnstoppスイッチが停止位置になっている
- 下記の場合は、装置に10分間電源を供給します。

- D.E.S.S.キーが取り付けられている、またはイグニッションキーがON位置になっている、かつ
- エンジnstoppスイッチが動作位置になっている

D.E.S.S.キーまたはイグニッションキーが取り外されている、またはエンジnstoppスイッチが停止位置になっている場合は、30秒後に電装システムが停止します。

注意

電装システムを頻繁に起動したり、電気装置を使用すると、バッテリーを消耗してエンジnstoppできなくなる場合があります。

エンジnstoppを始動させます

シフトレバーをパーキングかニュートラルにする必要があります。

注記：

なお、オーバーライドモードでは、シフトレバーがどの位置であってもエンジnstoppを始動できません。エンジnstoppスタートボタンを押している間に、ブレーキレバーを引き続けるかブレーキペダルを踏み続けます。

キーをイグニッションスイッチに挿入してキーをON位置に回す、またはD.E.S.S.キーがD.E.S.S.ポストに取り付けられていることを確認します。

エンジnstoppスイッチをRUNに設定します。

エンジnstoppが始動するまで、エンジnstoppスタートボタンを押し続けます。

注意

数秒経ってもエンジnstoppが始動しない場合は、スタート位置で10秒以上保持しないでください。トラブルシューティングのセクションを参照してください。

エンジnstoppが始動したら、エンジnstoppスタートボタンを直ちに放します。

注記：

バッテリーがあがっている場合はエンジnstoppを始動できません。バッテリーを充電するか交換してください。

選択したギヤの変更

ブレーキをかけて車両を停止し、希望するシフトレバー位置を選択します。

ブレーキを解除します。

注意

選択したギアを変更するときは、必ずブレーキをかけて車両を完全に停止してからシフトしてください。ギヤボックスが損傷する恐れがあります。

スロットルレバーを徐々に押してエンジン回転数を上げると、CVT（無段変速機）につながります。

反対に、スロットルレバーを放すとエンジン回転数が下がります。

エンジンの停止と車両の駐車

⚠ 警告

車両が動き出す恐れがあるため、急な傾斜での駐車は避けてください。

⚠ 警告

動き出すのを防止するため、停車および駐車時は必ずシフトレバーをパーキングにしてください。

⚠ 警告

高温部品で火災が生じるような場所には駐車しないでください。

停車および駐車時は必ずシフトレバーをパーキング位置にしてください。これは、傾斜地で駐車するときに特に重要です。急な傾斜や車両が荷物を運搬している場合は、石やレンガを使用してホイールが動かないようにしてください（輪止めをかけることが望ましい）。

駐車する際は、最も平坦な地形を選択します。

スロットルを放し、ブレーキを使って車両を完全に停止します。

シフトレバーをパーキング位置にします。

パーキングブレーキをかけます。

エンジンストップスイッチをOFF位置まで押します。

イグニッションスイッチのキーをOFF位置にする、または車両のエンジンストップスイッチを使用して車両を停止します。

イグニッションスイッチからキーを取り外す、またはD.E.S.S.ポストからD.E.S.S.キーを取り外します。

特殊な手順

水を吸い込んだエンジン

燃料がかぶってエンジンが始動しない場合、この特殊なモードが作動して燃料噴射を防ぎ、クランク中にイグニッションをカットします。次の手順に従ってください：

1. シフトレバーをパーキング位置します。
2. キーをD.E.S.S.ポストに取り付けるか、イグニッションキーをON位置に回します。
3. スロットルレバーを完全に押し込んだままにします。
4. エンジンスタートボタンを20秒間押し続けます。
5. スロットルレバーを放します。
6. スタートボタンを再度押し、エンジンが始動します。

エンジンが作動しない場合

1. インジェクターの電装コネクタを抜きます。
2. スパークプラグのキャップ部分を掃除してから取り外します。
3. スパークプラグを取り外します。
4. エンジンのクランキングを数回行ってください。
5. 可能であれば新しいスパークプラグを取り付けるか、スパークプラグをきれいにし乾燥させてください。
6. 前述の手順に従って、エンジンを始動してください。

やはり同じようにプラグがかぶってしまう場合は、認定 Can-Am Off-Roadディーラーにご相談ください。

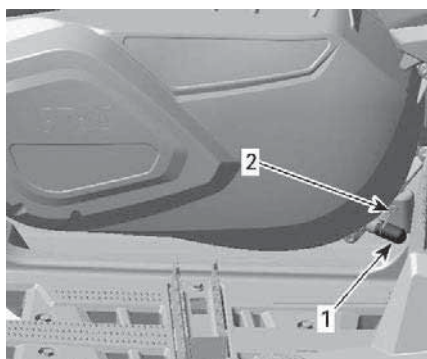
注意

エンジンオイルに燃料が混入していないことを確認してください。混入している場合はエンジンオイルを交換してください。

CVTに浸入した水

CVTのドレンプラグは、CVTカバーの後部にあります。これには左側リアフェンダーから手が届きます。

CVTのドレンプラグを点検して、水があるか確認します。



左側フットレスト付近

1. ドレンプラグ
2. スプリングクランプ

注意

泥地環境においてCVTに水が浸入した場合は、車両の使用を制限し、車両を最寄りの認定Can-Amディーラーまで移動して、適切なCVT洗浄手順を行うよう依頼してください。

水がある場合は、CVTのドレンプラグを取り外して水を排出します。

ドレンプラグを取り付けて、スプリングクランプで固定します。

注記：

ホースがCVTカバーニップルに正しく挿入されているか確認してください。

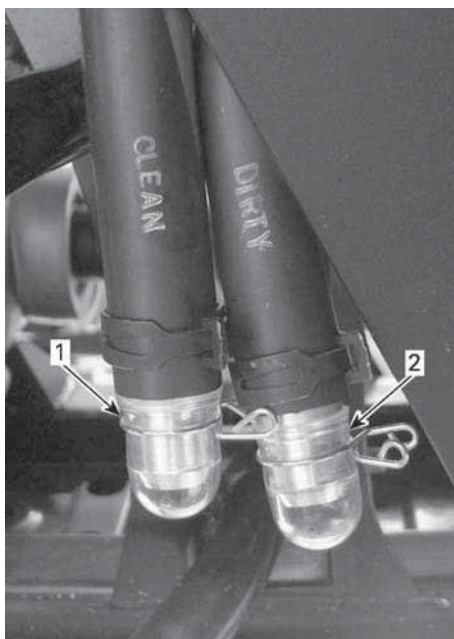
注意

認定Can-Am Off-Roadディーラーに相談して、CVTの点検と清掃を行ってください。

エアフィルターハウジングへの浸水

左サイドパネルを取り外します。

エアフィルターハウジングの下にあるドレンリザーバーを点検して、水があるか確認します。



1. エアフィルターハウジングのドレンリザーバーを清掃する
2. エアフィルターハウジングのドレンリザーバーを乾燥させる

水がある場合は、クランプを押してリザーバーを取り外し、エアフィルターハウジングから水を排出します。

下記条件のいずれかに該当する場合、最寄りの認定Can-Am Off-Roadディーラーまで車両を運搬し、車両の整備を受けてください。

- 50 ml (2 fl oz (US)) (ドレンリザーバー約5杯分) 以上の水がエアフィルターハウジングにある場合。
- ドレンリザーバーに何らかの堆積物がある場合。

このような場合は、下記事項に関する車両の整備が必要です。

- ベント

- CVTエアフィルターの清掃
- CVTのクリーニング
- 燃料タンクブリーザーの交換
- 潤滑の点検および必要に応じて交換 (エンジン、ギヤボックスおよびリアファイナルドライブ)

注意

車両の整備を行わないと、下記のコンポーネント (ただしこれらに限定されない) に回復不能な損傷が生じる場合があります。

- エンジンおよびギヤボックス
- 燃料ポンプ
- CVT
- フロントディファレンシャル
- リアファイナルドライブ

車両が転覆した場合

車両が転覆した、または横に傾いたままの場合は、ホイールが下になるように車両を戻してください。

車両に損傷がないか点検してください。

警告

車両が損傷している場合は、絶対に運転しないでください。認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

車両に損傷がない場合は、メンテナンスの手順のセクションを参照して下記の点検を行ってください。

- エアフィルターハウジングにオイルが溜まっていないか点検します。オイルがある場合は、エアフィルターとエアフィルターハウジングを清掃します。
- エンジンオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。
- エンジンクーラントレベルを点検し、必要に応じて補充してください。

- ギヤボックスオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。
- リアファイナルドライブのオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。
- エンジンを始動します。オイル圧のランプが点灯している場合は、直ちにエンジンを停止してください。認定Can-Am Off-Roadディーラーまでお問い合わせください。

車両が転倒したときは必ず、認定Can-Am Off-Roadディーラーの点検を受ける必要があります。

注意

できるだけ早く認定Can-Am Off-Roadディーラーの整備を受ける必要があります。

注意

ゲージサポートを取り付けるときは、すべてのベントホースがエアダクトに近い位置で正しく取り回されていることを確認します。

車両が水没した場合の対処

車両が水没した場合は、直ちにエンジンを停止してください。下記のものを使用しないでください。

- すべての電気装置
- ウィンチ（装備されている場合）

認定Can-Am Off-Roadディーラーにできるだけ早く車両を持ち込む必要があります。エンジンを始動しようとしないでください！

注意

車両が水没した場合、適切な始動手順に従わないと重大な損傷が生じます。

車両をできるだけ早く水から引き出して、下記のことを行ってください。

- エアフィルターハウジングから水を抜き取ります。エアフィルターハウジングへの浸水のセクションを参照してください。
- CVTから水を抜き取ります。CVTに浸入した水のセクションを参照してください。

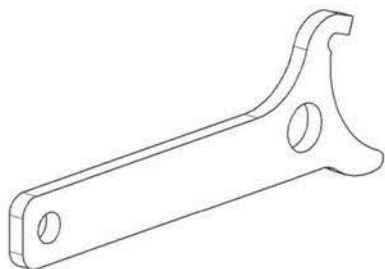
走行に関する調整

⚠ 警告

サスペンションの調整は、車両のハンドリング性能に影響を与える可能性があります。サスペンションの調整後、必ず時間を取って車両に慣れるようにしてください。

以下はサスペンションの微調整のガイドラインです。

なお、車載工具にはサスペンション調整ツールが付属しています。



サスペンション調整ツール

サスペンションの調整

サスペンションの調整と荷重は、車両のハンドリング性能や快適性に影響を与えます。

サスペンション調整の選択は、運転者の体重、好み、走行速度およびフィールドの状態により変化します。

注記：

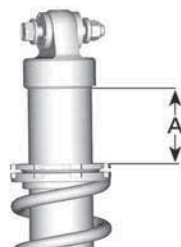
工場設定はほぼすべての状況に適しています。地上高の増加は車両のハンドリング性に影響することを考慮してください。

フロントサスペンションの工場プリロード設定

モデル	工場出荷時の設定
MR 570	カム位置を3にする
X mr 570 X mr 650	カム位置を3にする
X mr 850 X mr 1000R	64.6 mm (2.543 in)

リアサスペンションの工場プリロード設定

モデル	工場出荷時の設定
MR 570	カム位置を3にする
X mr 570 X mr 650	カム位置を3にする
X mr 850 X mr 1000R	153.3 mm (6.04 in)



1. スプリングプリロード距離

ばねプリロード調節

⚠ 警告

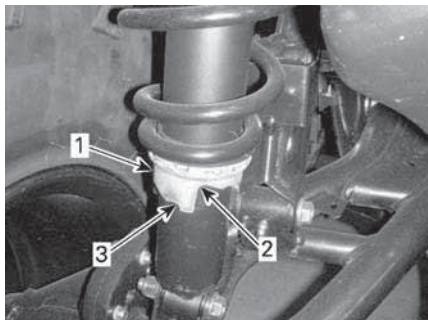
フロントまたはリヤサスペンションの左と右のショック調整は、必ず同じ位置にセットする必要があります。片方のショックのみを調整することは避けてください。調整が均等でないとハンドリング性能および安定性が損なわれ、事故につながる可能性があります。

乗り心地を固めにしたり粗い条件の場合は、スプリングを短くします。

乗り心地を柔らかめにしたりスムーズな条件の場合は、スプリングを長くします。

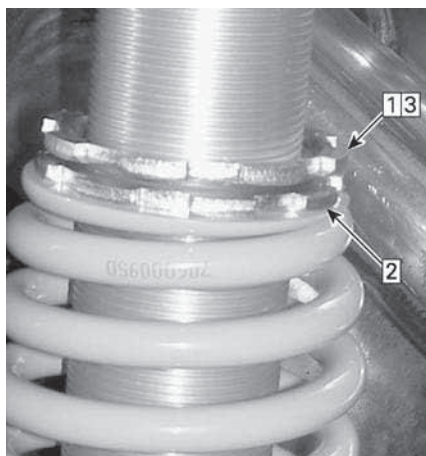
注記：
FOX製ショックのプリロードを増加しないでください。

調整カムまたは調整リングを回して、スプリングプリロードを調整します。



代表例 - 調整カムを備えるショック

1. 調整カム
2. 柔らかめの調整
3. 固めの調整



代表例 - ねじ付き調整部を備えるショック

1. 上部の固定リングを緩めます。
2. それに応じて調整リングを回します。
3. 上部の固定リングを締め付けます。

ダイナミックパワーステアリング (DPS) のアシストレベル調整

トリモードダイナミックパワーステアリング (DPS) は、ライダーのためにステアリング操作の簡単なアシストを行います。アシストのレベルは車両速度や運転者の要望に応じて自動的に適応し、通常はアシストの需要が最も高いとされる低速時に最大の操舵力を発揮します。速度が上昇するとアシストが次第に少なくなり、運転者にとって最高の操舵感覚と精度が維持されます。

各モードとも、車両速度や運転者の要望に自動的に継続して適応するため、走行時に変更する必要がありません。これらのモードは、それぞれの運転者の好みに合わせてアシストのレベルを設定するために使用されます。

事前に設定された次の3モードから選択できます。

利用できるDPS設定	
DPS MAX.	ステアリングアシスト最大
DPS MED.	ステアリングアシスト中程度
DPS MIN.	ステアリングアシスト最小

トランスミッションレバーがリバーズに設定されている場合は、DPSモードを変更できません。

注記：

オプションまたは取り付けられているアクセサリに従って、特殊設定が自動的に有効になる場合があります。

Visco-4Lokフロントディファレンシャル装備モデル

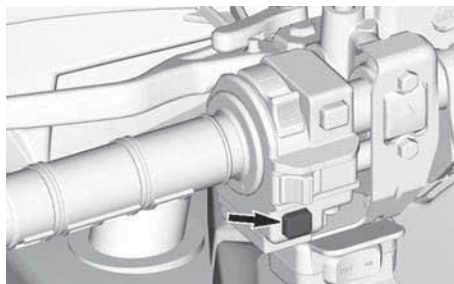
4WDLockモードが選択されると、最適なアシスト機能を発揮するために、自動的に特殊設定が選択されます。

4WDLockモードが選択されている場合、DPS設定の変更はできません。

多機能スイッチを使用してDPSモードを変更する場合、エンジンが作動していなければなりません。この手順を実行するために、電装システムの起動は不要です。

どのDPSモードが作動しているかを確認する方法

- DPSボタンを短く（1秒間）押します。



- 前の画面に戻るには、同じボタンを再度押してください。

DPSモードの変更方法

- DPSボタンを短く（1秒間）押し、どのDPSモードが作動しているかを確認します。
- 別のモードを選択するには、DPSボタンを（2秒間）長押しします。希望のモードになるまで繰り返します。

注記： また、（所有するモデルによって）クラスターの下側ボタンまたはメニュースイッチを長押しすることで、DPSモードを変更することも可能です。変更するには、エンジンを始動する必要はありませんが、電装システムを起動しておかなければなりません。

車両の移送

牽引または移送サービスにお問い合わせ合わせする場合は、車両を安全に持ち上げ、ストラップを縛り付けるために長物トレーラー、導板またはパワールンプがあるか尋ねてください。本セクションで記載の通りに車両を適切に移送してください。

注意

この車両は牽引しないでください。牽引すると車両の駆動システムに深刻な損傷を与える恐れがあります。

注意

車両を縛り付けるのにチェーンの使用は避けてください—表面の仕上げやプラスチックのコンポーネントを損傷させる恐れがあります。

警告

重傷や死亡事故、重要部品の損傷を防止するために

- 牽引時は、絶対にウィンチケーブル/ロープを使用して車両を固定しないでください。
- ウィンチケーブル/ロープを貨物や他の車両に固定した状態では、絶対に走行しないでください。
- (雪や泥で) 身動きが取れなくなった車両を救出するためだけにウィンチを使用してください。
- 貨物を引く前に、必ずウィンチメーカーのインストラクションを参照してください。

警告

車両移送中は、車内に物を固定せずに置かないでください。

警告

ウィンドシールドなどのコンポーネントの損傷を防止するため、必ず車両を前進方向に向けた状態で移送してください。移送の際は部品を外してもかまいません。

警告

車両をプラットフォームまたはトレーラーに載せる前に、下記の安全注意事項に従ってください。

安全注意事項

運搬装置	運搬用備品（プラットフォーム、トレーラー、または平台）は、車両を安全に支えて移送するための適切な寸法と能力を持つものでなければなりません。
運搬用車両	運搬用車両の能力や仕様を超えないでください。トレーラーまたはプラットフォームが運搬用車両のヒッチに正しく固定されていることを確認してください。
視界	運転中は常に良好な視界を確保してください。
地形	運搬用車両やトレーラーは水平面上になければなりません。トレーラーや運搬用車両が動かないよう、輪留めを使用してください。

安全注意事項	
ランプ	適切な能力を持つランプを、トレーラーまたはプラットフォームに固定して使用しないでください。ランプを急角度に使用しないでください。
周囲の人々	車両を載せるときは、周囲の人々が車両や牽引装置の近くにいないことを必ず確認してください。

車両の力を利用して牽引装置に載せる

車両が自力で上ることができるときは、以下の手順に従ってください。

1. 保護具を着用します。
2. シートベルトを締めます。
3. ローギヤだけを使用します（装備されている場合）。
4. 車両に4WDの機能があれば、これを使用します。
5. 走行中はシートに着席した状態を維持します。
6. レールまたはプラットフォーム上の正しい位置にあることを確認します。
7. トレーラーから十分離れた位置から車両を走行させ始め、車両をランプに対して直進位置に揃えます。ランプに近づきながら曲がろうとしないでください。ランプに達したときにリヤホイールの位置が揃わず、車両が落下する恐れがあります。
8. フロントホイールをランプにゆっくりと上らせ、位置が揃っていることを確認します。
9. 車両を後退させ、ランプが固定されていることを確認してから適切な速度で作業を進めます。
10. 車両をプラットフォームまたはトレーラー上まで慎重に走行させます。十分な速度で、スピンしたり急加速したりすることのないよう

11. 上に上がってください。ランプが動かないように、ランプ上にいるときは加速しないでください。
12. トレーラーが前方に傾く場合も、加速させずに車両を単に移動させるだけにしてください。
12. 車両が上ったら、シフトレバーをパーキング位置にします。ブレーキロック機構を作動させます（装備されている場合）。

車両が自力で上れない場合、行き過ぎるリスクがある場合、または何らかの危険な状況が原因で自力で上ることができない場合は、ウインチを使用して次のように作業を進めます。

ウインチを使用して車両を牽引装置上まで引く

車両が自力で上ることができないときは、以下の手順に従ってください。

警告

他の人の助けを借ります。一人が車両に乗って車両のステアリング、ブレーキ、およびウインチのスイッチを操作し、もう一人が周辺環境や操作の安全性を管理します。

警告

ウインチのフックを適切なアンカーポイントに安全に取り付け可能なことを確認します。適切な索具を使用してください。

注記：
車両を安全に始動できる場合は、バッテリーの消耗を防止するため、ウインチ操作時にエンジンをアイドリングさせておきます。

1. シフトレバーをニュートラル（N）にします。
2. 車両にウインチが装備されている場合は、そのウインチを使用して

車両をプラットフォームまで移動させます。

3. 車両にウィンチが装備されていない場合は、以下の手順に従ってください。
 1. ストラップを下側のフロントバンパーアンカーに取り付けます。
 2. 牽引車のウィンチケーブルにストラップを固定します。
 3. ウィンチを使って車両を長物トレーラーに引っ張りこみます。
4. シフトレバーをパーキング位置にします。ブレーキロック機構を作動させます（装備されている場合）。

移送時の車両の固定

この車両を輸送するときは、適切なストラップを使用してトレーラーまたはピックアップボックスに車両を固定します。一般的なロープの使用は推奨しません。

⚠ 警告

重傷や死亡事故、重要部品の損傷を防止するために

- 牽引時は、絶対にウィンチケーブル/ロープを使用して車両を固定しないでください。
- ウィンチケーブル/ロープを貨物や他の車両に固定した状態では、絶対に走行しないでください。
- (雪や泥で) 身動きが取れなくなった車両を救出するためだけにウィンチを使用してください。
- 貨物を引く前に、必ずウィンチメーカーのインストラクションを参照してください。

⚠ 警告

この車両を、乗用車などの車で牽引しないでください。トレーラーを使用してください。このウォータークラフトを直立させて運搬するのはやめてください。車両は通常の動作位置（すべてのホイールが床に着いている状態）としてください。

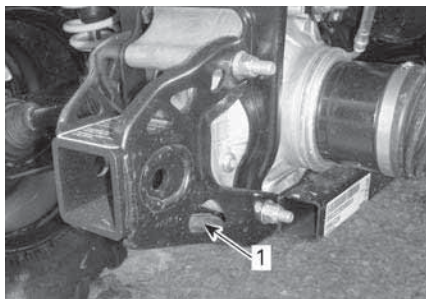
下記の手順を必ず行ってください。

- 輸送前に車両にラックから貨物を降ろします。
- シフトレバーをパーキング位置にします。
- パーキングブレーキをかけます。
- 車両を前側および後ろ側の固定ポイントで固定します。



代表的な例

1. 前側の固定ポイント位置



代表的な例

1. 後ろ側の固定ポイント位置

注意

車両を他の位置に固定すると、車両が損傷する場合があります。

トレーラーから車両を降ろす

⚠ 警告

移送中に車両が動いた可能性があります。車両の位置がランプに揃っていることを確認してから、作業を進めてください。

⚠ 警告

トレーラーから車両を後退させるときは、視認性が著しく低下します。他の人に手伝ってもらい、安全な環境であり位置が正しく揃っていることを確認してください。

メンテナンス

メンテナンスのスケジュール

車両を安全な作動状態に保つために、メンテナンスが非常に重要です。車両は、メンテナンススケジュールに基づいて整備してください。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

定期的な点検を実施し、メンテナンスのスケジュールを守ってください。スケジュールどおりにメンテナンスを行っていても、始業点検は必要です。

最初のメンテナンスの手順として故障コードを確認することは良い習慣であり、強く推奨します。

⚠ 警告

メンテナンスのスケジュールや手順に従って適切に車両を維持しないと、安全な作動を損ねます。

EPA規制 - カナダおよび米国向け車両

修理工場、または所有者任意の個人が、排出ガス制御装置およびシステムのメンテナンス、交換、または修理を実施できます。これらの手順には、BRPまたは認定Can-Am Off-Roadディーラーによるサービスやコンポーネントは必要ありません。

認定Can-Am Off-Roadディーラーは、車両のサービスに関する高度な知識とツールを有していますが、排出ガス関連保証は、認定Can-Am Off-RoadディーラーまたはBRPと取引のある工場の使用を条件としていません。

適切なメンテナンスを行うことは、オーナーの責任です。オーナーによる不適切なメンテナンスや使用が原因で問題が起こった場合などは、保証請求が拒否されることもあります。

排出ガス関連保証の請求では、BRPは排出ガス関連部品の診断と修理を認定Can-Am Off-Roadディーラーに制限しています。詳細は、保証のセクションにある米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

本書の給油セクションに記載されている燃料に関する要件の指示に従ってください。エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンが広く販売されている場合でも、米国EPAはエタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンの使用を禁止しています。これは、この車両にも適用されています。このエンジンに、エタノールの含有率が10体積%を超えるガソリンを使用すると、排出ガス制御システムを損傷する恐れがあります。

極端な環境下で運転した後のお手入れ

- 車両全体を真水で洗い流してください。
- CVTカバーを清掃します。
- CVTカバーから水を抜きます。カバーを外し、水や泥があれば清掃します。
- エンジンエアフィルターを点検します。水や泥があれば、エンジンエアフィルターハウジングを清掃します。
- ギヤボックス、フロントディファレンシャル、およびリアファイナルドライブのベントホースに水が溜まっていないか目視点検します。水があった場合は、最寄りの認定Can-Am Off-Roadディーラーまで車両を運搬し、点検と整備を受けてください。

- 粉塵や汚れで損傷しないよう、ショックアブソーバーを清掃します。
- ドライブシャフトベローズを清掃します。

過酷な粉塵環境

エアフィルターのメンテナンスガイドライン

エアフィルターは走行条件に応じて整備します。

次のような極端にほこりの多い環境では、エアフィルターをより頻繁に整備します。

- 乾燥した砂の上での走行
- 乾燥した土で覆われた路面での走行
- 雪で覆われた路面での走行
- 乾燥した砂利道または類似環境での走行

これらの環境でグループ走行を行うと、エアフィルターのメンテナンス回数が増えます。

注記：

上記のような状況で車両を使用するときは、雪の堆積を防止するために、アクセサリーのプレフィルターを使用する必要があります。詳細は認定Can-Amディーラーにお問い合わせください。

メンテナンススケジュールの例

トレイルでの走行条件での使用

過酷な走行条件（粉塵または泥が多い）、または重量物を運搬する条件での使用

メンテナンスのスケジュール

推奨するメンテナンスの間隔は次の表に示す通りです。これに従い、適切なメンテナンスを実施してください。メンテナンススケジュールの項目のうち、走行距離または時間に関わらず、必ず定期的に行う必要があるものもあります。

750 km (500 mi) 走行ごと、または
25運転時間ごと (いずれか早い方)

1,500 km (1,000 mi) 走行ごと、または
50運転時間ごと (いずれか早い方)

日常点検に記載されているすべての項目を実施してください。

故障コードの確認

エンジンエアフィルターを確認して清掃する。必要に応じて交換する。

バッテリー接続部を確認する。

**750 km (500 mi) 走行ごと、または
25運転時間ごと (いずれか早い方)**

**1,500 km (1,000 mi) 走行ごと、または
50運転時間ごと (いずれか早い方)**

フロントディファレンシャルおよびリアファイナルドライブのオイルレベルを点検し、汚れがないか確認する。必要に応じて交換する。

リアプロペラシャフトジョイントを潤滑する。

タイロッドエンドおよびボールジョイントに遊びがないか点検し、ベローズの状態を確認する。

フロントサスペンションアームブッシュを潤滑する。

フロントおよびリアスタビライザーバーのブッシュを潤滑する。

ドライブシャフトベローズおよびプロテクターを点検する。

ブレーキパッドを点検する。必要に応じて交換する。

ホイールベアリングに異常な遊びがないか点検する。

ギヤボックスオイルのレベルを確認し、汚れがないか調べる。

CVTエアフィルターを点検し、清掃する。必要に応じて交換する。(装備されている場合)

アッパーショックアブソーバーの球面ベアリングを潤滑する (Outlander X mr 1000R) 。

**1,500 km (1,000 mi) 走行ごと、または
50運転時間ごと (いずれか早い方)**

**3,000 km (2,000 mi) 走行ごと、または
100運転時間ごと (いずれか早い方)**

日常点検に記載されているすべての項目を実施してください。

故障コードの確認

バルブクリアランスを調整する。

マフラスパークアレスターを清掃する。

スロットルボディを確認して清掃する。

フューエルベントブリーザーフィルターを交換する。

**1,500 km (1,000 mi) 走行ごと、または
50運転時間ごと (いずれか早い方)**

**3,000 km (2,000 mi) 走行ごと、または
100運転時間ごと (いずれか早い方)**

CVTドライブベルトを点検し、CVT プーリーを清掃する。

ドライブプーリーのワンウェイベアリングを潤滑する。

下記事項を1年に1回以上行う必要があります。

エンジンオイルとフィルターを交換する。

スロットルケーブルを潤滑する。

ブレーキシステムを点検し、清掃する。

バッテリーの状態を点検する。

ステアリングシステムに異常な遊びがないか確認する。

フロントディファレンシャルおよびリアファイナルドライブのオイルレベルを点検し、汚れがないか確認する。

ギヤボックスオイルのレベルを確認し、汚れがないか調べる。

**最初の1,500 km (1,000 mi) および
3,000 km (2,000 mi) の走行後に実施し、以降は定期スケジュールに従っ
てください**

**最初の3,000 km (2,000 mi) および
6,000 km (4,000 mi) の走行後に実施し、以降は定期スケジュールに従っ
てください**

ギヤボックスオイルを交換する。

車両速度センサー (VSS) を清掃する。

**1,500 km (1,000 mi) 走行ごと、または
50運転時間ごと (いずれか早い方)**

**3,000 km (2,000 mi) 走行ごと、または
100運転時間ごと (いずれか早い方)**

日常点検に記載されているすべての項目を実施してください。

故障コードの確認

**1,500 km (1,000 mi) 走行ごと、または
50運転時間ごと (いずれか早い方)**

**3,000 km (2,000 mi) 走行ごと、または
100運転時間ごと (いずれか早い方)**

クーリングシステムを確認する。

エンジンクーラントの効力をテストする。

燃料システムに漏れがないか点検する。

燃料ポンプ圧を確認する。

スパークプラグの交換

フロントディファレンシャルオイルを交換する。

リアファイナルドライブのオイルを交換する。

ギヤボックスオイルを交換する。

インプットおよびアウトプットシャフトシール (ギヤボックス、ディファレンシャルおよびファイナルドライブ) を点検する。

車両速度センサーを清掃する。

ロアおよびアッパーステアリングコラムハーフブッシュを清掃し、潤滑する。

下記事項は2年毎に行う必要があります。

ブレーキオイルを交換する。

**6,000 km (4,000 mi) 走行ごと、または
5年ごと (いずれか早い方)**

**12,000 km (8,000 mi) 走行ごと、または
5年ごと (いずれか早い方)**

エンジンクーラントを交換する。

メンテナンスの手順

このセクションでは、基本的なメンテナンスの手順を説明します。

⚠ 警告

メンテナンスを行う場合は、まずエンジンを止めて、以下のメンテナンス手順に従ってください。適切なメンテナンス手順を守らないと、高温の部品、稼働部分、電氣的、化学的あるいはその他の危険により負傷する恐れがあります。

⚠ 警告

ロック装置（ロックタブ、戻り止めファスナーなど）の取り外しが必要な場合、必ず新品と交換してください。

メッセージのリセット：メンテナンスが必要

このオプションは、メンテナンスのときのみ実行可能です。

1. 下側ボタン（4.5インチデジタルディスプレイ）またはメニューボタン（7.6インチデジタルディスプレイ）を使用して、SETTINGSのRES MAINを選択します。
2. ボタンを押したままにして、メンテナンスメッセージをリセットします。

エンジンエアフィルター

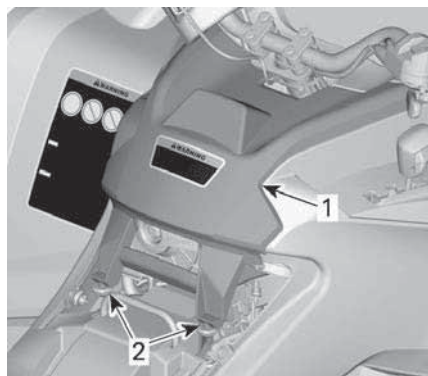
エンジンエアフィルターの取り外し

注意

エアフィルターのハウジングのいかなるコンポーネントを取り外したり、改造しないでください。さもないと、エンジンパフォーマンスの低下または損傷が起こる可能性があります。エンジンは、これらのコンポーネント専用に変更されています。

1. シートを取り外します。

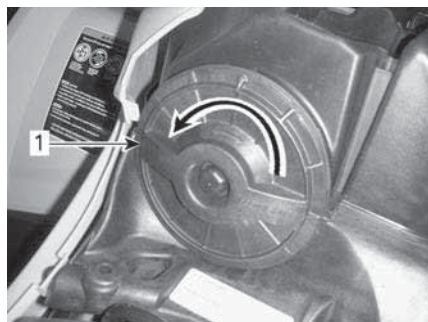
2. スタッドがグローメットから外れるまで、コンソール後部を上方向に持ち上げます。



代表的な例

1. コンソール
2. スタッドとグローメット
3. コンソールを後方に引きます。
4. エアフィルターのカバーを取り外すには反時計回りに回します。

注記：
取り外しが楽なように、ソケットレンチを使用してもかまいません。



1. エアフィルターのカバー
5. エアフィルターのを取り外します。



エンジンエアフィルターの清掃と潤滑

ペーパーフィルターの清掃

1. フォームフィルターがペーパーフィルターから取り除かれていることを確認します。
2. ペーパーフィルターから重い粉塵を叩き落とします。

こうすることで、汚れや粉塵がペーパーフィルターから外れます。

注記：

ペーパーフィルターには寿命があります。汚れすぎたり詰まった場合は交換してください。

注意

ペーパーエレメントに圧縮エアを吹き付けしないでください。ペーパーエレメントが損傷し、ほこりの多い環境で使用すると、フィルターのろ過性能が低下する可能性があります。エンジンエアフィルターが過度に汚れているため、推奨手順に従って清掃できない場合は交換してください。

注意

ペーパーフィルターを洗浄液で洗浄しないでください。

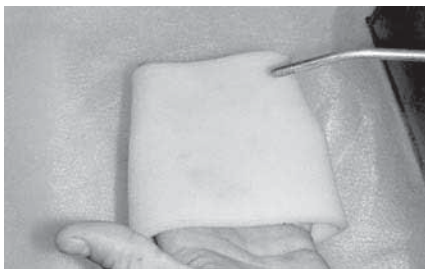
フォームフィルターの清掃

1. エアフィルタークリーナーをフォームフィルターの内側および外側に吹き付けて、メーカーの説明に従います。



代表的な例

2. フォームフィルターを完全に乾燥させます。



代表的な例

注記：

エレメントの汚れがひどい場合は、2回吹き付けなければならない場合があります。

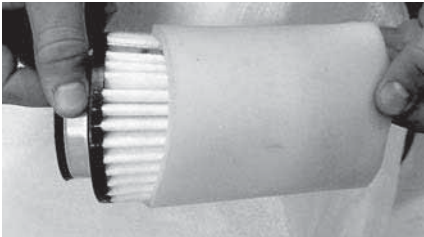
フォームフィルターの給油

1. フィルターに汚れがないことを確認します。フォームフィルターの清掃のセクションを参照してください。
2. すでに乾燥したフォームフィルターにエアフィルターオイルを吹き付けます。



代表的な例

3. 3～5分間放置します。
4. フォームフィルターを吸収布に包み込み、優しく絞り、ペーパーフィルターに付着しかねない余分な油分を取り除きます。これにより、フォームフィルターを完全にオイルで被覆させることを確保できます。
5. フォームフィルターをペーパーフィルターの上に取り付けます。

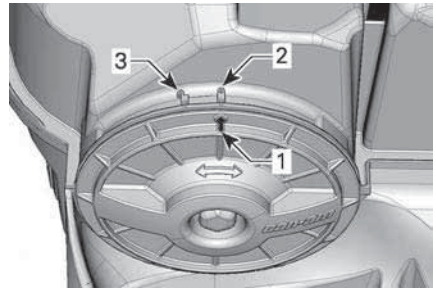


代表的な例

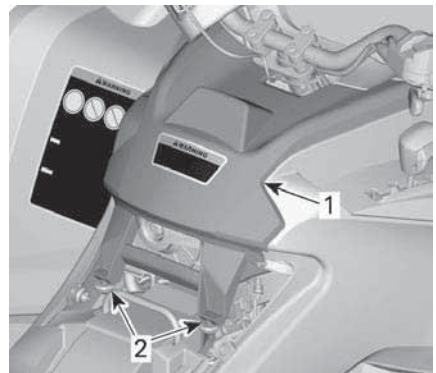
6. 今後の取り付けおよび取り外しの容易さを確保するために、フィルターのプラスチック本体にわずかに油を注ぎます。

エンジンエアフィルターの取り付け

1. 注油されたフォームフィルターをペーパーエアフィルターに取り付けます。
2. エアフィルターのOリングシールとプラスチック本体にグリースを若干塗布します。
3. 取り外しとは逆の手順でエアフィルターを取り付けます。
4. エアフィルターカバーがエアフィルターハウジングに正しくロックされていることを確認します。フィルターカバーとハウジングの図を参照してください。



1. カバー位置の矢印
2. ロック位置
3. ロック解除位置
5. 取り外しとは逆の手順でコンソールを取り付けます。しかし、次の点に注意を払ってください。
 - コンソールの前側タブをスロットにそろえてから、コンソールを前方に押しします。
 - その後、スタッドをコンソール後部のグロメットにそろえて、スタッドがグロメットに掛かるまでスタッドを挿入します。



代表的な例

1. コンソール
2. スタッドとグロメット
6. シートを再度取り付けます。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルの確認

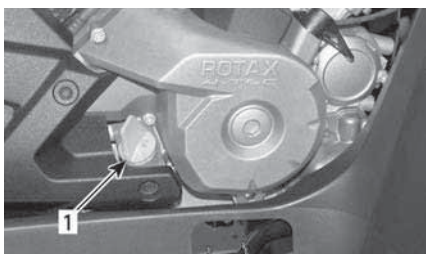
注意

オイルレベルが不適切なままでエンジン/ギヤボックスを使用すると、エンジン/ギヤボックスに重大な損傷を与える可能性があります。

注意

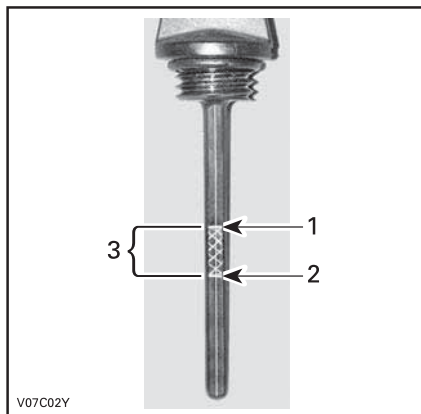
エンジンが冷えているときにオイルレベルを確認してください。

1. 水平面に車両を置いてください。
2. 異物がエンジン内に入らないように、オイルレベルゲージ部を清掃します。



代表例 - エンジン右側

1. ディップスティック
3. ディップスティックを緩めて引き抜き、オイルを拭き取ります。
4. ディップスティックを取り付けて完全にねじ込みます。
5. ディップスティックを外してオイルレベルを読み取ります。オイルレベルが、上側のマークまたはその付近まで達していなければなりません。



代表的な例

1. 満タン
2. 給油
3. 動作範囲
オイルレベルが2つのマークの間にある場合は、オイルレベルゲージを取り付けます。

オイルレベルがレベルゲージの下側のマークに達していない場合は、次の手順に従ってオイルを補充します。

- オイルレベルゲージの穴にじょうごを入れます。
- 推奨オイルを少量補充し、オイルレベルを再度確認します。
- オイルレベルがレベルゲージの上側のマークに達するまで、この手順を繰り返します。

注意

燃料を入れすぎてはいけません。こぼれたオイルは必ずふき取ってください。

6. ディップスティックを適切に締め付けます。

推奨エンジンオイル

Rotax®エンジンは、XPS™ オイルを使用して開発と検証が行われました。

BRPでは、XPSエンジンオイルまたは同等の使用を常に推奨しています。

エンジンに適さないオイルの使用が原因で生じた損傷には、BRPの限定的保証が適用されない場合があります。

XPS推奨エンジンオイル	
一般用	XPS 4T 5W40合成ブレンドオイル
低温用	XPS 4T 0W40合成オイル
高温用	XPS 4T 10W50合成オイル
推奨されるXPSエンジンオイルが入手できない場合	
潤滑油に関する以下の仕様を満たすかこれを超える4ストロークSAEエンジンオイルを使用します。	
オイルの容器に貼付されているAPIサービ斯拉ベルの分類を必ず確認し、表示されている規格が含まれていることを必ず確認してください。	
- APIサービス分類SJ、SL、SMまたはSN	

エンジンオイルを交換します。

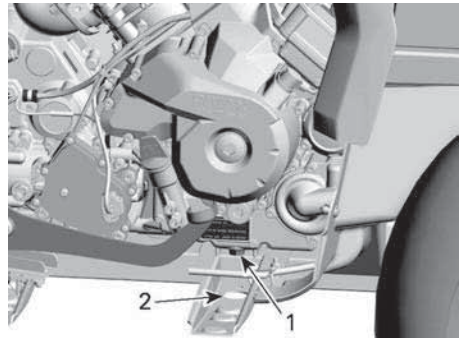
⚠ 注意

エンジンオイルは非常に熱くなっている可能性があります。エンジンオイルが若干冷めるまで待ちます。

注意

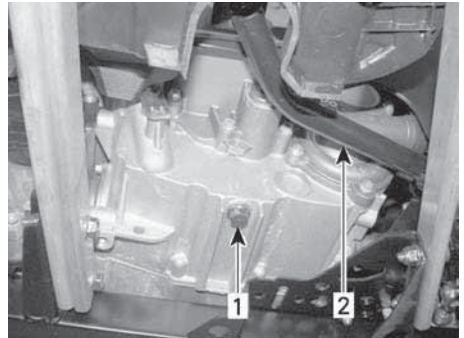
エンジンオイルとオイルフィルターは同時に交換する必要があります。

1. 車両が平面上に停車していることを確認します。
2. エンジンを通常の動作温度まで暖めて、エンジンを停止します。
3. ディップスティックを取り外してください。
4. オイルドレンプラグ周辺を清掃します。
5. オイルドレンプラグの下にドレンパンを置きます。
6. オイルドレンプラグを外します。



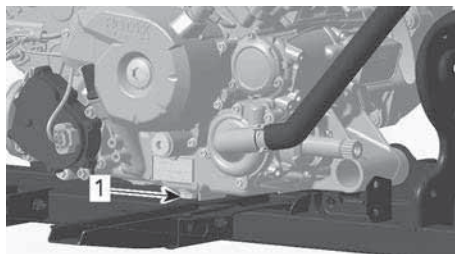
MRモデル

1. ドレンプラグ
2. フレームからアクセス



XMR 1000Rモデル

1. オイルドレンプラグ
2. ブレーキペダル



その他すべてのXMRモデル

1. オイルドレンプラグ
7. 十分時間をかけて、オイルがエンジンおよびオイルフィルターから流れ出るようにしてください。
8. オイルフィルターを交換します。エンジンオイルフィルターの交換のセクションを参照してください。
9. 磁石付きドレンプラグに付着した金属の切粉や残渣を除去します。

注意

ごみの付着はエンジン内部の損傷を示すものです。

10. 新品のガスケットリングをマグネットドレンプラグに取り付けます。

注意

ガスケットリングは絶対に再使用しないでください。必ず新しいものと交換してください。

11. マグネットドレンプラグを取り付け、締め付けます。

締め付けトルク	
M12ドレンプラグ	20 ± 2 Nm (15 ± 1 lbf-ft)
M18ドレンプラグ	30 ± 2 Nm (22 ± 1 lbf-ft)

12. 推奨オイルを適正レベルまでエンジンに補給します。

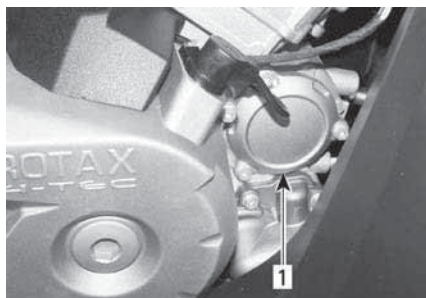
オイル容量については技術仕様を参照してください。

13. エンジンを始動して数分間アイドリングさせます。
14. オイルフィルター部分とオイルドレンプラグ部分から漏れていないことを確認します。
15. エンジンを止めます。
16. しばらく待ってオイルがクランクケース内に循環したあとに、オイルレベルを確認します。
17. 必要に応じて補給します。
18. 現地の環境規制に基づいてオイルを処分してください。

エンジンオイルフィルター

エンジンオイルフィルターの交換

1. 右エンジンカバーを取り外します。
2. オイルフィルターカバーを外します。



1. オイルフィルターのカバー
3. オイルフィルターを取り外して新品のフィルターと交換します。
4. 新しいOリングをオイルフィルターカバーに取り付けます。
5. Oリングおよびフィルター端部にエンジンオイルを塗布します。
6. 新しいフィルターをカバーに取り付けます。
7. オイルフィルターカバーを所定位置にねじ留めします。
8. オイルフィルターカバーのねじを推奨トルクで締め付けます。

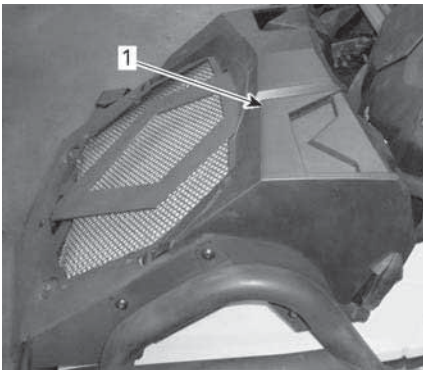
締め付けトルク	
オイルフィルターカバーのスクリーン	10 ± 1 Nm (89 ± 9 lbf-in)

9. エンジン上にこぼれたオイルを拭き取ります。

ラジエーター

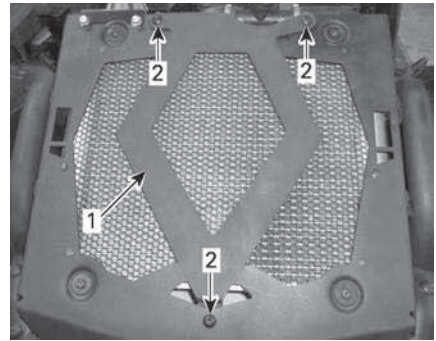
ラジエーターの点検と清掃

1. ラジエーター部に汚れがないか定期的に確認します。



代表的な例

1. ラジエーター
2. ラジエーターカバーを取り外します。ラジエーターカバーの取り外しのセクションを参照してください。
3. ラジエーターとホースに漏れや損傷がないか点検します。
4. 放熱フィンを確認します。放熱フィンはきれいで、ラジエーターの正常な冷却を妨げるような泥や汚れ、落ち葉などの堆積物が付いていない状態でなければなりません。
5. ラジエータープロテクターを取り外します。ラジエータープロテクターの取り外しのセクションを参照してください。



1. ひし形プレート
 2. 留めネジ
6. 堆積物を手でできるだけ取り除きます。付近で散水用のホースを使用できる場合は、ラジエーターフィンですすぎます。

⚠ 注意

放熱フィンが高温のときは、ラジエーターを手で清掃しないでください。ラジエーターを冷ましてから清掃してください。

注意

清掃時に放熱フィンを損傷しないよう注意してください。フィンを損傷するような物 / 工具を使用しないでください。フィンは、効率的な冷却を実現するために意図的に薄くしています。ホースを使うときは、低圧で使用してください。高圧洗浄機を使用しないでください。

7. 認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店、または担当整備士に、クーリングシステムの性能点検を依頼してください。

エンジン・クーラント

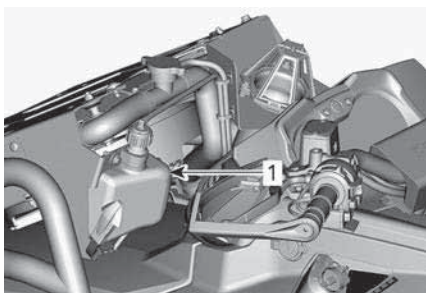
エンジン冷却液レベルの検証

⚠ 警告

冷却液レベルは、エンジンが冷めている状態でチェックしてください。エンジンが熱いときに、冷却液を冷却システムに注ぎ足してはなりません。

1. ラジエーターカバーを取り外します。ラジエーターカバーの取り外しのセクションを参照してください。
2. 車両が水平になっている状態で、クーラントレベルはクーラントリザーバーのMINとMAXのマークの間になければなりません。

20 °C (68 °F) より低い温度でレベルを確認する場合、MIN. マークより若干低くなる場合があります。



1. エンジンクーラントリザーバー
クーラントをクーラントリザーバーに追加した場合は、ラジエーター内のレベルも確認します。

⚠ 警告

やけどを負う危険を避けるため、エンジンがまだ熱いときは圧力キャップを外したり、クーラントドレーンプラグを緩めないでください。

頻繁に冷却液を注ぎ足す必要がある場合、冷却システムに漏れがあるか、エンジンに問題がある可能性があります。認定 Can-Am Off-Road ディーラーまでお問い合わせください。

カバーを閉じるときに干渉しないようクーラントリザーバーホースが正しく取り回されていることを確認します。

クーラントの追加

1. クーラントリザーバーキャップを取り外します。

注記：

ベントの取り回し位置に注意してください。

2. クーラントをMaxのマークまで追加します。燃料を入れすぎは避けません。

注記：

こぼさないように、じょうごを使ってください。

3. クーラントリザーバーキャップを正しく取り付けて、締め付けます。

注意

フロントサービスコンパートメントには物を収納しないでください。

4. ラジエーターカバーを取り付けます。

推奨エンジン冷却液

XPS推奨エンジンクーラント
XPSロングライフプレミッククーラント
推奨のXPSエンジンクーラントが入手できない場合
蒸留水と不凍液の溶液 (蒸留水50%、不凍液50%)

注意

内燃アルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

エンジンクーラントの交換

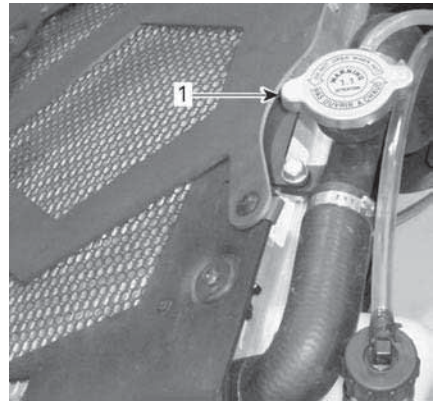
⚠ 警告

やけどを負う危険を避けるため、エンジンがまだ熱いときは圧力キャップを外したり、クーラントドレンプラグを緩めないでください。

注意

フロントサービスコンパートメントには物を収納しないでください。

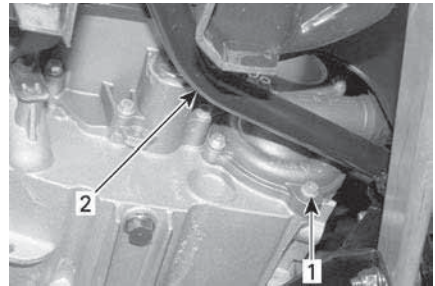
1. ラジエーターキャップを押しながら反時計方向に回して取り外します。



代表的な例

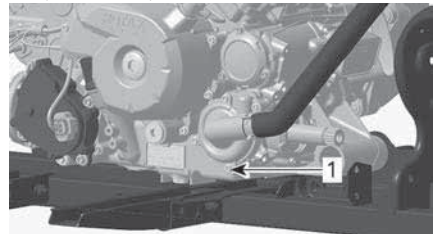
1. ラジエーターキャップ
2. ウォーターポンプのクーラントドレンプラグを緩め、クーラントを適切な容器に抜き取ります。

注記：
クーラントドレンプラグを完全に外さないでください。



代表例 - 1000Rエンジン

1. クーラントドレンプラグ
2. ブレーキペダル



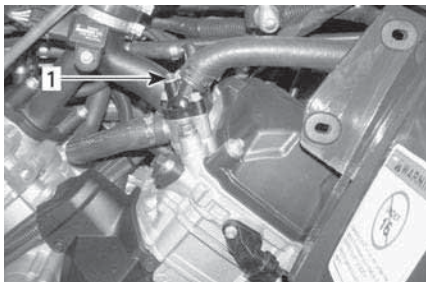
代表例 - 570、650および850エンジン

1. クーラントドレンプラグ
3. 右側サイドパネルを取り外します。

- サーモスタットハウジング上側のブリードねじを外します。

注記：

ブリードねじにアクセスするために、CVTフィルターアウトレットを取り外します。



- ブリードねじ
- システムからクーラントを完全に抜き取ります。
- クーラントドレンプラグを取り付けます。規定のトルクで締め付けてください。

締め付けトルク	
ドレンプラグ	10 ± 1 Nm (89 ± 9 lbf-in)

- クーラントがサーモスタットハウジングの穴から出るまで、クーラントをラジエーターに補充します。
- ブリードねじを取り付けます。
- ラジエーターへの補充を完了します。
- クーラントリザーバー内のレベルを確認し、必要に応じて補充します。
- ラジエーターキャップを外したままでエンジンをアイドリングさせます。必要に応じてクーラントをゆっくり追加します。
- このとき、エンジンが通常の動作温度に達するまで待ちます。
- スロットルレバーを2~3回押し、必要に応じてクーラントを追加します。
- 取り外しとは逆の手順でラジエーターキャップを取り付けます。

- 漏れがないかすべての接続部を点検し、リザーバー内のクーラントレベルを確認します。

マフラーおよびスパークアレスター

マフラースパークアレスターの清掃 - MRモデル

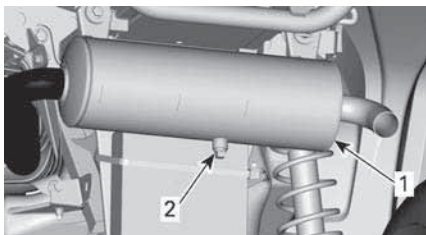
定期的なマフラーを清掃し、堆積したカーボンを除去する必要があります。

- 換気のよい場所を選び、マフラーが冷えていることを確認します。

⚠ 警告

密閉された場所でエンジンを絶対に作動させないでください。エキゾーストシステムが大変高温になるため、エンジンを作動させただ直後にこの作業を行わないでください。周囲に可燃物がないことを確認してください。ゴーグルとグローブを着用してください。排気システムのパージを行っている間は車両の後ろに立たないでください。適用されるすべての法令を順守してください。

- シフトレバーをパーキング位置にします。
- エンジンを停止してマフラーを冷まします。
- マフラーの清掃用プラグを取り外します。



代表的な例

- マフラー
- 清掃用プラグ
- エンジンを始動します。

6. エンジン回転数を瞬間的に数回上げて、溜まっているカーボンのマフラーから排出します。
7. エンジンを停止してマフラーを冷まします。
8. 清掃用プラグを取り付けます。

マフラースパークアレスターの清掃と点検 - Xmrモデル

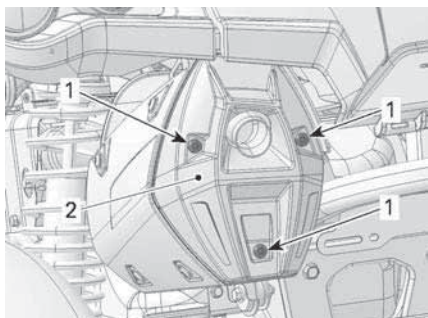
⚠ 注意

排気システムを冷ましてから清掃と点検を進めます。

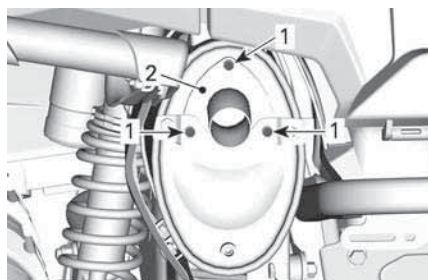
1. マフラーカバーを外します。固定ねじは処分します。

注意

ねじ類の取り外しにインパクトツールは使用しないでください。

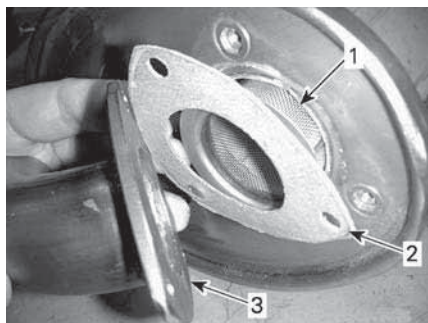


1. マフラーカバー
2. 留めネジ
2. テールパイプ固定ねじを取り外して処分します。



代表的な例

1. スクリュー
2. テールパイプ
3. エキゾーストテールパイプ、ガスケット（処分）、およびスパークアレスターを取り外します。

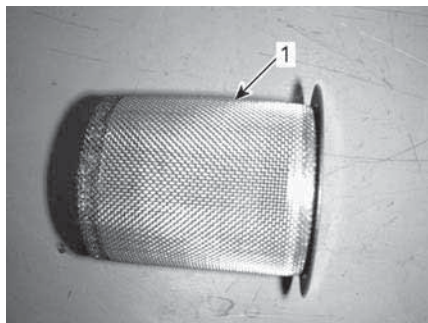


代表的な例

1. スパークアレスター
2. ガスケット
3. エキゾーストテールパイプ
4. ブラシを使ってスパークアレスターからカーボン堆積物を取り除きます。

注意

柔らかい金属ブラシを使用し、スパークアレスターメッシュを損傷させないように注意してください。



1. スパークアレスタの清掃
5. スパークアレスタのメッシュに損傷がないか点検します。必要に応じて取り換えます。

注記：

スパークアレスタのスクリーン交換は、損傷時のみ必要です。

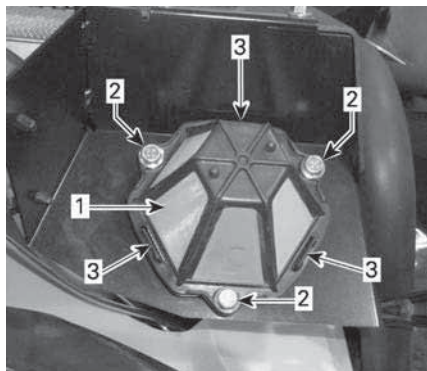
6. マフラー内のスパークアレスタチャンバーを点検します。必要に応じて異物を除去します。
7. 新品のガスケット、テールパイプおよび固定ねじを取り付けます。
8. 固定ねじを使用してマフラーカバーを取り付けます。規定のトルクで締め付けてください。

締め付けトルク	
テールパイプ ボルト	$11 \pm 1 \text{ Nm}$ (97 ± 9 lbf-in)
カバースクリュー	

CVTエアフィルター

CVTエアフィルターの取外し

1. ラジエーターカバーを取り外します。ラジエーターカバーの取り外しのセクションを参照してください。
2. 3つのボルトを取り外してタブを押し、CVTエアフィルターを取り外します。



1. CVTエアフィルター
2. スクリュー
3. タブ

CVTエアフィルターの清掃

1. エアフィルタークリーナーをフィルターの内側および外側に吹き付けて、メーカーの説明に従います。
2. フィルターを完全に乾燥させます。



1. CVTエアフィルター

CVTエアフィルターの取り付け

1. 3つのタブがロックされるまで、CVTエアフィルターを慎重に押しします。
2. ボルトで固定します。規定トルクで締め付けます。

締め付けトルク	
CVTエアフィルターのボルト	$2.5 \pm 0.5 \text{ Nm}$ (22 ± 4 lbf-in)

3. ラジエーターカバーを取り付けます。

ギアボックス

ギヤボックスオイルレベルの確認

注意

オイルレベルを確認し、必要に応じて補充します。
燃料を入れすぎてはいけません。
オイルレベルが不適切な状態で使用を続けると、ギヤボックスに重大な損傷を与える可能性があります。
こぼれたオイルは必ずふき取ってください。

車両を平面上に停車します。

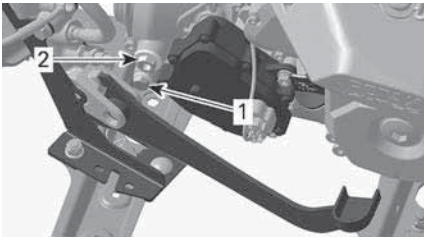
NEUTRALポジションを選択します。

パーキングブレーキをかけます。

注記：

エンジンが冷めて作動していないときにギヤボックスのオイルレベルを確認します。

ギヤボックスのオイルレベルプラグを取り外します。



1. ドレンプラグ
2. オイルレベルプラグ

オイルは、オイルレベル穴の下側と同じ高さである必要があります。

必要に応じて、ギヤボックスのオイルがオイルレベル穴から流れ出すまで補充します。

推奨ギヤボックスオイル

XPS オイルは、このギアボックスの潤滑要件を満たすために特別に配合されています。BRP では、この XPS

オイルの使用を強く推奨していません。

XPS推奨ギヤボックスオイル

XPS 75W140合成ギヤオイル

推奨のXPSギヤボックスオイルが入手できない場合

潤滑油に関する以下の仕様を満たすかこれを超えるギヤボックスオイルを使用します。

- 75W 140 API GL-5 合成ギアオイル

注意

整備時に、別のタイプのオイルを使用しないでください。

ギヤボックスオイルの交換

ギヤボックスオイルの抜き取り

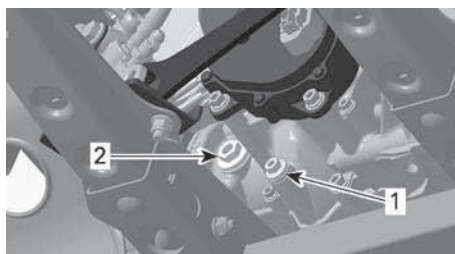
1. 車両が平面上に停車していることを確認します。
2. エンジンを通常の動作温度まで暖めて、エンジンを停止します。

注記： エンジンのアイドルリングでは不十分であるため、車両のギヤボックスを作動させる必要があります。

3. ドレンプラグとレベルプラグの周辺を清掃します。

⚠ 注意

ギヤボックスおよびギヤボックスオイルは、非常に高温になることがあります。



1. ドレンプラグ
2. オイルレベルプラグ
4. ドレンプラグとレベルプラグの下にドレンパンを置きます。
5. マグネット式ドレンプラグを取り外します。
6. シーリングリングを廃棄します。
7. オイルレベルプラグとそのOリングを取り外します。
8. ギヤボックスからオイルが流れ出るまで待ちます。

注記：

ギヤボックスからオイルを完全に抜くため、左フットレストの下にジャッキを置き、車両を右側に傾けます。ギヤボックスが空になったら、ドレンプラグを取り付けて車両を地面に降ろします。

9. 磁石付きドレンプラグに付着した金属の切粉や残渣を除去します。

注意

ごみの付着はギヤボックス内部の損傷を示すものです。

10. 新品のシーリングワッシャーをマグネットドレンプラグに取り付けます。

注意

シーリングワッシャーは絶対に再使用しないでください。必ず新しいものと交換してください。

11. マグネットドレンプラグを取り付け、締め付けます。

締め付けトルク

磁気ドレンプラグ

20 ± 2
N·m (15 ± 1
lbf-ft)

12. 現地の環境規制に基づいてオイルを処分してください。

ギヤボックスオイルの補充

1. オイルレベルプラグを外した状態で、オイルが穴の下側に達するまで、オイルレベル穴から推奨ギヤボックスオイルを充填します。
2. オイルレベルプラグをOリングとともに取り付けます。

締め付けトルク

オイルレベルプラグ

5 ± 0.6 Nm
(44 ± 5 lbf-in)

スロットルケーブル

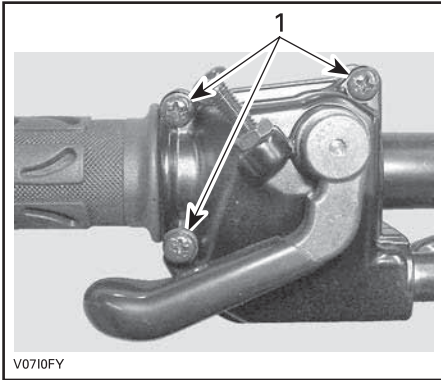
スロットルケーブルの潤滑

スロットルケーブルは、シリコンベースの潤滑剤または同等品で潤滑する必要があります。

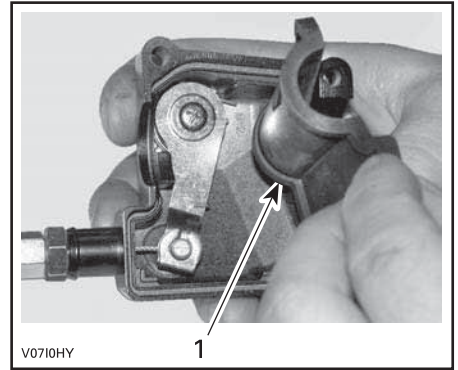
⚠ 警告

必ずシリコンベースの潤滑剤を使用してください。他の潤滑剤（水溶性潤滑剤など）を使用すると、スロットルレバー/ケーブルが固着したり硬くなる可能性があります。

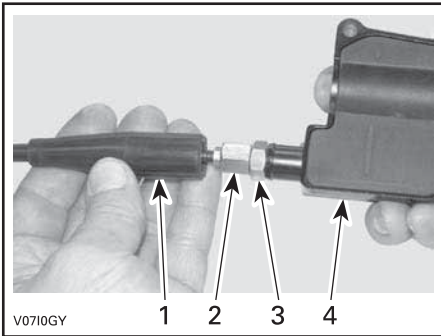
1. ハウジングを分離します。



1. これらのスクリーを取り外します
2. ラバープロテクターをスライドさせて、スロットルケーブルアジャスターを露出させます。

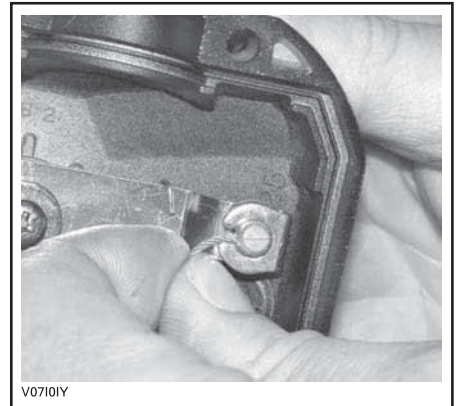


1. インナーハウジングプロテクター
5. スロットルレバーハウジングからケーブルを取り外します。

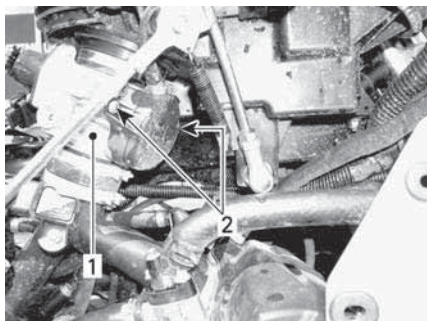


1. ケーブルプロテクター
2. スロットルケーブルアジャスター
3. ロッキングナット
4. スロットルレバーハウジング
3. スロットルケーブルアジャスターをねじ込みます。
4. インナーハウジングプロテクターを取り外します。

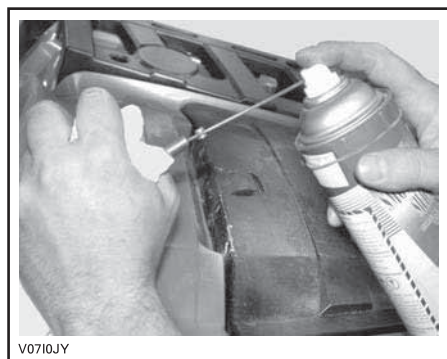
注記：
 ケーブルをクリップスロットにスライドさせて入れ、クリップからケーブル端部を取り外します。



6. スロットルボディサイドカバーを取り外します。



1. スロットルボディ
2. サイドカバーのねじ
7. 潤滑剤缶のニードルをスロットルケーブルアジャスターの端部に挿入します。
8. スロットルケーブルアジャスター周辺に布をおいて、潤滑剤が飛び散るのを防ぎます。

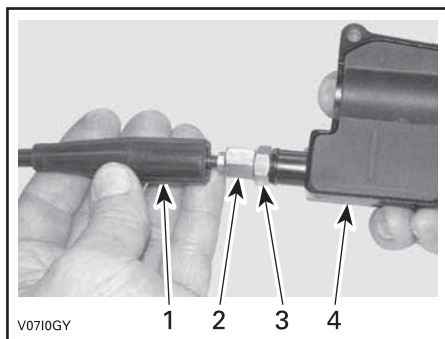


代表的な例

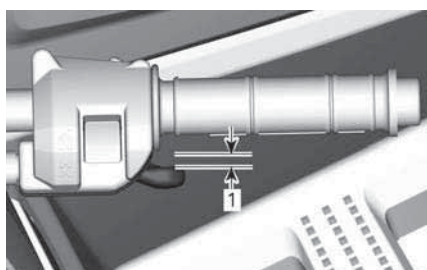
9. スロットルケーブルのスロットルボディ端から流れ出るまで、潤滑剤を加えます。
10. ケーブルを再び取り付けて調整します。

スロットルケーブルの調整

1. ラバープロテクターをスライドさせて、スロットルケーブルアジャスターを露出させます。



1. ケーブルプロテクター
2. スロットルケーブルアジャスター
3. ロッキングナット
4. スロットルレバーハウジング
2. ロックナットを緩めてからアジャスターを回し、スロットルレバーの適切な遊びが得られるようにします。
3. スロットルレバー先端でスロットルの遊びを測定します。



1. 2 mm (0.079 in)
4. ロックナットを締め付けてプロテクターを取り付けます。
5. シフトレバーがパーキング位置の状態、エンジンを始動します。
6. ハンドルバーを右いっぱいに戻し、その後左いっぱいに戻すことで、スロットルケーブルが正しく調整されているか確認します。エンジン回転数が増えた場合は、スロットルレバーの遊びを再度調整します。

スパークプラグ

スパークプラグへのアクセス
サイドパネルを取り外します。

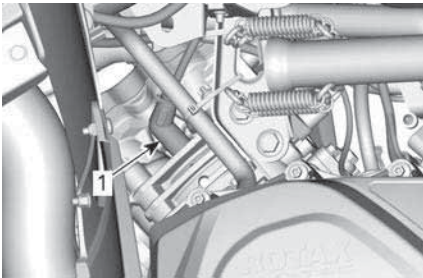
スパークプラグケーブルを外します。

スパークプラグの取り外し

スパークプラグを1回転回して緩めます。

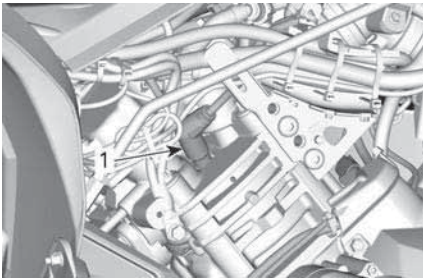
可能な場合は、圧縮エアでスパークプラグとシリンダーヘッドを清掃します。

スパークプラグソケットを使用してスパークプラグを完全に緩めて、取り外します。



左側 — フロントシリンダー

1. スパークプラグ



右側 — リアシリンダー

1. スパークプラグ

スパークプラグの取り付け

取り付ける前に、シリンダーヘッドやスパークプラグの接触面に汚れが付いていないことを確認します。

すきまゲージを使用して、スパークプラグのギャップを設定します。

エンジン	ギャップ
570 650	0.8~0.9 mm (0.031~0.035 in)
850 1000R	0.7~0.9 mm (0.028~0.035 in)

銅ベースの焼き付き防止潤滑剤をスパークプラグのねじ部に少量塗布します。

スパークプラグをシリンダーヘッドに手でねじ込み、トルクレンチと適切なソケットを使用して締め付けます。

⚠ 注意

スパークプラグを締め付けすぎないでください。エンジンが損傷する場合があります。

締め付けトルク

570 650	20 ± 2.4 Nm (15 ± 2 lbf-ft)
850 1000R	11 ± 1 Nm (97 ± 9 lbf-in)

CVT カバー

一部のイラストは、分かりやすいようにエンジンが車両から取り除かれた状態で表示されています。手順の中には、実行する際にエンジンを車両から取り外す必要がないものもあります。

警告

決してエンジン作動中に CVT には触れないでください。CVT カバーを取り外した状態では絶対に車両を運転しないでください。

注意

エンジンが冷めてからカバーを取り外してください。

注意

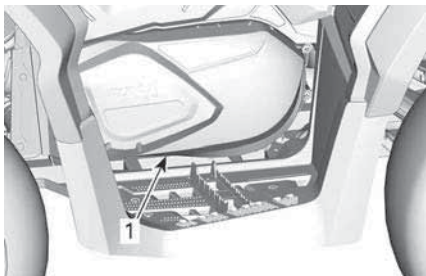
この CVT には潤滑剤は塗布されていません。ドライブプーリーベアリング以外のコンポーネントには絶対に潤滑剤を塗布しないでください。

CVTカバーへのアクセス

CVTカバーは車両の左側にあります。

次の部品を取り外します。

- 左側パネルおよび拡張パネル
- 左側フットボードパネル



代表的な例

- 1. CVT カバー

CVT カバーの取外し

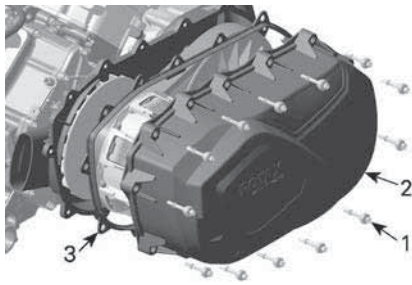
1. CVTカバーのインレットおよびアウトレットエアクーリングダクトを切り離します。
2. すべてのCVTカバー固定ボルトを取り外します。

3. 取り外し作業の間カバーを支えておくため、中央上部のねじは最後に取り外します。

注意

CVT カバーボルトを取り外そうとして、インパクトツールを使用しないでください。

4. CVT カバーとそのガスケットを取り外します。



1. CVTカバーボルト
2. CVT カバー
3. ガスケット

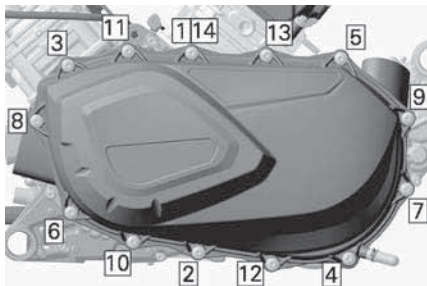
CVT カバーの取り付け

1. カバーをエンジンに配置します。
2. 中央上部のねじを最初に取り付けます。

注意

CVTカバーボルトの取り付けにインパクト工具を使用しないでください。

3. 次の順序に従って、CVT カバーボルトを締め付けます。



締め付けトルク	
CVT カバー ボルト	7 ± 0.8 Nm (62 ± 7 lbf-in)

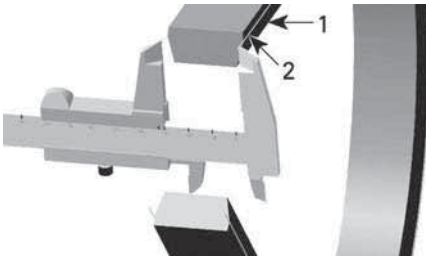
- インレットおよびアウトレットエアクリーニングダクトを取り付けます。

駆動ベルト

ドライブベルトの点検

- ドライブベルトに割れ、ほころび、または異常な摩耗がないか点検します。必要に応じて交換します。
- コードレベルでドライブベルト幅を確認します。ベルトが仕様範囲外であれば交換します。

ドライブベルトの幅	
使用限度	30 mm (1.181 in)



- 駆動ベルト
- ドライブベルト内のコード

ドライブベルトの取り外し

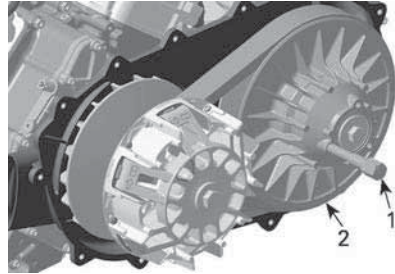
注意

ドライブベルトに不具合が生じた場合は、CVT、カバー、ドレンリザーバーおよびエアアウトレットを必ず清掃し、異物がないか点検してください。

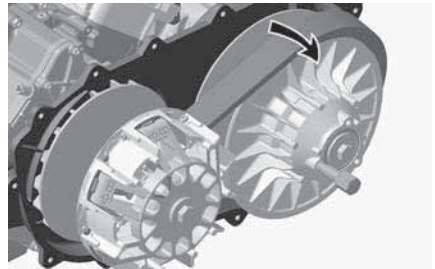
- CVTカバーを取り外します。
- ドリブンプーリーを開きます。

プーラー/ロック用工具 (529036098)	
--------------------------------	--

- ドリブンプーリーのねじ付き穴に工具をねじ込んで締め付け、プーリーを開きます。



- プーラー/ロック用工具
- ドリブンプーリーの固定シープ
- ベルトを、固定シープの上端の上をスライドさせて取り外します。

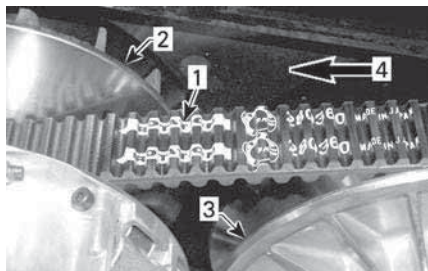


ドライブベルトの取り付け

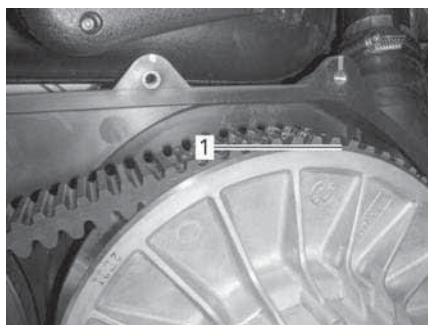
取り付けは取り外し手順の逆です。次の点に注意を払ってください。

ドライブベルトを適切な回転方向で取り付けると、ドライブベルトの寿命が最長になります。

- ベルトの矢印が上から見たときに車両前方を指すように、ドライブベルト取り付けてください。



1. ベルトの矢印
 2. ドライブプーリー (フロント)
 3. ドリブプーリー (リヤ)
 4. 回転方向
2. ドライブベルトの外面にある歯の一番低い部分が、ドリブプーリーの端部と面一になるまで、ドリブプーリーを回します。



1. 歯の一番低い部分がドライブベルト外面と面一になっている状態

バッテリー

⚠ 注意

車両に取り付けたままで絶対にバッテリーを充電しないでください。

これらの車両にはVRAバッテリー (Valve Regulated Lead Acid、「制御弁式鉛蓄電池」) が搭載されています。これはメンテナンスフリーのバッテリーであり、電解液レベルを調整するために水を追加する必要がありません。

注意

バッテリーシーリングキャップを取り外さないでください。

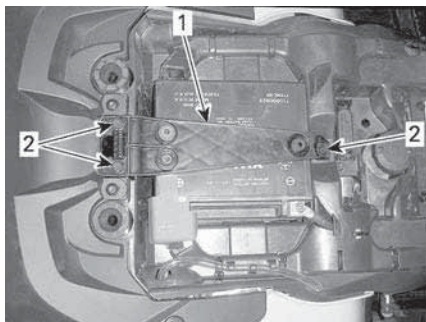
バッテリーの取り外し

1. 最初に黒 (-) のケーブルを、そして赤 (-) のケーブルを外します。

注意

最初に黒の (-) バッテリーケーブルを外します。

2. 固定ボルトとバッテリー固定ストラップを取り外してから、バッテリーをフレームから引き出します。



1. バッテリー固定ストラップ
2. 留めネジ

バッテリーの清掃

1. 重曹と水の溶液で、バッテリー、バッテリーケース、ケーブルおよびバッテリーポストを清掃します。
2. 硬いワイヤーブラシを使ってバッテリーケーブルターミナルおよびバッテリーポストの腐食を取り除きます。

バッテリーの取り付け

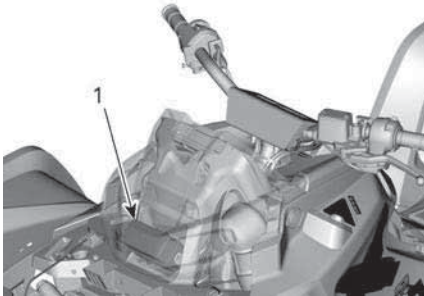
1. 取り付けは取り外しと逆の順序で行います。

注意

必ず赤の (+) バッテリーケーブルを最初に接続します。

ヒューズ**ヒューズの位置**

メインヒューズボックスは、ゲージサポートの下にあります。

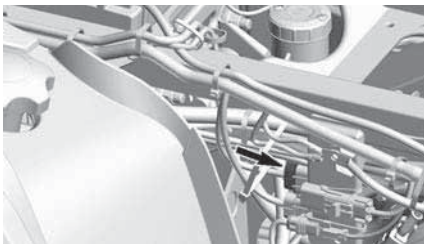


1. フロントヒューズボックス

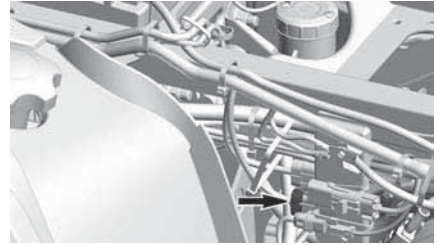
注記：

ヒューズボックスカバーの内部を確認して、ヒューズの位置を把握します。

バッテリー/電圧レギュレーターヒューズホルダーは、右側パネル後部の後方にあります。



DPSヒューズホルダーは、右側パネル後部の後方にあります。

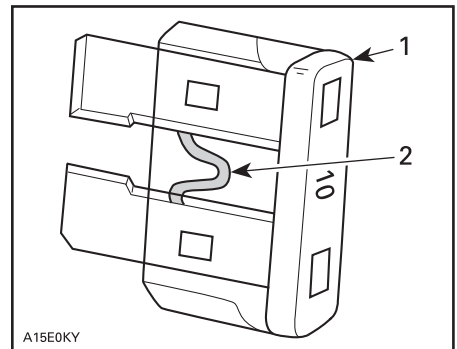
メインヒューズボックス詳細**メカニカル式スロットル制御 (MTC) 装備モデル**

バッテリー/電圧レギュレーターヒューズ	40 A
DPS ヒューズ	40 A

ヒューズの点検

フィラメントが溶けているか点検します。

フィラメントが溶断している場合は、損傷したヒューズを交換します。



A15E0KY

代表的な例

1. ヒューズ
2. 溶けていないか確認

注意

本来のヒューズより定格値の高いものを使わないでください。重大な損傷の原因になることがあります。

いいえ。	説明	定格
RY1	冷却ファンリレー	—
RY2	メインリレー	—
RY3	アクセサリリレー	—
RY4	燃料ポンプリレー	—
RY5	ライトリレー	—
RY8	ブレーキ	—
F4	クラスター/リレー/DPS	5A
F5	インジェクター/イグニッションコイル	5A
F6	インターコネクター	5A
F7	ウィンチ	5A
F8	D.E.S.S	5A
F9	クーリングファン (リセット可能)	25A
F11	ライト	30A
F12	DCアウトレット	15A
F14	アクセサリ	15A
F15	燃料ポンプ	5A

電子式スロットル制御 (ETC) 装備モデル

いいえ。	説明	定格
RY1	冷却ファンリレー	—
RY2	メインリレー	—
RY3	ライトリレー	—
RY5	アクセサリリレー	—
RY6	ブレーキリレー	—
F1	スタートスイッチ/クラスタ	10A

F2	ライト	30A
F3	ACC 1	20A
F4	ACC2	20A
F5	燃料ポンプ/インジェクター/イグニッションコイル/EVAP	10A
F6	クラスター/リレー/DPS/スピードリミッター	10A
F7	ブレーキライト/テールライト	10A
F8	D.E.S.S/ECM	10A
F9	2WD / 4WD	10A
F12	クーリングファン (リセット可能)	25A

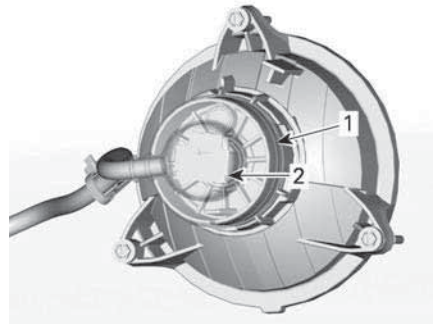
ライト – MR 570およびX mr 570

ヘッドライトバルブの交換

注意

寿命が短くなるので、ハロゲン電球のガラス部分を決して素手で触らないでください。ガラス部分を触ってしまった場合、イソプロピルアルコールで拭き取れば、バルブの表面に膜を残さずに済みます。

1. カバーを取り外します。
2. コネクターのプラグを引き抜きます。
3. バルブを取り外します。

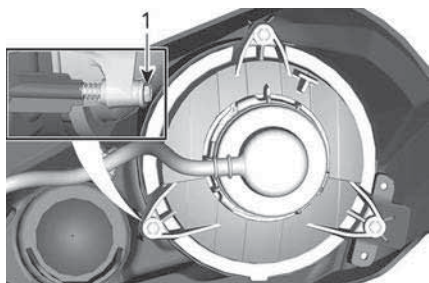


フロントフェンダー内部

1. カバー
2. コネクター
4. 取り外した順序の逆で部品を適切に取り付けます。
5. ヘッドライトの動作を確認します。

ヘッドライトビームの光軸調整

調整ノブを回し、ビームの高さと横方向の向きを仕様値に調整します。



ロービーム

1. 調整ノブ

テールライト/ブレーキライトバルブの交換

1. バルブからコネクターを外します。
2. ライトバルブを反時計方向に回して、テールライトから外します。



3. バルブソケットをテールライトから取り外します。

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。

ライト - X mr 650、850および1000R

ヘッドライトバルブの交換

⚠ 警告

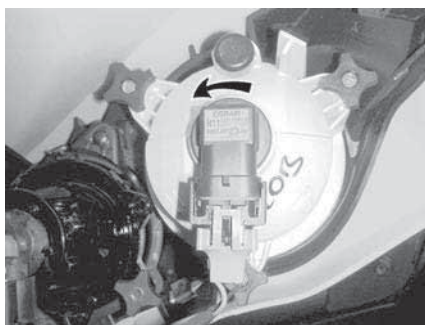
不適切なバルブの取り付けは、ヘッドライトハウジングからの脱落の原因となる場合があります。こうした状況では、この部分にあるヘッドライトハウジング、レンズなどの部品とバルブが接触し、部品の溶解や火災などの危険を引き起こす場合があります。

注意

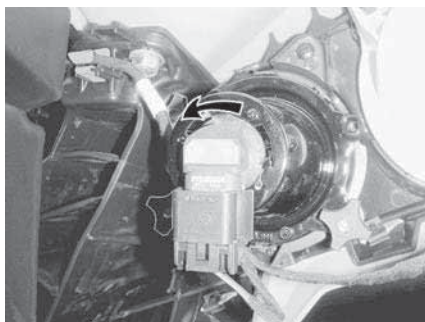
寿命が短くなるので、ハロゲン電球のガラス部分を決して素手で触らないでください。ガラス部分を触ってしまった場合、イソプロピルアルコールで拭き取れば、バルブの表面に膜を残さないので大丈夫です。

バルブからコネクターを外します。

ライトバルブを反時計方向に回して、ライトハウジングから外します。



フロントフェンダー内部



バルブを抜き取ります。

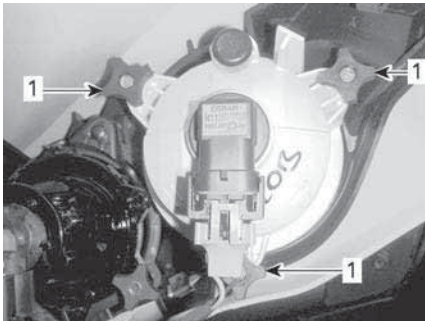
取り外した順序の逆で部品を適切に取り付けます。

ヘッドライトの動作を確認します。

ヘッドライトビームの光軸調整

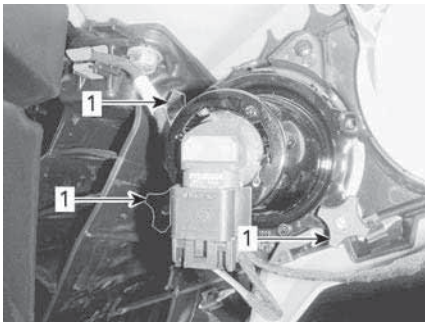
調整ノブを回して、希望のビーム高さに調整します。

注記：
ヘッドライトを均等に調整します。



ロービーム調整

1. 調整ノブ



ハイビーム調整

1. 調整ノブ

テールライトバルブの調整

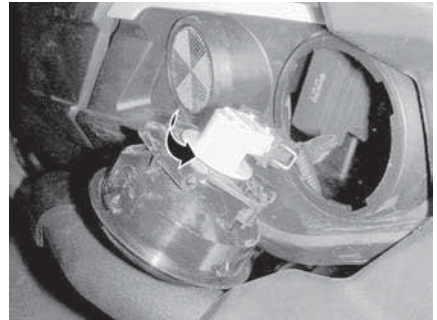
テールライトを反時計方向に回して、テールライトハウジングから取り外します。



テールライトをその位置から引き抜きます。

バルブからコネクタを外します。

ライトバルブを反時計方向に回して、テールライトから外します。



バルブソケットをテールライトから取り外します。

取り付けは取り外しと逆の順序で行います。

ドライブシャフトベローズおよびプロテクター

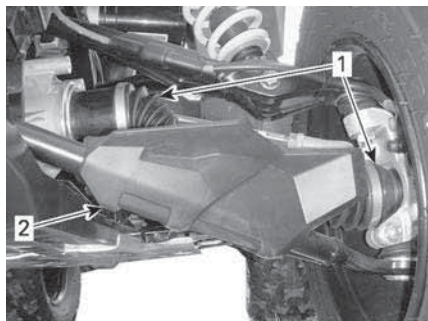
ドライブシャフトベローズおよびプロテクターの点検

ドライブシャフトプロテクターとベローズの状態を目視点検します。

プロテクターに損傷やシャフトとの擦れがないか確認します。

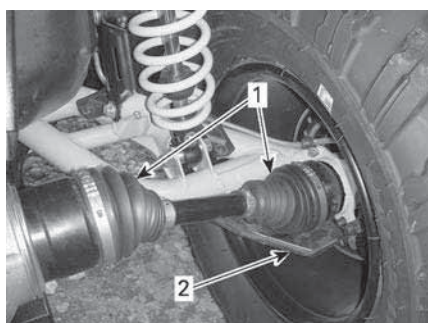
ベローズに亀裂、裂け、グリース漏れなどがなければ確認します。

必要に応じて損傷した部品を修理または交換します。



代表例 - 車両前部

1. ドライブシャフトベローズ
2. ドライブシャフトプロテクター



代表例 - 車両後部

1. ドライブシャフトベローズ
2. ドライブシャフトプロテクター

ホイールベアリング

ホイールベアリングの点検

1. 水平面に車両を置いてください。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. 車両を持ち上げ、支えます。
4. 車両をジャッキスタンドに固定します。
5. 上端からホイールを押し引きして、遊びを確認します。
6. 異常な遊びがある場合は、認定 Can-Am Off-Road デイラーにご相談ください。



代表的な例

車輪およびタイヤ

タイヤ空気圧

⚠ 警告

タイヤ空気圧は、車両のハンドリング性能および安定性に大きく影響します。タイヤの空気圧が不十分な場合はタイヤが収縮する原因となり、ホイールを中心に回転する場合があります。過度の圧力は、タイヤの破裂につながる可能性があります。常に推奨圧力に従ってください。タイヤ空気圧を絶対に最低圧力未満にしないでください。タイヤがリムから外れる原因となります。

車両を使う前にタイヤが冷たい状態で空気圧を確認します。タイヤ圧は、温度と高度で変化します。これらの条件のうちひとつでも変更した場合は、圧力を再確認します。

適切なタイヤの空気圧については、タイヤ圧力と最大荷重のラベルを参照してください。

注記：

タイヤはオフロード専用に設計されたものですが、パンクする可能性があります。そのため、タイヤゲージ、空気入れ、および修理キットを携行するよう推奨します。

タイヤの点検

タイヤに損傷や摩耗がないか確認します。必要に応じて交換します。

警告

タイヤの位置は交換しないでください。フロントタイヤとリアタイヤはサイズが異なります。左側および右側のタイヤのトレッドパターンは、方向性が異なっています。

タイヤの交換

タイヤの交換は、認定 Can-Am Off-Road ディーラー、修理店または担当整備士に依頼してください。

警告

元のタイヤと同じ種類およびサイズのタイヤとのみ交換します。一方向スレッドパターンのタイヤの場合は、タイヤが正しい方向に回転するよう取り付けます。タイヤは、熟練した整備士がタイヤ業界の基準と工具に基づいて交換する必要があります。

ホイールの取外し

1. 水平面に車両を置いてください。
2. 4WDモードにします。
3. パーキングブレーキをかけます。
4. ラグナットを緩めてから車両を持ち上げます。
5. 車両をジャッキスタンドに固定します。
6. ラグナットを取り外してからホイールを取り外します。

ホイールの取付け

1. 取り付け時は、ねじ部に焼き付き防止潤滑剤を塗布するよう推奨します。
2. タイヤが一方向性のものである場合は、タイヤの回転に合わせてホイールを取り付けてください。
3. ラグナットを対角順に慎重に締め付けてから、規定のトルクで締め付けます。

締め付けトルク

ホイールラグ
ナット

80 ± 5 Nm
(59 ± 4
lbf-ft)

注記：

場合によっては、今後の取り外しを容易にするために、ホイールラグナットを取り外して焼き付き防止剤を塗布する必要があります。これは、車両を塩水環境や泥地で使用するとき特に重要です。一度に1つのナットを取り外し、潤滑してから再度締め付けます。

注意

必ずホイールに対して推奨されているホイールラグナットを使用します。別のラグナットを使用するとリムまたはスタッドが損傷する可能性があります。

サスペンション**フロントサスペンションの潤滑**

1. グリスフィッティングからフロントスタビライザーパーブッシュとサスペンションアームを潤滑します。

XPS合成サスペンショングリース

リアサスペンションの潤滑

1. グリスフィッティングからリアスタビライザーパーリンクとピボットブッシュを潤滑します。

XPS合成サスペンショングリース

サスペンションの点検

問題が見つかった場合は、認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店または担当整備士にご相談ください。

ショックアブソーバー

1. ショックアブソーバーにオイル漏れやその他の損傷がないか点検します。
2. ファスナーが固く締まっているか点検します。
3. 必要に応じて認定 Can-Am Off-Road デイラーまでお問い合わせください。

ボールジョイント

1. 水平面に車両を置いてください。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. 車両を持ち上げます。
4. 車両をジャッキスタンドに固定します。
5. ボールジョイントベローズに亀裂がないか点検します。
6. 上端および下端からホイールを押し引きして、遊びを確認します。
7. 異常な遊びがある、またはブーツに亀裂がある場合は、認定 Can-Am Off-Road デイラーにご相談ください。



代表的な例

⚠ 警告

ベローズに亀裂があったり異常な遊びがある場合は、ボールジョイントを交換しなければなりません。

フロントサスペンションアーム

1. サスペンションアームに亀裂、曲がり、またはその他の損傷がないか点検します。
2. 必要に応じて認定 Can-Am Off-Road デイラーまでお問い合わせください。

リアトレーリングアーム

1. トレーリングアームにひずみ、亀裂または曲りがないか確認します。
2. 問題が見つかった場合は、認定 Can-Am Off-Road デイラーにご相談ください。

ステアリング

タイロッドエンドの点検

1. 水平面に車両を置いてください。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. 車両を持ち上げます。
4. 車両をジャッキスタンドに固定します。
5. タイロッドベローズに亀裂がないか点検します。

6. 前側エッジまたは後ろ側エッジからホイールを押し引きして、遊びを確認します。
7. 異常な遊びがある、またはベローズに亀裂がある場合は、認定Can-Am Off-Roadディーラーにご相談ください。

⚠ 警告

ベローズに亀裂があったり異常な遊びがある場合は、タイロッドエンドを交換しなければなりません。

ブレーキ

ブレーキオイルリザーバーのレベル

注意

密閉容器に入っているDOT 4ブレーキ液のみを使用してください。古いまたはすでに開けられた容器からブレーキ液を供給しないこと。

車両を水平面に置き、リザーバー内のブレーキオイルが適正レベルを確認します。レベルはMIN.マーク以上でなければなりません。

必要に応じて、液を追加してください。燃料を入れすぎてはいけません。

取り外す前に、フィルターキャップを清掃してください。

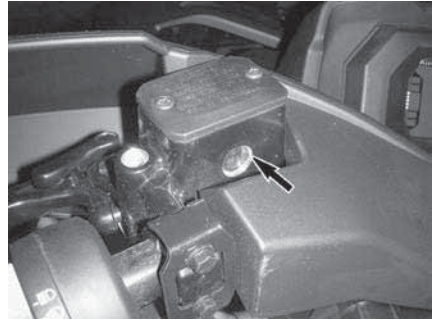
注記：

液量が少ない場合、液漏れやブレーキパッドの摩耗が生じている可能性があります。認定Can-Amディーラーにお問い合わせください。

フロントブレーキリザーバーレベルの確認

1. ステアリングを直線位置にしてリザーバーを水平にします。
2. ブレーキオイルのレベルの液面を確認します。オイルが窓の上部に

- 達するとリザーバーが満杯であることを意味します。
3. レバーの起動状態を目視検査します。
4. 亀裂、裂け目などがなければ確認してください。損傷している場合は交換します。



代表的な例

ブレーキペダルオイルリザーバー

車両が水平になっている状態で、ブレーキオイルはブレーキオイルリザーバーのMINとMAXのマークの間になければなりません。

注意

フロントサービスコンパートメントには物を収納しないでください。

ブレーキ液の継ぎ足し

1. フィラーキャップを清掃します。

⚠ 警告

ブレーキシステムの汚れを防止するため、フィルターキャップを清掃してから取り外します。

2. リザーバーキャップを取り外します。
3. 必要に応じてきれいなじょうごを使用してオイルを追加します。燃料を入れすぎてはいけません。

注意

ブレーキオイルは、プラスチックや塗装表面に損傷を与える可能性があります。こぼれたオイルは拭き取ってください。

- リザーバーキャップを元通りに取り付けます。

注記：

ファイラーキャップダイアフラムがキャップの中に押し込まれていることを確認してからブレーキ液リザーバーを閉めます。

- フロントリザーバーに、スクリューを規定のトルクで締め付けます。

締め付けトルク

ブレーキオイルリザーバースクリュー	1.3 ± 0.1 Nm (12 ± 1 lbf-in)
-------------------	-----------------------------------

推奨されるブレーキ液

必ず DOT 4 の仕様を満足するブレーキオイルだけを使用してください。

警告

ブレーキシステムへの重大な損傷を避けるため、補充の際に推奨オイル以外のオイルを使用したり、異なるオイルを混合したりしないでください。

ブレーキシステムの点検

警告

ブレーキオイルの交換、またはブレーキシステムのメンテナンスや修理は、認定 Can-Am Off-Road デイラーが実施しなければなりません。

注意

車両を長時間使用した後はブレーキが非常に熱くなっているため、やけどを負う可能性があります。ブレーキが冷めるまで待ってください。

ブレーキの点検、メンテナンスおよび修理は、認定 Can-Am Off-Road デイラーが実施しなければなりません。

- ただし、ディーラーを訪れる前に下記のことを確認してください。
 - ブレーキ液レベル
 - ブレーキシステムのオイル漏れ
 - ブレーキの汚れ

車両のお手入れ

使用後のお手入れ

下記条件で車両を使用したときは必ず、車両の清掃と保護のセクションの推奨事項に従ってきれいな水で車両を洗浄してから、車両およびそのコンポーネントを保管します。

- 泥地条件
- 塩水環境

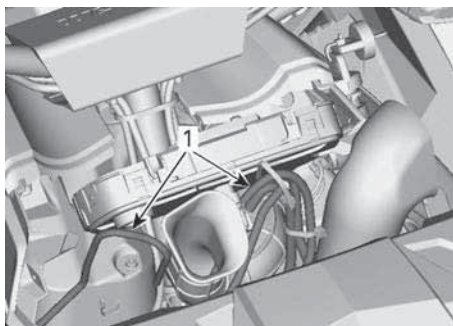
注記：

塩水環境では、金属部品を保護することも推奨しています。

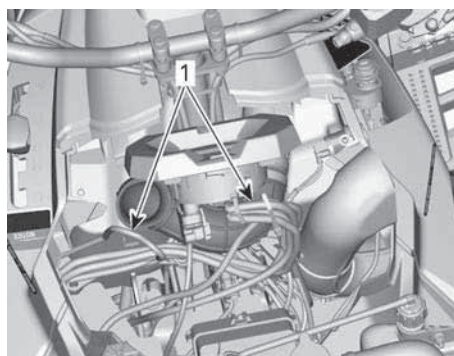
XPS防錆潤滑剤または同等品

注意

エアフィルターハウジングにゲージサポートを取り付けるときは、すべてのベントホースがエアダクトに近い位置で正しく取り回されていることを確認します。



1000Rモデル



その他の全モデル

車両の清掃と保護

注意

車両の洗浄に高圧洗浄機は絶対に使用しないでください。水圧を低めて使用してください(散水用ホースのように)。

泥や異物が堆積したり、摩耗や干渉、腐食を促進させる可能性がある特定の部位に注意してください。

車両を石鹼水で洗います。

注意

ポリプロピレン製部品を石油系の洗浄剤で洗わないでください。艶仕上げ部分に変質します。

適合しない清掃用品

素材タイプ	適合しない清掃用品
ポリプロピレン	<ul style="list-style-type: none">- 石油ベース清掃用品すべて- XPS ATV仕上げスプレー- XPS ATVクリーニングキット (上記のXPS ATV仕上げスプレーが含まれています)

適合清掃用品

素材タイプ	適合清掃用品
ポリプロピレン	- XPS ATV洗淨剤 - 石鹼水

保管およびシーズン前の準備

4ヶ月を超えて車両を使用しないときは、適切に保管する必要があります。

車両を21日以上動かさない場合は、バッテリーの黒 (-) のケーブルを切り離します。

バッテリーを完全に充電するには、低電流トリクル充電器の使用を推奨します。

保管後に車両を使用するときは、準備が必要です。

車両の準備を正しく行うには、認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、または担当整備士にご依頼ください。

操作上の手引きを参照に、以下の事項に注意してください。



指示に従わなかった場合、重傷事故や死亡事故を招く潜在的な恐れがあることを示します。

空白 ページ

技術情報

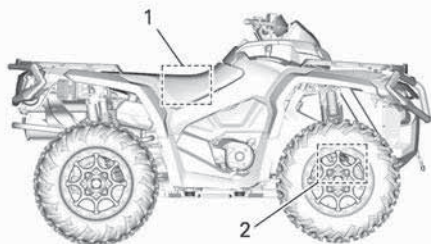
車両識別表示

車両の主要な構成要素（エンジンとフレーム）は、それぞれ異なる製造番号で識別されます。保証を受けるときや、無くなった車両を探すときなどに、これらの番号を確認する必要があります。これらの番号は、認定 Can-Am Off-Road ディーラーが正しく保証請求を行うときに必要です。車両のすべてのシリアル番号を記録し、保険会社に提出すること強く推奨します。

車両識別番号



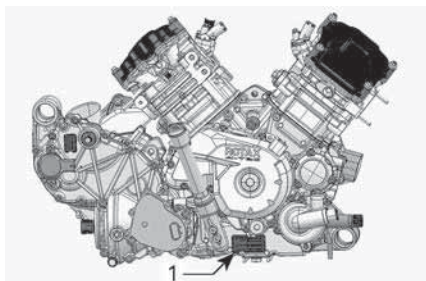
代表例 - VINラベル



代表的な例

1. VINラベル - シート下側のフレーム上
2. VIN番号の刻印 - 右側のフロントディファレンシャルの下

エンジン識別番号(EIN)



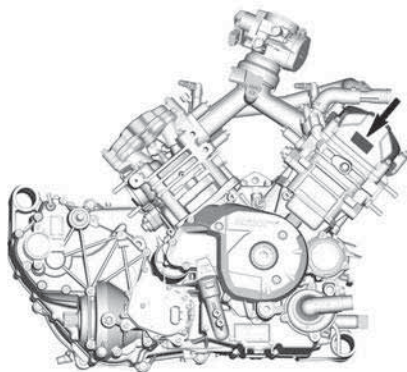
代表例 - エンジン右側

1. エンジン識別番号(EIN)

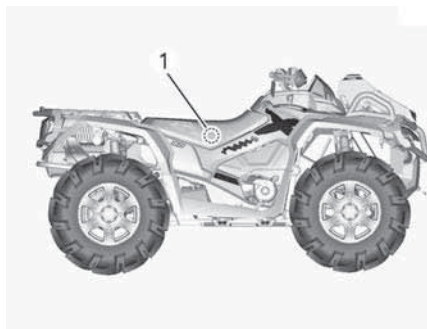
適合ラベル

ノンロード機械に適用される規制 (EU) 2016/1628

規制 (EU) 2016/1628 (NRMM) に準拠している車両は、エンジンバルブカバーおよびシート下側のフレーム上を見て特定できます。



代表的な例



代表的な例

1. NRMMラベル - シート下側のフレーム上

8639_JA		Rotax NRSC G1 CO2 g/kWh:	XXXX
		#	MXXXXXXX
		製造日:	MM-YYYY
		ファミリータイプ:	XXXXXX
		e13	AT1/P V-####

代表例 - NRMMの識別ラベル

注記：
エンジンまたはそのコンポーネントを改造すると、特定のエンジンに対するEUの型式認証が無効になります。

無線周波数デジタルコード化されたセキュリティシステム (無線周波数D.E.S.S.キー)

この装置は、FCC (米国連邦通信委員会) 第15部およびIndustry Canada (カナダ産業省) ライセンス免除RSS基準に準拠しています。操作は、下記の2つが前提条件となります。(1)この装置は干渉を発生させません。また、(2)この装置は、装置に望ましくない動作を発生させる恐れのある干渉を含めて、あらゆる干渉に順応する必要があります。

コンプライアンス責任者によって明白に承認されていない変更や改良がされた場合、ユーザーが機器を操縦する権限が無効になる場合があります。

IC (カナダ産業省) 登録番号 : 12006A-M01456

FCC ID: 2ACERM01456

私は、コンプライアンス責任者として、この機器は以下の欧州委員会指令に準拠していることを、全責任をもって宣言します。2014/53/EU。この宣言に関連するものは、必須要件およびその他の関連要件に準拠しています。この製品は、以下の指令、整合規格および規制に準拠しています。無線装置指令 (RED) 2014/53/EU および整合規格 : EN 300 330-2 & EN 60950-1

騒音放出制御システム規制 (カナダ/米国)

騒音制御システムを改ざんすることは禁止されています。

米国連邦法およびカナダ州法によって、以下の行動またはそれに起因するものが禁止される場合があります。

1. 新しい車両に騒音コントロールを目的として最終購入者への販売または納入以前または使用中に組み込まれた、機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても整備、修理、交換以外を目的として取り外す、または作動不能にすること、または
2. これらの機器またはデザイン要素を、いかなる人物によっても取り外し、または作動不能にした後に、車両を使用すること。

これらの行動の中で、改ざんとみなされるものは、以下のリストに掲載されている行動です。

1. マフラーまたはエンジン排気ガスの排出を処理するいかなるエンジン部品の取り外し、改造または穴あけ。
2. 吸気システムのいかなる部分の取り外し、改造または穴あけ。
3. 車両の可動部品、またはエキゾーストまたはインテークシステムの部品を、メーカー指定部品以外の部品と交換すること。
4. 適切な整備をしないこと。

騒音放出および振動値 (すべての国、ただしカナダ/米 国を除く)

騒音放出および振動値 ¹					
モデル		MR 570	X mr 570 X mr 650	X mr 850	X mr 1000R
騒音	音圧 (L _{pA})	4000 rpmで 81 dB (不 確定性 (K _{pA}) 3 dB)	3600 rpmで 78 dB (不 確定性 (K _{pA}) 3 dB)	4000 rpmで 80 dB (不 確定性 (K _{pA}) 3 dB)	4000 rpmで 80 dB (不 確定性 (K _{pA}) 3 dB)
	音量 (L _{WA})	4000 rpmで 96 dB (不 確定性 (K _{WA}) 3 dB)	-	-	-
振動	手腕系	2.5 m/s ² 未 満、4000 rpm時	3.5 m/ s ² 、4000 rpm時	3.5 m/ s ² 、4000 rpm時	2.5 m/s ² 未 満、4000 rpm時
	着座時の身 体全体	0.5 m/s ² 未 満、4000 rpm時	0.5 m/s ² 未 満、3600 rpm時	0.5 m/s ² 未 満、4000 rpm時	0.5 m/s ² 未 満、4000 rpm時
¹ : 騒音放出および振動値は、舗装面上でニュートラルの状態、規格EN 15997:2011に準拠して測定されます。					



565 de la Montagne Street
Valcourt (Québec) J0E 2L0
Canada

www.brp.com

EU適合宣言書

正式代表者: BRP Europe N.V., Skaldenstraat 125, Gent, Belgium, 9042

この適合宣言書は、製造者の単独の責任において発行されたものです。

以下に署名する者は、製造者を代表し、**CE** マークおよび**3JBxxxxxxNxxxxxxx**の17桁の車両識別番号 (VIN) が表示された、商品名を**Can-Am Outlander**または**Can-Am Renegade**とする**2022**年式**全地形対応車 (ATV)**が、次の指令および規制に記載されているすべての関連規定に適合していることをここに宣言します。

機械指令2006/42/EC (規制2019/1243/EUで改正されたとおり)	ISO 12100:2010 および EN 15997:2011
ガス状汚染物質に関する非道路移動機械 (NRMM) 規則 (EU) 2016/1628	カテゴリー-ATS、 Stage V排出制限
電磁両立性 (EMC) 指令2014/30/EU (規制 (EU) 2018/1139で改正されたとおり)	CISPR 12:2007/A1:2009 および IEC 61000-6-1:2005または UN R10.04以降のバージョン
電池指令2006/66/EC ((EU) 2018/849で改正された とおり)	
無線機器 (RED) 指令2014/53/EC (規制2018/1139で 改正されたとおり) (無線周波数 (RF) D.E.S.S. キーを装備している場合)	EN 300 330-2 & EN 60950-1

Renald Plante
ディレクター、製品開発部門、Can-Am ATV & Spyder
Bombardier Recreational Products Inc.

Valcourt, QC, Canada

2021年2月22日

ski-doo LYNX SEA-DOO Evinrude ROTAX CAN-AM

ユーラシア経済連合のマークのための
空白ページ (該当の場合)

技術仕様

技術仕様

エンジン		
エンジンタイプ		ROTAX®, 4ストローク、2気筒 (Vツイン)、水冷
バルブトレイン		4バルブ/シリンダー (機械式調整)、シングルオーバーヘッドカムシャフト (SOHC)、タイミングチェーン付き
バルブクリアランス	インテーク	0.06~ 0.14 mm (0.0024~ 0.0055 in)
	エキゾースト	0.11~ 0.19 mm (0.0043~ 0.0075 in)
ボア	MR 570	84 mm (3.31 in)
	X mr 570 X mr 650	82 mm (3.23 in)
	X mr 850	94 mm (3.7 in)
	X mr 1000R	91 mm (3.58 in)
ストローク	MR 570	51.4 mm (2.02 in)
	X mr 570 X mr 650 X mr 850	61.5 mm (2.42 in)
	X mr 1000R	75 mm (2.95 in)
	MR 570	570 cm ³ (34.8 in ³)
排気量	X mr 570 X mr 650	650 cm ³ (39.7 in ³)
	X mr 850	854 cm ³ (52.1 in ³)
	X mr 1000R	976 cm ³ (59.6 in ³)
	エキゾーストシステム	
エアフィルター		フォーム付き合成ペーパーフィルター

潤滑システム		
タイプ		ウェットサンプ交換式カートリッジ式オイルフィルター
オイルフィルター		BRP Rotaxペーパータイプ、交換式
エンジンオイル	容量 (フィルターを付けた状態でのオイル交換)	2.0 L (2.1 qt (liq.,US))

潤滑システム		
	推奨エンジンオイル 汎用	4T 5W40合成ブレンドオイル
	推奨エンジンオイル 寒冷地	4T 0W40合成油
	推奨エンジンオイル 温暖地	4T 10W50合成オイル
	XPS製品が入手できない 場合の代替品	APIサービス等級 SJ、SL、SMまたはSNの要件 を満足する5W40または 10W50モーターオイル

冷却システム		
	推奨冷却液	ロングライフプレミッククー ラント
クーラント	XPS製品が入手できない 場合の代替品	アルミエンジン専用で作成さ れた蒸留水と不凍液の溶液 (蒸留水50%、不凍液50%) を 使用
	定員	3.5 L (0.92 gal (liq.,US))

トランスミッション	
タイプ	CVT (無段変速機)、サブト ランスミッション (L/H/N/R/ P)、標準エンジンブレーキ
締結回転数	1800 RPM

ギアボックス		
タイプ		パーキング、ニュートラルお よびリバースを有するデュア ルレンジ (ハイ/ロー)
ギヤボックスオイル	定員	450 ml (15.22 fl oz (US))
	推奨オイル	75W140合成ギヤオイル
	XPS製品が入手できない 場合の代替品	75W140 API GL-5合成ギヤオ イルを使用

電気システム		
マグネトージェネレータ出力	MR 570	420 W @ 6000 RPM
	X mr 570	500 W @ 6000 RPM
	その他	625 W @ 6000 RPM

電気システム			
イグニッションシステム形式		IDI (誘導放電点火)	
イグニッションタイミング		調整不可	
スパークプラグ	量	2	
	メーカーと型式	MR 570 X mr 570 X mr 650	
	ギャップ	0.8~ 0.9 mm (0.031~ 0.035 in)	
	量	2	
	メーカーと型式	X mr 850 X mr 1000R	
	ギャップ	0.7~ 0.9 mm (0.028~ 0.035 in)	
エンジン回転リミッターの設定	前進	8000 RPM	
	リバース	15 km/h (9 MPH) (オーバーライドなし)	
バッテリー	タイプ	メンテナンスフリー	
	電圧	12ボルト	
	公称定格	18 A・h	
	パワースターター出力	0.7 kW	
ヘッドライト	高い	MR 570 X mr 570	HS1 35 W
		その他	2 x 60 W (HB3)
	低い	MR 570 X mr 570	HS1 35 W
		その他	2 x 55 W (H11)
テールライト		2 x 5/21 W	
ヒューズ		メンテナンスのヒューズのセクションを参照してください。	

燃料システム		
燃料供給	MR 570 X mr 570 X mr 650	電子フュエルインジェクション (EFI)、46 mmスロットルボディ、シリンダー当たりインジェクター1個
	X mr 850 X mr 1000R	電子フュエルインジェクション (EFI)、54 mmスロットルボディ、シリンダー当たりインジェクター1個

燃料システム			
燃料ポンプタイプ		電動 (料タンク内)	
アイドルスピード		570 MR	1400 ± 100 RPM (調整不可)
		その他すべて	1250 ± 100 RPM (調整不可)
燃料	タイプ	MR 570 X mr 570 X mr 650 X mr 850	レギュラー無鉛ガソリン 燃料要件のセクションを参照 してください。
		X mr 1000R	無鉛プレミアムガソリン 燃料要件のセクションを参照 してください。
	最低オクタン価	MR 570 X mr 570 X mr 650 X mr 850	AKI (ポンプオクタン価) 87 (RONオクタン価92またはRONオクタン価95のE10)
		X mr 1000R	91 ポンプ表示AKI (95 E10 RON)
燃料タンク容量		20.5 l (5.4 gal (liq.,US))	
燃料低下インジケーターが点灯したときの燃料残量		± 5 L (1.3 gal (liq.,US))	

駆動システム			
駆動システムのタイプ	Visco-Lok		選択式2WD/4WD
	Visco-4Lok		選択式2WD、4WD、および4WDLock
フロントドライブ			Visco-lok † QEオートロックングフロントディファレンシャル
			Visco-4Lokオートロックングおよびフルロックフロントディファレンシャル
フロントドライブレシオ		3.6:1	
リアドライブ		ファイナル・ドライブ	
リアドライブレシオ		3.6:1	
フロントディファレンシャルオイル	定員	Visco-Lok	500 ml (17 fl oz (US))
		Visco-4Lok	400 ml (14 fl oz (US))
	推奨オイル		75W90合成ギヤオイル

駆動システム		
	XPS製品が入手できない場合の代替品	合成ギヤオイル75W90 API GL-5を使用
リアファイナルドライブ	定員	250 ml (8.45 fl oz (US))
	推奨オイル	75W140合成ギヤオイル
	XPS製品が入手できない場合の代替品	合成ギヤオイル75W140 API GL-5を使用
CV ジョイントグリース		XPS CVジョイントグリース または同等品
プロペラシャフトグリース		XPSプロペラシャフトグリース または同等品

フロントサスペンション			
サスペンションタイプ	MR 570 X mr 570	ドライブコントロールジオメトリ付きダブルAアーム	
	その他	ドライブコントロールジオメトリおよび外部スタビライザー付きダブルサスペンションアーム	
ショックアブソーバ	数量	2	
	タイプ	MR 570 X mr 570 X mr 650	オイル
		X mr 850 X mr 1000R	FOX HPG
プリロード調整タイプ	MR 570 X mr 570	5ポジションカム	
	その他	ねじ式	

リアサスペンション			
サスペンションタイプ		外部スタビライザー付き独立トーショントレーリングアーム	
ショックアブソーバ	数量	2	
	タイプ	MR 570 X mr 570 X mr 650	オイル
		X mr 850 X mr 1000R	FOX HPG
プリロード調整タイプ	MR 570 X mr 570	5ポジションカム	
	その他	ねじ式	

ブレーキ		
フロントブレーキ	数量	2
	タイプ	214 mmクロスドリルディスクブレーキ、油圧ツインピストンキャリパー付き
リアブレーキ	数量	1
	タイプ	214 mmクロスドリルディスクブレーキ、油圧ツインピストンキャリパー付き
ブレーキ液	定員	260 ml (8.8 fl oz (US))
	タイプ	DOT 4
キャリパー	フローティングツインピストン (2 x 26 mm)	
ブレーキパッドの材料	金属	
最小ブレーキディスク厚	1 mm (0.04 in)	
最小ブレーキパッド厚	4.0 mm (0.157 in)	
ブレーキディスクのねじれ最大	0.2 mm (0.01 in)	

タイヤ			
圧力		推奨タイヤ圧はタイヤラベルに記載	
最小タイヤ溝深さ		3 mm (0.118 in)	
サイズ違い	フロント	MR 570 X mr 570 X mr 650	28 x 9 - 12 in
		X mr 850 X mr 1000R	30 x 9 - 14 in
	リア	MR 570 X mr 570 X mr 650	28 x 11 - 12 in
		X mr 850 X mr 1000R	30 x 9 - 14 in

ホイール			
タイプ		鋳造アルミ	
リムサイズ	フロント	MR 570 X mr 570 X mr 650	30.5 x 15,2 cm (12 x 6 in)
		X mr 850 X mr 1000R	35,5 x 16,5 cm (14 x 6.5 in)
	リア	MR 570 X mr 570	30.5 x 19.1 cm (12 x 7.5 in)

ホイール			
		X mr 650	
		X mr 850 X mr 1000R	35,5 x 16,5 cm (14 x 6.5 in)
ホイールオフセット	フロント	MR 570 X mr 570 X mr 650	41.2 mm (1.62 in)
		X mr 850 X mr 1000R	32 mm (1.26 in)
	リア	MR 570 X mr 570 X mr 650	51 mm (2 in)
		X mr 850 X mr 1000R	32 mm (1.26 in)
ホイールナットのトルク			80 ± 5 N·m (59 ± 4 lbf-ft)

寸法			
全長		MR 570 X mr 570	211 cm (83 in)
		X mr 650 X mr 850	224 cm (88 in)
		X mr 1000R	246 cm (97 in)
全幅		MR 570 X mr 570	116.8 cm (46 in)
		X mr 650	123 cm (48.5 in)
		X mr 850 X mr 1000R	127 cm (50 in)
全長		MR 570 X mr 570	124 cm (49 in)
		X mr 650	128 cm (50.5 in)
		X mr 850 X mr 1000R	131 cm (51.5 in)
ホイールベース		MR 570 X mr 570 X mr 650 X mr 850	129.5 cm (51 in)
		X mr 1000R	149.9 cm (59 in)
輪距	フロント	MR 570 X mr 570	97.3 cm (38.3 in)
		X mr 650 X mr 850	103.5 cm (40.8 in)
		X mr 1000R	104.0 cm (40.9 in)

寸法			
	リア	MR 570 X mr 570	92.5 cm (36.4 in)
		その他	100.6 cm (39.6 in)
地上高		MR 570 X mr 570	29.7 cm (11.7 in)
		X mr 650	29.9 cm (11.8 in)
		X mr 850 X mr 1000R	33 cm (13 in)

重量および積載量			
乾燥重量		MR 570 X mr 570	382 kg (843 lb)
		X mr 650	420 kg (926 lb)
		X mr 850	450 kg (990 lb)
		X mr 1000R	460 kg (1,014 lb)
リアラック		MR 570 X mr 570	109 kg (240 lb)
		その他	90 kg (200 lb)
リアストレージコンパートメント 積載量		MR 570 X mr 570	11 L (2.9 gal (liq.,US)) または 10 kg (22 lb)
		その他	21.4 L (5.7 gal (liq.,US)) または 10 kg (22 lb)
車両許容総積載量 (運転者、その他すべての貨物、追加されたアクセサリを含む)			189 kg (417 lb)
牽引荷重			750 kg (1,654 lb)
ヒッチ荷重 (トレーラーおよび貨物を含む)			75 kg (165 lb)
ウィンチ能力 (装備されている場合)			1 588 kg (3,500 lb)

空白 ページ

トラブルシューティング

トラブルシューティングのガイドライン

エンジンが回らない

1. **D.E.S.S. キーが D.E.S.S. ポストに取り付けられていない。**
 - D.E.S.S.キーをしっかりとD.E.S.S.ポストに取り付けてください。
2. **エンジンストップスイッチ。**
 - エンジンストップスイッチがオン位置になっていることを確認してください。
3. **トランスミッションがパーキングまたはニュートラルに入っていない。**
 - トランスミッションをパーキングまたはニュートラルのいずれかに入れるか、ブレーキレバーを引いてください。
 - ブレーキレバーを押してください。
4. **ヒューズ切れ。**
 - メインヒューズの状態を確認してください。
5. **バッテリーが弱いまたは接続不良。**
 - 充電システムを点検してください。
 - コネクターおよび端子の状態を点検してください。
 - バッテリーを点検してください。
 - 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。
6. **BAD KEYがデジタルディスプレイに表示されている。**
 - 異なるD.E.S.S.キーが使用されています。この車両の正しいキーを使用してください。
7. **スターターが弱いまたは接続不良。**
 - スターターの接続を点検します。
 - スターターリレーを点検してください。

エンジンを回しても始動しない

1. **エンジンに水が浸入している (スパークプラグを取り外すと濡れている) 。**
 - 特殊な手順の水を吸い込んだエンジンのセクションを参照してください。
2. **エンジンに燃料が供給されない (スパークプラグを取り外すと乾燥している) 。**
 - 燃料タンクレベルを確認してください。
 - 燃料ポンプのヒューズとリレーを点検します。
 - 燃料ポンプの故障が起きている可能性があります。
 - エンジンが始動しない場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に整備を依頼して

ください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

3. スパークプラグ / イグニッション (点火しない) 。

- インジェクター/イグニッションのヒューズの状態を点検します。
- スパークプラグを取り外して、イグニッションコイルに再び接続してください。
- スパークプラグをエンジンにアースして、スパークプラグ穴から離してエンジンを始動します。火花が見えない場合は、スパークプラグ穴を交換してください。
- 問題が解消されない場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店または整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

4. CHECK ENGINE インジケータランプが点灯し、ディスプレイに「CHECK ENGINE」と表示されます。

- 認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店、担当整備士に修理、または交換を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

5. エンジンが保護モードになっている (応急帰還モード) 。

- CHECK ENGINE インジケータランプが点灯し、デジタルディスプレイに「CHECK ENGINE」が表示されていれば、メンテナンス、修理、または交換を行う認定 Can-Am Off-Road デイラー、修理店、または担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

エンジンの加速力やパワーが不足している

1. スパークプラグが汚れている、またはプラグ不良。

- エンジンを回しても始動しないのセクションを参照してください。

2. エンジンへの燃料の不足

- エンジンを回しても始動しないのセクションを参照してください。

3. エンジンがオーバーヒートしている。(CHECK ENGINE インジケータランプが点灯し、デジタルディスプレイに HI TEMP と表示されている。)

- エンジンのオーバーヒートのセクションを参照してください。

4. エアフィルター/ハウジングが詰まっているか汚れている。

- エアフィルターを確認し、必要に応じて清掃してください。
- エアフィルターハウジングのドレンに堆積物がないか確認します。
- エアインテークチューブの位置を確認します。

5. CVT が汚れているか摩耗している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

6. エンジンが保護 (リンプホーム) モードになっている。

- デジタルディスプレイのメッセージを確認します。
- CHECK ENGINEインジケータランプが点灯し、デジタルディスプレイに「CHECK ENGINE」または「LIMP HOME」が表示されていれば、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

エンジンのオーバーヒート

1. クーリングシステムのクーラントが少ない。

- エンジンクーラントを点検します。メンテナンスの手順のセクションのエンジンクーラントレベルの検証を参照してください。

2. ラジエーターフィンが汚れている。

- ラジエーターフィンを清掃します。メンテナンスの手順のセクションのラジエーターを参照してください。

3. クーリングファンが作動しない。

- クーリングファンのヒューズまたはリレーを点検します。メンテナンスの手順のセクションのヒューズを参照してください。ヒューズに問題がある場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店または整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

エンジンバックファイア

1. 排気システムの漏れ。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に修理、または交換を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

2. エンジンの動作中の温度が高すぎる。

- エンジンの加速力または出力不足のセクションを参照してください。

3. 点火タイミングが正しくない、またはイグニッションシステムが故障している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に修理、または交換を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

エンジンの失火

1. スパークプラグがかぶっている/プラグの異常/電極の摩滅。

- スパークプラグを点検し、熱範囲を確認します。必要に応じて取り換えます。

2. 燃料に水が混入。

- 燃料システムの抜き取りを行い、新品の燃料を充填します。

車両が最高速度に達しない

1. エンジンの問題

- エンジンの加速力または出力不足のセクションを参照してください。

2. パーキングブレーキがかかっている。

- パーキングブレーキが完全に解除されていることを確認します。

3. エアフィルター/ハウジングが詰まっているか汚れている。

- エアフィルターを確認し、必要に応じて清掃してください。
- エアフィルターハウジングのドレンに堆積物がないか確認します。
- エアインテークチューブの位置を確認します。

4. CVT が汚れているか摩耗している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

5. エンジンが保護モードになっている (応急帰還モード) 。

- デジタルディスプレイのメッセージを確認します。
- CHECK ENGINEインジケータランプが点灯し、デジタルディスプレイに「CHECK ENGINE」または「LIMP HOME」が表示されていれば、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、または担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された米国EPA排出ガス関連保証を参照してください。

シフトレバーが動きにくい

1. トランスミッションオイルギヤが、シフトレバーの動作を妨げる位置になっています。

- 車両を前後に揺すってトランスミッションのギヤを動かし、シフトレバーをセットできるようにします。

2. CVT が汚れているか摩耗している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

回転数は上昇するが、車両が動かない

1. トランスミッションがパーキングかニュートラル位置になっています。

- R、HまたはLO位置を選択してください。

2. CVT が汚れているか摩耗している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。


3. CVTハウジングに水が混入している。

- 認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。

パワーステアリングアシスト機能の低下

1. DPSが、過酷で連続したステアリング条件にさらされている場合は、システムを保護するためにDPSによるアシスト機能が低下します。
 - 負荷が一旦下がると、通常のステアリングアシストが戻ります。
2. CHECK ENGINE インジケータランプが点灯し、ディスプレイに「CHECK DPS」と表示されます。
 - 認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に修理、または交換を依頼してください。

デジタルディスプレイメッセージ

メッセージ	パイロットランプオン	ブザー	説明
不良なキー		なし	間違ったイグニッションキーまたはD.E.S.S.キーを使用したことを示します。この車両の正しいキーを使用してください。キーの接触不良である可能性もあります。キーを取り外して清掃してください。
DESS KEY NOT RECOGNIZE D (D.E.S.S. キーが認識されていない)		なし	接触不良の可能性を示しています。キーを取り外して清掃してください。
パーキングブレーキ		なし	(走行中に) パーキングブレーキが15秒以上かかっているときに表示されます。
LO BATT (バッテリー低圧)		なし	バッテリー電圧が低下しています。バッテリー電圧と充電システムを点検してください。
HI BATT (バッテリー高圧)		なし	バッテリー電圧が上昇しています。バッテリー電圧と充電システムを点検してください。
LOW OIL (オイル残量少) ⁽¹⁾		長いブザーが1回	エンジンのオイル圧低下。直ちにエンジンを停止してください。
No oil (オイルなし)		15分間隔で2秒間のブザー音	エンジンにオイルがありません。直ちにエンジンを停止してください。
高温		長いブザーが1回	エンジンがオーバーヒート状態です。トラブルシューティングのセクションのエンジンのオーバーヒートを参照してください。
応急帰還		長いブザーが1回	エンジンの通常動作に影響し得るエンジンの重大な故障です。CHECK ENGINEインジケータランプも点滅します。トラブルシューティングのセクションを参照してください。
エンジン点検の必要あり (CHECK ENGINE)		なし	エンジンの故障。CHECK ENGINEインジケータランプも点灯します。トラブルシューティングのセクションを参照してください。

NO ECM COMMUNICATION (ECM 通信なし)		なし	スピードメーターとエンジンコントロールモジュール (ECM) 間の通信エラー
DPS点検		なし	ダウンミックパワーテアリング (DPS) が正常に機能していないことを示しています。認定Can-Am Off-Roadディーラーにお問い合わせください。
メンテナンスが必要 (MAINTENANCE REQUIRED)		なし	メンテナンスの時期が来たときに表示されます
TPS FAULT PRESS OVERRIDE BUTTON TO LIMP HOME (TPS 故障、オーバーライドボタンを押してリンプモードに切り替え)		なし	スロットル位置センサーが正常に機能していません。メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店、担当整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。
FRONT DIFFERENTIAL LOCK -LOCK ACTIVATION (フロントディファレンシャルロック -ロック作動)		短いブザーが1回	フロントディファレンシャルロックが作動しています。
FRONT DIFFERENTIAL LOCK -UNLOCK (フロントディファレンシャルロック -ロック解除)	なし	短いブザーが2回	フロントディファレンシャルロックが解除されています。

SPORT MODE ACTIVE (ス ポーツモード 有効)	<i>SPORT</i>	短いブザー が1回	スポーツモードが選択されていま す。
SPEED LIMITER ACTIVE (ス ピードリミッ ター作動)		短いブザー が1回	スピードリミッターが作動してい ます。

注意

(1) エンジン始動後、メッセージとエンジン点検のライトが点灯した場合はエンジンを停止してください。エンジンオイルのレベルを点検します。必要があれば補充します。オイルレベルが良好である場合は、メンテナンス、修理、または交換を行う認定Can-Am Off-Roadディーラー、修理店または整備士に整備を依頼してください。保証請求に関する詳細は、本書に記載された「米国 EPA 排出ガス関連保証」を参照してください。修理されるまで車両を使用しないでください。

空白 ページ

保証

BRP限定保証 米国およびカナダ: 2022 CAN-AM® ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (「BRP」)は、下記の期間中および条件下で、アメリカ合衆国(「米国」)およびカナダの正規Can-Am ATVディーラー(以下で定義する)が販売した2022年型Can-Am ATVに、部材または製造上の欠陥がないことを保証します。以下の場合、この限定保証は無効になります: (1) ATVがいずれかの時点で、レースなどの競技活動に使用された場合(前の所有者による競技活動も含む)、または、(2) ATVが、その動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与える方法で変更もしくは改造された場合、または用途を変えるために変更もしくは改造された場合。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。

該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

2) 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾され、それが否認され得ない限りにおいて、黙示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらは所有者には適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRP正規ディーラー、そしていかなる個人も、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を、BRPあるいはその他の個人に対して行ってはならず、万一行った場合、それらの内容はBRPに対して強制できるものではありません。

BRPはこの限定保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更しないことに同意します。

3) 除外規定

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- 『オペレーターズガイド』に示されている適正なメンテナンス / 保管を怠ったために発生した損害;
- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造、もしくはBRPによって製造または認定されていない部品の使用の結果として生じた損傷、または整備を行う認定Can-Am ATVディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷
- 誤用、乱用、過失、またはCan-Am ATVのオペレーターズガイドで説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷;

- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転 (『オペレーターズガイド』を参照) ;
- エレメントの錆、腐食または露出から生じた損傷
- 水や雪が入ったことによる損傷
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それら のみに限定されないその種の損害。

4) 保証対象期間

この限定的保証は、(1)最初に購入した消費者に納入された日、または(2)その製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の該当する期間有効です。

- 個人使用または業務使用の所有者の場合は、連続する6ヶ月間。
- 排出ガス関連のコンポーネントに関しては、本書に記載された「米国EPA排出ガス関連保証」も参照してください。
- カリフォルニア州での販売を目的としてBRPにより製造され、元々カリフォルニア州の住民に販売される、または販売後カリフォルニア州の住民への保証が登録される、蒸発ガス制御システムを装備したカリフォルニアモデルの蒸発ガス関連部品については、本書に記載されているカリフォルニア州蒸発ガス処理システム保証規定もご覧ください。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます。

- 2022年型Can-Am ATVは、その販売が行われた国においてCan-Am ATVの販売を許可されているCan-Am ATVディーラー (「Can-Am ATVディーラー」) から、最初の所有者が未使用の新品として購入したものであること。
- BRP が指定した納品前点検を完了し、納品前点検チェックリストを作成し、購入者が署名していること。
- 2022年型Can-Am ATVが、認定Can-Am ATVディーラーによって正しく登録手続きされていること。
- 2022年型Can-Am ATVが、購入者が居住する国で購入されていること。
- 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後にCan-Am ATVの使用を中止しなければなりません。

お客様は瑕疵の発現から3日以内に、整備を行う BRP ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーに与えなければなりません。

また、お客様は製品の購入を証明するものを BRP ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理 / 作業注文書に署名しなければなりません。

この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

7) BRPが行うこと

この保証に基づく BRP の義務は、本保証に記載される条件の下で、保証期間中に、通常の使用、メンテナンスおよび整備が行われたにもかかわらず瑕疵が発見された部品を、部品代および工賃を請求することなく、BRP 認定ディーラーにおいて、当社の判断により、修理することと新品の純正 Can-Am ATV 部品と交換することのいずれか一方に限定されます。保証の不履行に対する請求は、所有者に対する Can-Am ATV の販売の取り消しの理由とはなりません。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) サプライヤーによる追加保証

GPS受信機は、特定の2022年型Can-Am ATVの標準装備としてBRPによって供給される場合があります。このGPSレシーバーは、BRPの限定保証ポリシーの対象となっています。BRPの限定保証より期間が長い追加保証の範囲（GPSレシーバーの「サプライヤー」が提供している場合）については、ディーラーまたは消費者がGPSレシーバーの「サプライヤー」と直接連絡を取り合うものとします。

9) 譲渡

保証期間中に製品の所有権が譲渡された場合、この限定保証もその諸条項に基づいて譲渡され、BRPまたは認定 Can-Am ATV ディストリビューター / ディーラーが、元の所有者が所有権の譲渡に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間中も有効になります。

10) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について、認定ディーラーのサービスマネージャーまたは店主とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

米国EPA排出ガス関連保証

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)は、最終購入者および各二次購入者に対して、排気ガス制御システムおよび蒸発ガス制御システムのすべての部品を含むこの新しい車両は、下記の2つの事項を満たしていることを保証します。

1. 最終購入者への販売時に、40 CFR 1051 および 40 CFR 1060 の要件に準拠するよう設計、組み立て、装備されています。
2. 40 CFR 1051 および 40 CFR 1060 の要件への準拠を妨げるような部材および製造上の欠陥はありません。

保証の対象となるものがある場合は、BRPは表示された保障期間中、エンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させる部材または製造上の欠陥がある部品やコンポーネントの修理または取り換えを、排出ガス関連部品の診断、修理または取り換の費用を含み、無償で行います。この保証に基づいて交換された欠陥部品は、すべてBRPの所有となります。

すべての排出ガス関連保証の請求では、BRPは排出ガス関連部品の診断と修理を正規Can-Amディーラーに制限します。ただし、以下のリストの第2項目により要求される緊急修理を除きます。

認証メーカーとして、BRPは下記事項を理由として排出ガス関連保証の請求を拒否することはありません。

1. BRPまたはBRP認定工場が行ったメンテナンスまたはその他のサービス。
2. 運転者になるべく早くエンジン/機器を適切な構成を復元するために行った、BRPに起因する危険で緊急な状態を矯正するためのエンジン/設備の修理。
3. 補償請求とは無関係な、運転者による処置の有無。
4. BRPが指定する回数よりも頻繁に行われたメンテナンス。
5. BRPの過失または責任であることすべて。
6. 機器を稼働させる場所で一般に入手可能な燃料を使用すること(ただし、BRPのメンテナンス注意事項にその燃料が機器の排出ガス制御システムを損傷すると記載され、運転者が適切な燃料を簡単に入手できる場合を除く)。メンテナンス情報のセクションおよび給油のセクションにある燃料に関する要件を参照してください。

排出ガス関連の保証期間

排出ガス関連保証は、以下の期間のうち最も短い期間となります。

	運転時間	月	走行距離
排出ガス関連コンポーネント:	500	30	5000
蒸発ガス関連コンポーネント	該当なし	24	該当なし

保証が適用されるコンポーネント

排出ガス関連の保証は、以下に挙げるコンポーネントを含め、故障した場合にエンジンからの規制汚染物質の排出量を増加させるコンポーネントのすべてを対象とします。

1. 排出ガスについては、以下のシステムに関連するエンジン部品を含む排出ガス関連のコンポーネント

- 吸気システム
 - 燃料システム
 - イグニッションシステム
 - 排気ガス再循環システム
2. 以下の部品も排出ガスの排出関連コンポーネントとみなされます。
- 後処理装置
 - クランクケースベンチレーションバルブ
 - センサー
 - 電子制御ユニット
3. 以下の部品は蒸発ガスの排出関連コンポーネントとみなされます。
- 燃料タンク
 - 燃料キャップ
 - 燃料ライン
 - 燃料管路フィッティング
 - クランプ*
 - プレッシャーリリーフバルブ*
 - 制御バルブ*
 - 制御ソレノイド*
 - 電子制御*
 - 真空制御ダイヤフラム*
 - 制御ケーブル*
 - コントロールリンクージ*
 - パージバルブ
 - 蒸気ホース
 - 液体/蒸気セパレータ
 - カーボンキャニスター
 - キャニスターのマウンティングブラケット
 - キャブレターパージポートコネクタ

注記： *蒸発ガス制御システム関連。

4. 排出ガス関連のコンポーネントには、排出ガスを減少させることだけが目的の他の部品や、故障してもエンジン/機器の性能を大きく低下させずに排出ガスを増加させる部品も含まれています。

適用範囲制限

認証メーカーとして、BRPは所有者または運転者の不適切なメンテナンスや使用、メーカーには一切責任がない事故、または天災や不可抗力によって生じた故障の排出ガス関連の保証請求を拒否する場合があります。例えば、運転者によるエンジン/機器の酷使、または運転者による設計目的以外の使用方法が直接の原因で発生し、メーカーは全く原因に関与していない故障に関しては、排出ガス関連の保証請求は付与されません。

保証権利と責任に関する質問、または最寄りの認定BRPディーラーの名称と位置に関する質問がある場合は、www.brp.comにあるお問い合わせフォームに記入するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されているアドレスの1つにメールを送付するか、1-888-272-9222に電話してBRPにご連絡ください。

カリフォルニア州蒸発ガス処理保証規定

お客様の保証の権利と義務

カリフォルニア州大気資源委員会は、2022年式全地形対応車両に関する蒸発ガス処理システムの保証について説明を行います。カリフォルニアでは、新しいレクリエーションオフハイウェイビークルは、州のスモッグ防止基準を満たすように設計、組み立て、装備されてなければなりません。Bombardier Recreational Products Inc.は、ご使用の全地形対応車両について酷使、懈怠、不適切なメンテナンスがあった場合を除き、下記の期間にわたり、全地形対応車両の蒸発ガス制御システムを保証しなければなりません。

排出ガス制御システムには、キャブレター、燃料噴射装置、燃料タンク、燃料ホース、カーボンキャニスター、エンジンコンピューターなどの部品が含まれている場合があります。また、ホース、ベルト、コネクタなどの蒸発ガス関連のアッセンブリーが含まれている場合もあります。保証の対象となるものがある場合、Bombardier Recreational Products Inc.は、診断、部品および労働費を含めて無料で、ご使用の全地形対応車両を修理します。

OHRV製造元による保証範囲

このOHRVの保証期間は、購入後60カ月、5,000マイルの走行距離、または500運転時間に達するまでとします（いずれか早い方）。

対象部品

- キャニスターのマウンティングブラケット
- カーボンキャニスター
- パージポートコネクタ
- クランプ*
- 電子制御装置*
- 燃料キャップ
- フィラーネック
- フィラーネックホース
- 燃料ライン
- 燃料ラインフィッティング
- 燃料タンク
- 圧カリリーフバルブ*
- パージバルブ
- チェックバルブ*
- 蒸気ホース
- フローリデューサー
- フィルター*
- 蒸発ガス処理システムに影響を与える可能性がある、ここに記載されていないその他のすべての部品

注記： *蒸発ガス制御システム関連。

ご使用の全地形対応車両の蒸発ガス関連部品に不具合がある場合は、Bombardier Recreational Products Inc.が部品の修理または交換を行います。

オーナーの保証責任

全地形対応車両の所有者として、お客様はオーナーズマニュアルに記載された必要なメンテナンスを実施する責任を負っています。Bombardier Recreational Products Inc.は、全地形対応車両の保証に関するすべての受領書を安全な場所

に保管しておくことを推奨しますが、Bombardier Recreational Products Inc. は、お客様が受領書を紛失したり定期メンテナンスを行わなかったとしても、保証の提供をいたしません。

問題が発生した場合、お客様は所有者として、車両をBombardier Recreational Products Inc.にできるだけ早く搬入する責任があります。保証修理期間は、30日以下とする妥当な時間を要します。

ただし、酷使、懈怠、不適切なメンテナンス、または不適切な改造により全地形対応車両またはその部品が故障した場合、Bombardier Recreational Products Inc.は保証適用を拒否できることにご注意ください。

保証の権利や責任についてご質問がある場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

- Bombardier Recreational Products Inc. (電話 : 1-888-272-9222)
- The California Air Resources Board at 9528 Telstar Avenue, El Monte, CA 91731.

BRP 国際限定保証: 2022 CAN-AM® ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)は、米国、カナダ、欧州経済地域(「EEA」)の国々(欧州連合にイギリス、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される)、独立国家共同体(ウクライナ、トルクメニスタンを含む)の加盟国(「CIS」)およびトルコ以外の地域にCan-Am ATVを供給するためにBRPが認定したCan-Am ATVディストリビューターまたはディーラー(以下「Can-Am ATVディストリビューター/ディーラー」)によって販売された2022年型Can-Am ATVについて、指定された期間、下記の条件の下で部材または製造上の欠陥がないことを保証します。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。

該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

以下の場合、この限定保証は無効になります：(1)ATVがいずれかの時点で、レースなどの競技活動に使用された場合(前の所有者による競技活動も含む)、または、(2)ATVが、その動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与える方法で変更もしくは改造された場合、または用途を変えるために変更もしくは改造された場合。

2) 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それがあなたにも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。(オーストラリアで購入された製品については、以下の第4項をご参照ください)。

Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーとその他の人物とを問わず、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表明、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。

BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間に変更されないことに同意します。

3) 除外規定(以下は保証修理の対象とはなりません)

どのような場合においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- 『オペレーターズガイド』に示されている過失、または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害。

- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造の結果として生じた損傷、または製品に適合していない、またはその動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与えるとは合理的に判断される、BRPが製造もしくは認定していない部品もしくはアクセサリーの使用の結果として生じた損傷、または整備をする正規Can-Am ATVディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷
- 誤用、乱用、過失、または『オペレーターズガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害;
- 事故、水没、火災、雪もしくは水の吸入、盗難、破壊行為またはあらゆる天変地異の結果として生じた損傷
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転 (『オペレーターズガイド』を参照);
- エレメントへのさび、腐食または露出から生じた損傷。
- 二次的または間接的な損害、あるいは牽引、保管、交通費、電話、借用、タクシー、不便、保険担保、ローンの支払い、時間的損失、収入の損失、またはメンテナンス作業に関わる作業停止時間による収入および時間の損失を含むがそれらだけに限定されないその種の損害。

4) 保証対象期間

この保証は、(1)最初の小売消費者に納品された日と、(2)その製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します。

- 個人使用または業務使用の所有者の場合は、連続する6ヶ月間。

オーストラリアおよびニュージーランドのみ：この保証は、(1)最初の小売消費者に納品された日と、(2)その製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します：個人使用または業務使用の所有者の場合は、(1)連続する24ヶ月間、または(2)合計で15,000キロメートルの使用のいずれか早い方。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

オーストラリアで販売された製品のみ適用

これらの保証の利用規約は、オーストラリアの消費者法またはその他の法律を含む、Competition and Consumer Act 2010 (Cth) (2010年競争・消費者法)によって授与または黙示されるいかなる条件、保証、請け合い、権利または善後策の適用を除外、制限または変更しないものとし、法律を違反しないものとします。もし違反する利用規約がある場合、それは無効となります。この限定的保証で得られるメリットは、オーストラリアの法律で守られている権利および善後策に加えて与えられます。

弊社の製品の保証は、オーストラリアの消費者法によって守られています。重故障に対する交換または払い戻し、またはその他のいかなる合理的に予見可能な損失または損害に対する補償が約束されます。お客様には、製品が許容される品質を満たせず、その故障が重故障とならない場合、その製品を修理または交換する権利があります。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用され

ます。

- 2022年型Can-Am ATVは、その販売が行われた国においてCan-Am ATVの販売を許可されているCan-Am ATVディストリビューター/ディーラーから、最初の所有者が未使用の新品として購入したものであること。
- BRPが指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成しなければなりません。
- 製品が、認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーによって正しく登録手続きされていること。
- 2022年型Can-Am ATVが、購入者が居住する国または連邦国で購入されていること。
- 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後にATVの使用を中止しなければなりません。お客様は瑕疵の発現から2日以内に、整備を行うCan-Am ATVディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディストリビューター/ディーラーに与えなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをCan-Am ATVディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

通知期間はお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7) BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は、本書に記載される条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンスおよび整備が行われたにもかかわらず瑕疵が発見された部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の正規Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により、修理することと、新品の純正Can-Am ATV部品と交換することのいずれか一方に限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、所有者に対するCan-Am ATVの販売の取り消しの理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

最初の販売の国以外でサービスが必要である場合には、例えば輸送料金、保険、税金、ライセンス料、関税、および、いかなるそして全ての他の金融手数料に関して、これらに限定せず、政府、州、領域やそれぞれの機関によって課される場合も含めて、オーナーは地域の慣習や状況による全ての追加料金に関する責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 譲渡

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、BRPまたは認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間の間も有効となります。

9) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは経営者とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

欧州経済地域、独立国家共同体の加盟国およびトルコ向けBRP限定保証：2022 CAN-AM® ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (以下「BRP」)*は、米欧州経済地域(「EEA」)の加盟国(欧州連合にイギリス、ノルウェー、アイスランドおよびリヒテンシュタインを加えて構成される)、独立国家共同体(ウクライナ、トルクメニスタンを含む)の加盟国(「CIS」)、およびトルコの地域に、Can-Am ATVを供給するためにBRPが認定したディストリビューターまたはディーラー(以下「Can-Am ATVディストリビューター/ディーラー」)によって販売された2022年型のCan-Am ATVについて、指定された期間、下記の条件の下で素材または製造上の欠陥がないことを保証します。

この限定保証は、工場以外で取り付けられた部品やアクセサリを保証しません。

該当する部品およびアクセサリの限定保証に関する文章を参照してください。

以下の場合は、この限定保証は無効になります：(1)ATVがいずれかの時点で、レースなどの競技活動に使用された場合(前の所有者による競技活動も含む)、または、(2)ATVが、その動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与える方法で変更もしくは改造された場合、または用途を変えるために変更もしくは改造された場合。

2) 責任の範囲

法律が許す範囲内で、この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含むがそれだけに限定されない明示的または暗示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それがあなたにも適用される可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーとその他の人物とを問わず、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表明、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にもBRPに対する強制力はありません。

BRPはこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間に変更されないことに同意します。

3) 除外規定(以下は保証修理の対象とはなりません)

どのような場合においても、以下はこの限定的保証の対象ではありません。

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整
- 『オペレーターズガイド』に示されている過失、または適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害。

- 部品の取り外し、不適切な修理、整備、メンテナンス、改造の結果として生じた損傷、または製品に適合していない、またはその動作、性能もしくは耐久性に悪影響を与えると合理的に判断される、BRPが製造もしくは認定していない部品もしくはアクセサリーの使用の結果として生じた損傷、または整備をする正規Can-Am ATVディストリビューター/ディーラー以外の人によって行われた修理の結果として生じた損傷
- 誤用、乱用、過失、または『オペレーターズガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害;
- 事故、水没、火災、雪もしくは水の吸入、盗難、破壊行為またはあらゆる天変地異の結果として生じた損傷
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転（『オペレーターズガイド』を参照）;
- エレメントへのさび、腐食または露出から生じた損傷。
- 二次的もしくは間接的な損害、または牽引、輸送費、保管、電話、賃貸、タクシー、不便、保険適用、ローンの支払い、時間の損失、収入の損失、もしくは整備作業のための不稼働による時間の損失を含むがそれらに限定されない損害

4) 保証対象期間

この保証は、(1)最初の小売消費者に納品された日と、(2)その製品が初めて使用された日のうちいずれか早い方に発効し、以下に定める期間中効力を有します。

1. 個人使用の場合は、連続する24ヶ月間。
2. 業務使用およびレンタル用途の場合は、連続する6ヶ月間。

保証期間中であっても、製品による収入の発生、または製品が何らかの業務または職業で用いられた場合、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。また、保証期間中に製品が商業用として登録されたり、商業用途の使用許可を受けた場合も、製品は商業的用途で使用されたものと見なされます。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

保証期間および保証の他の条件は、お客様の国で適用される関連する法令に従います。

5) 保証の適用を受けるための条件

この保証適用は、次の各条件が満たされたときのみ適用されます:

- 2022年型Can-Am ATVは、その販売が行われた国においてCan-Am ATVの販売を許可されているCan-Am ATVディストリビューター/ディーラーから、最初の所有者が未使用の新品として購入したものであること。
- BRPが指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成しなければなりません;
- 製品が、認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーによって正しく登録手続きされていること。
- 2022年型Can-Am ATVが、EEA域内ではEEA居住者、CIS域内ではCIS居住者、およびトルコではトルコ居住者によって購入されていること。
- 保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRP

は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

BRPは、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRPが製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

6) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、異常が発生した直後にATVの使用を中止しなければなりません。お客様は瑕疵の発現から2ヶ月以内に、整備を行うCan-Am ATVディストリビューター/ディーラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディストリビューター/ディーラーに与えなければなりません。また、お客様は製品の購入を証明するものをCan-Am ATVディストリビューター/ディーラーに提示しなければならず、保証修理を有効にするため、その修理の開始に先立って修理/作業注文書に署名しなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべてBRPの所有となります。

通知期間はおお客様の国で適用される関連する法令に従うことに留意ください。

7) BRPが行うこと

法律が許す範囲内において、この保証に基づくBRPの義務は、本書に記載される条件の下で、保証期間中、通常の使用、メンテナンスおよび整備が行われたにもかかわらず瑕疵が発見された部品を、部品代および工賃を請求することなく、任意の正規Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーにおいて、当社の判断により、修理することと、新品の純正Can-Am ATV部品と交換することのいずれか一方に限定されます。BRPの責任は、部品の必要な修理または交換を行うことだけに限定されます。保証の不履行に対する請求は、所有者に対するCan-Am ATVの販売の取り消しの理由とはなりません。権利者は国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

EEA、CISまたはトルコの外で整備が必要である場合は、所有者は、輸送、保険、税金、ライセンス料、輸入税、ならびに、政府、州、準州およびそれらの各官庁が課す手数料など、あらゆるその他の金融費用を含むがそれらに限定されない、現地の地域の慣行や状況によるすべての追加料金について責任を負います。

BRPは、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

8) 譲渡

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、BRPまたは認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領することを条件に、残りの保証期間の間も有効となります。

9) お客様への支援

本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーレベルで問題解決を試みてください。その問題について認定Can-Am ATVディストリビューター/ディーラーのサービスマネージャーまたは経営者とよく話し合ってください。

解決されない問題がまだ存在する場合、www.brp.comにあるお客様連絡先フォームに記入してBRPに連絡するか、このガイドのお客様窓口のセクションに記載されている所在地のいずれかに郵便でご連絡ください。

10) 追加利用規約 (フランスのみに適用)

次の利用規約はフランスで販売されている製品だけに適用されます。

販売者は契約を遵守する製品を配送し、配送時に認められる欠陥の責任を負います。販売者は、契約による自らの責任で、または自らの責任で行われたパッケージング、組み立て指示または取り付けに起因する欠陥の責任を負います。契約を成立させるには、製品は次の条件をクリアする必要があります。

1. 同等品の通常動作を行うことができ、該当する場合、次の条件もクリアする必要があります。
 - 製品の特性は販売者の説明と一致し、特性はサンプルまたはモデルにより購入者に説明されていること。
 - 製品は、広告やラベルを含めた販売者および製造業者の公共宣言により合法的に購入者によって期待される特性を持っていること。
2. 製品は、当事者間で相互に合意をとること、または購入者が事前に販売者に製品の使用目的を相談し、販売者が使用を満たせると販売者が承諾をすることが必要です。

仕様不遵守に対する処置は、配送から2年間有効です。販売者は、製品に購入者の使用目的が満たせられなくなるほどの隠された欠陥がある場合、またはその欠陥を事前に知っていたらより低い値段で買っていた場合、その隠れた欠陥に対する保証の責任を負います。そのような隠れた欠陥に対する賠償要求は、欠陥の発見から2年以内に購入者によって行われる必要があります。

メンテナンス記録

必要に応じて、メンテナンス記録のコピーをBRPにお送りください。

納入前	
シリアル番号： 走行距離 (km)： 時間： 日付： ディーラー番号 ： メモ：	署名 (活字体)：
取り付け手順詳細については、車両のブリデリバリーブリテンを参照してください。	

最初の点検	
走行距離 (km)： 時間： 日付： ディーラー番号 ： メモ：	署名 (活字体)：
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス	
走行距離 (km)： 時間： 日付： ディーラー番号 ： メモ：	署名 (活字体)：

サービス

メンテナンススケジュールについては、本オペレータズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

サービス	
メンテナンススケジュールについては、本オペレータズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

サービス	
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

署名 (活字体) :

サービス	
メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

サービス

走行距離
(km) :

署名 (活字体) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

署名 (活字体) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

メンテナンススケジュールについては、本オペレーターズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。

サービス

走行距離
(km) :

署名 (活字体) :

時間 :

日付 :

ディーラー番号
:

メモ :

サービス	
メンテナンススケジュールについては、本オペレータズガイドのメンテナンス情報のセクションを参照してください。	

顧客情報

個人情報

お客様の連絡先情報は、安全性の確保と保証に関する目的で使わせていただきます。また、BRPおよびその子会社は、顧客リストを使用してBRPおよび関連製品のマーケティングおよびプロモーション情報を配布させていただくことがあります。

お客様のデータについて相談、訂正する、あるいはダイレクトマーケティング用の宛先人リストからの削除を希望される場合は、BRPまでご連絡ください。

Eメール：

privacyofficer@brp.com

郵便：

BRP Legal Service
726 St-Joseph
Valcourt QC
Canada
J0E 2L0

お問い合わせ先

www.brp.com

アジア

Room 4609, Tower 2,
Grand Gateway 3 Hong Qiao
Road Shanghai,
China 200020

〒108-0075東京都港区
港南2丁目16-1
品川イーストワンタワー21階

ヨーロッパ

Oktrooiplein 1/402
9000 Gent
Belgium

Itterpark 11
D-40724 Hilden
Germany

ARTEPARC Bâtiment B
Route de la côte d'Azur, Le Canet
13590 Meyreuil
France

Ingvald Ystgaardsvei 15
N-7484 Tronheim
Norway

Isoaavantie 7
PL 8040
96101 Rovaniemi

Spinnvägen 15
903 61 Umeå
Sweden

Avenue d'Ouchy 4-6
1006 Lausanne
Switzerland

北米

565 de la Montagne Street
Valcourt (Québec) J0E 2L0
Canada

Sa De Cv, Av. Ferrocarril 202
Parque Ind. Querétaro, Lote2-B
76220
Santa Rosa Jáuregui, Qro., Mexico

Sturtevant, Wisconsin, U.S.A.
10101 Science Drive

Sturtevant, Wisconsin
53177
U.S.A.

オセアニア

6 Lord Street
Lakes Business Park
Botany, NSW 2019
Australia

3B Echelon Place, East Tamaki,
Auckland 2013,
New Zealand

南米

Rua James Clerck Maxwell, 230
TechnoPark Campinas SP 13069-380
Brazil

住所と所有権の変更

お客様が住所を変更された場合または車両の新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法でBRPに通知してください。

- 認定Can-Amディーラーに連絡する。
- 北米のみ: 1 888 272-9222までお電話ください。
- このガイドのお客様窓口のセクションに記載されているBRPの住所のいずれかに、以降のページにある住所変更カードを郵送してください。

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRPが必要に応じて車両の所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後でも、BRPに通知することが重要です。BRPに通知するのは、所有者の責任です。

盗難に遭った場合: 車両が盗難にあった場合は、BRPまたは認定Can-Amディーラーにご連絡ください。お客様の氏名、ご住所、電話番号、車両識別番号、そして盗難の日付をお知らせください。

住所の変更 <input type="checkbox"/>	所有権の変更 <input type="checkbox"/>
車両識別番号	
モデル番号	車両識別番号 (V.I.N.)
以前の住所 または以前のオーナー:	氏名
	番地 町村 アパート
	市/郡 都道府県 郵便番号
	国 電話番号
新しい住所 または新しいオーナー:	氏名
	番地 町村 アパート
	市/郡 都道府県 郵便番号
	国 電話番号
	Eメールアドレス

住所の変更 <input type="checkbox"/>	所有権の変更 <input type="checkbox"/>
車両識別番号	
モデル番号	車両識別番号 (V.I.N.)
以前の住所 または以前のオーナー:	氏名
	番地 町村 アパート
	市/郡 都道府県 郵便番号
	国 電話番号
新しい住所 または新しいオーナー:	氏名
	番地 町村 アパート
	市/郡 都道府県 郵便番号
	国 電話番号
	Eメールアドレス

このページは
意図的に空白です

住所の変更 <input type="checkbox"/>	所有権の変更 <input type="checkbox"/>
車両識別番号	
モデル番号	車両識別番号 (V.I.N.)
以前の住所 または以前のオーナー:	氏名
	番地
	町村
	アパート
	市/郡
	都道府県
	郵便番号
	国
	電話番号
新しい住所 または新しいオーナー:	氏名
	番地
	町村
	アパート
	市/郡
	都道府県
	郵便番号
	国
	電話番号
	Eメールアドレス

住所の変更 <input type="checkbox"/>	所有権の変更 <input type="checkbox"/>
車両識別番号	
モデル番号	車両識別番号 (V.I.N.)
以前の住所 または以前のオーナー:	氏名
	番地
	町村
	アパート
	市/郡
	都道府県
	郵便番号
	国
	電話番号
新しい住所 または新しいオーナー:	氏名
	番地
	町村
	アパート
	市/郡
	都道府県
	郵便番号
	国
	電話番号
	Eメールアドレス

このページは
意図的に空白です

注記： _____

注記： _____

モデル番号 _____

車両

識別番号 (V.I.N.) _____

エンジン

識別番号 (E.I.N.) _____

オーナー: _____

氏名

郵便番号

都道府県

市/郡

町村

番地

アパート

購入日 _____

年

月

日

保証有効期限 _____

年

月

日

販売時にディーラーが記入すること。

ディーラー押印箇所

空白 ページ

⚠ 警告

運転には危険が伴います。

十分な注意を払わない場合、転回、傾斜地での運転、障害物上の走行などの日常的な操作であっても、衝突や横転を起こしやすくなります。

以下の指示に従わない場合、**重傷や死亡事故**につながるおそれがあります。

- **本車両を運転する前に、このオペレーターズガイドおよび本車両のすべての警告ラベルを読み、安全講習ビデオをご覧ください。**
- **適切な説明を受けることなく本車両を絶対に運転しないでください。**認定されたトレーニングコースを修了してください。
- **車両の定員を超えないようにしてください。**
- **1UPモデルでは絶対に同乗者を乗せないでください。**同乗者を乗せると制御不能に陥る危険が高くなります。



- **本車両を舗装面で絶対に運転しないでください。**本車両を舗装面で運転すると制御不能に陥る危険が高くなります。
- **本車両を公道で絶対に運転しないでください。**本車両を公道で運転すると、別の車両と衝突する可能性があります。
- **オペレーターおよび同乗者（MAXモデルの場合）は、使用が認められたヘルメット、ゴーグル、および防護服を必ず着用してください。**
- **薬を服用したりアルコールを摂取した状態では絶対に使用しないでください。**それは反応時間を遅らせ、判断力を損ないます。
- **絶対に速度を出しすぎないでください。**地形、視界条件、またはご自分の経験に適合しない過剰な速度で運転すると、制御不能に陥る危険が高くなります。
- **絶対にウィリーやジャンプなどのスタント操作を行わないでください。**

©TMおよびBRPのロゴは、BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.または
またはその子会社の商標です。

©2021 BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.
無断複写・転載を禁じます。

www.brp.com

SKI-DOO®

SEA-DOO®

CAN-AM®

LYNX®

EVINRUDE®

ROTAX®